日高市学校跡地活用基本計画

（旧武蔵台中学校、高根中学校、高麗小学校）

旧武蔵台中学校

高根中学校

高麗小学校

令和６年３月

日高市

目 次

１．計画の目的 1
２．上位計画等の関連計画の整理 2
（１）第６次日高市総合計画（令和３年３月策定） 2
（２）日高市公共施設等総合管理計画（平成 28 年３月策定、令和４年３月一部改訂） ... 2
（３）日高市公共施設長寿命化計画（平成 30 年３月策定） 3
（４）日高市公共施設再編計画　～第１期　個別施設計画～（令和２年３月策定） 4
３．学校施設の現状 5
（１）位置図 5
（２）校舎等における法定耐用年数 5
（３）旧武蔵台中学校 6
（４）高根中学校 8
（５）高麗小学校 10
４．市民の意向 12
（１）学校跡地活用に関わる市民アンケート調査 12
（２）学校跡地活用に関する市民懇談会 13
（３）行政経営審議会 15
５．民間事業者等の活用の可能性 16
（１）サウンディング型市場調査実施概要 16
（２）サウンディング型市場調査結果概要 16
６．行政需要の整理 19
（１）公共施設としての活用の検討 19
（２）各調査結果等を踏まえた行政需要の方向性の検討 19
（３）行政と民間事業者等が共用する施設の検討 19
７．学校跡地活用基本計画 20
（１）基本的な考え方 20
（２）活用の方向性 20
（３）留意事項 21
（４）暫定利用 22
（５）個別活用の検討の進め方について 22
（６）事業スケジュール 23
資料編 24

１．計画の目的

日高市（以下「本市」という。）では、高度経済成長期の人口増加に対応するため、昭和 40 年代から 50 年代にかけて行政サービスを支える公共施設を整備してきました。本市においても、全国的に進んでいる少子高齢化に伴う社会保障関係費の増加及び生産年齢人口の減少に伴う税収の減少傾向は避けられない一方で、現在、公共施設の多くは老朽化が進んでおり、今後、大規模改修や更新の費用が増大する状況にあります。

こうした背景を踏まえて、平成 28 年３月に「日高市公共施設等総合管理計画」を、平成 30 年３月に「日高市公共施設長寿命化計画」を策定しました。

更に、令和２年３月に市民が暮らしやすいライフスタイルの構築を図り、施設を効率よく利用できることで、行政サービスの向上を図ることを目的とした「日高市公共施設再編計画」を策定しました。

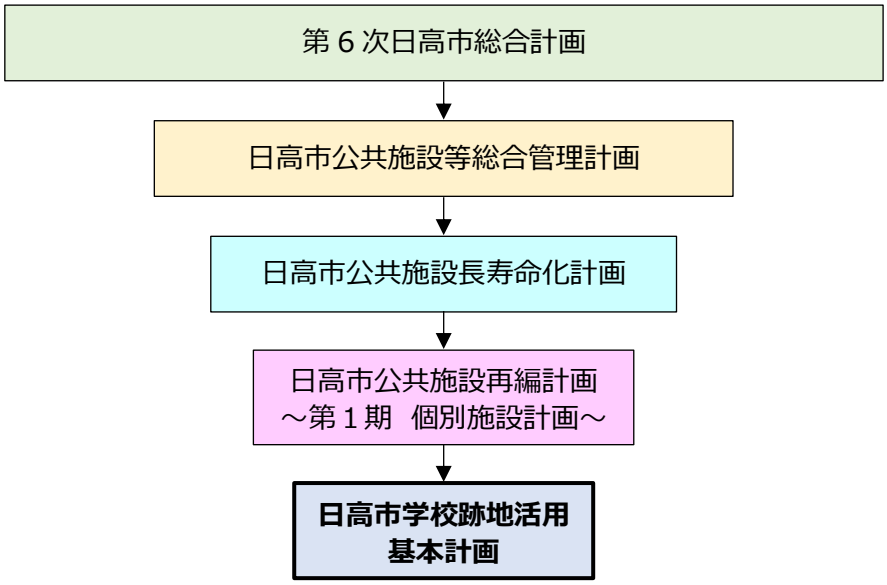
この計画では、「時代の変化に対応した行政サービスを継続的に提供すること」、「人口減少社会の中で持続可能な行政経営を実現すること」、「将来世代に財政負担を先送りしないこと」を基本的な考え方としています。この考え方に基づき、各個別施設の統廃合や複合化、機能集約等を行うことにより、令和７年度までに、対象施設の延床面積の 10%削減を目標としています。

また、児童・生徒数が年々減少し、一部の学校では単学級になり余裕教室が生じていることが、学校教育系施設における課題として挙げられ、「日高市小中学校未来構想」などの方針に基づき、適正な施設規模について検討する必要があるとしています。なお、この未来構想では、小中一貫教育の取組として令和５年度から順次、武蔵台、高根及び高麗地区の各小・中学校を統合し、新たに施設一体型「義務教育学校」を開校することとしています。

施設一体型「義務教育学校」の開校により、武蔵台中学校は、武蔵台小学校へ集約することで令和５年３月末に閉校となり、高根中学校は、高根小学校へ集約することで令和６年３月末に、高麗小学校は、高麗中学校へ集約することで令和７年３月末にそれぞれ閉校を予定しています。

本計画は、順次空き施設となる３校について、上位計画等との整合性や行政需要への対応、市民の意向、民間事業者等による活用の可能性を踏まえ、学校跡地の有効活用を図ることを目的とします。

２．上位計画等の関連計画の整理



（１）第６次日高市総合計画（令和３年３月策定）

「第６次日高市総合計画」は、本市の最上位計画であり、目指す将来都市像を「誰もが安心して住み続けられる　ふれあい清流文化都市　日高」とし、これを実現するためにまちづくりの基本方針等を定めています。

基本方針７の「信頼される行政運営を推進するまちをつくる」では、「時代の変化に柔軟に対応できる持続可能な行政運営と健全な財政運営に努める」、「行政の透明性を高めるとともに、市民の視点に立った行政サービスを目指す」としています。

また、これを具現化するため、特に重点的に推進していくリーディングプロジェクトとして、将来的な人口規模縮小に伴う財政運営に配慮した公共施設の再編を進めるとともに、行政サービスの質の向上を目指すことを基本的方向としており、施策 26 の財政運営において、公共施設の複合化や機能集約等に取り組み、施設総量の最適化やライフサイクルコスト※の縮減を図るほか、本市が保有する未利用財産の有効活用や売却を推進することとしています。

※ライフサイクルコスト：製品や構築物を取得・使用するために必要な費用の総額で、企画・設計から維持・管理・廃棄に至る過程で必要な経費の合計額

（２）日高市公共施設等総合管理計画（平成 28 年３月策定、令和４年３月一部改訂）

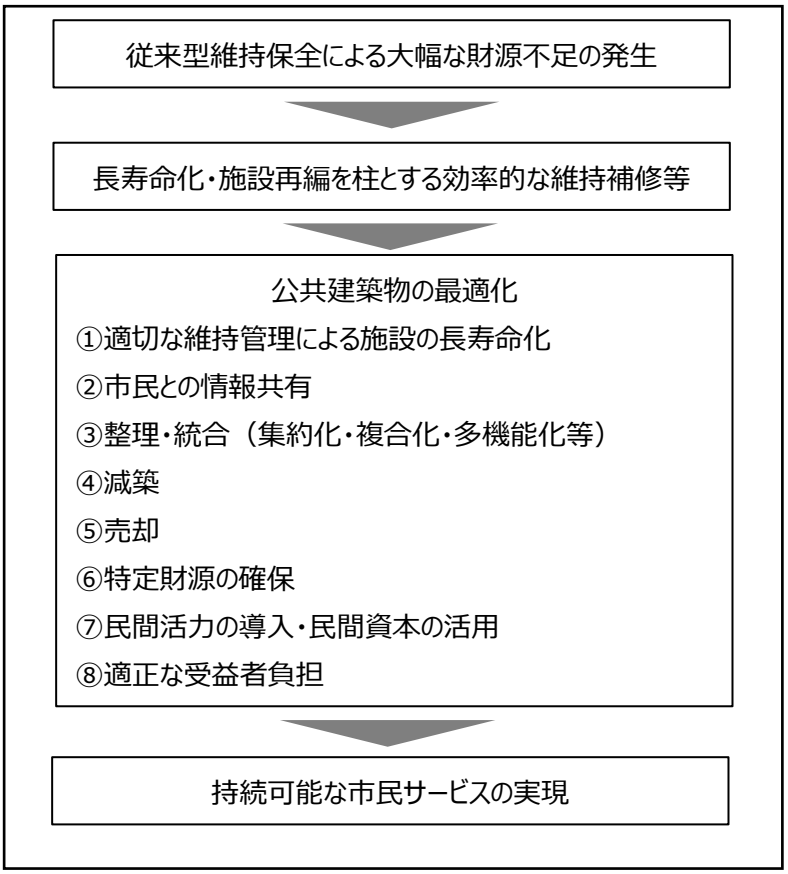
「日高市公共施設等総合管理計画」は、総合計画を補完する分野別計画として、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するため、公共施設等の最適化に関する基本的な方針及び施設類型別の方向性を定めた計画です。

この計画において、学校教育系施設は、耐震補強工事が不要な施設の老朽化の進行や児童・生徒数の減少による余裕教室が生じていることから、今後の活用や適正な施設規模の検討等が課

題として挙げられています。

また、学校教育系施設は、公共建築物全体の延床面積に占める割合が非常に大きい施設であることから、各学校の児童・生徒数やそれに伴う学級数と余裕教室の関係などを考慮し、「日高市小中学校未来構想」を踏まえて、各学校の再編に取り組むことや学校用途に限定しない方策を検討することを個別基本方針としています。

図：公共建築物の最適化に関する取組の方向性



（３）日高市公共施設長寿命化計画（平成 30 年 3 月策定）

「日高市公共施設長寿命化計画」は、「日高市公共施設等総合管理計画」における長寿命化の方針より、各施設の劣化状況を把握し、予防保全型の維持保全や耐久性の向上に資する改善を計画的に実施することで、建築物の機能や設備を良好な状態に保ち、予算の平準化や財政負担の縮減を図ることを目的としています。

この計画では、「将来的な人口、財政、施設劣化状況及び修繕や改築コストを推計した後に、これらの推計資料を基に、市民ワークショップや地域説明会を実施し、複合化や統廃合など公共施設再編計画において平準化の見直しを行い、具体的な長寿命化改修及び施設の統廃合等を実施する」としています。

（４）日高市公共施設再編計画　～第１期　個別施設計画～（令和２年３月策定）

「日高市公共施設再編計画」は、「日高市公共施設等総合管理計画」に基づく個別施設計画です。

「時代の変化に対応した行政サービスを継続的に提供すること」、「人口減少社会の中で持続可能な行政経営を実現すること」、「将来世代に財政負担を先送りしないこと」を基本的な考え方としています。

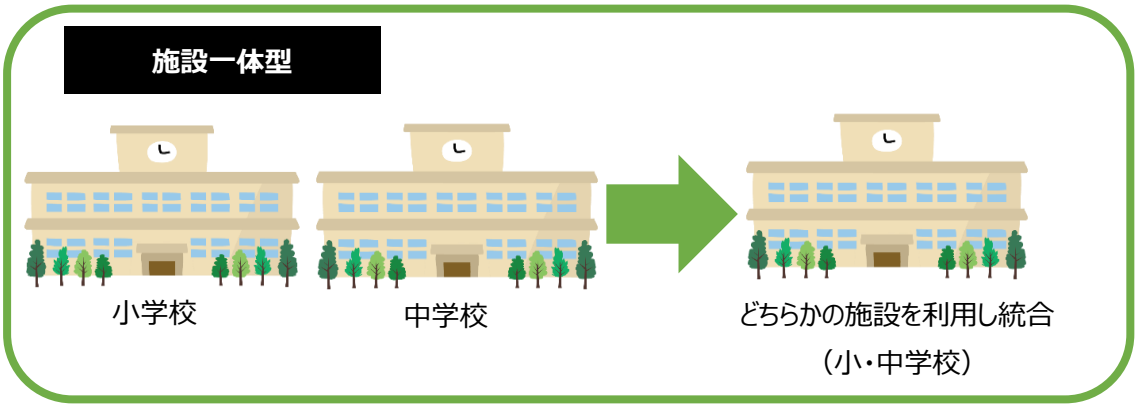
このことから、個別施設の建替、移転や複合化、集約化等を行うことにより、令和 7 年度までに、対象施設の延床面積の 10%削減を目標としています。

また、学校教育系施設の再編に関しては、各学校の児童・生徒数やそれに伴う学級数と余裕教室の関係などを考慮し、「日高市小中学校未来構想」での方針を踏まえて、武蔵台中学校は武蔵台小学校へ、高根中学校は高根小学校へ、高麗小学校は高麗中学校へ移転し、施設一体型の「義務教育学校」を開校することとなりました。

これにより、武蔵台中学校（令和５年３月末に閉校）が既に空き施設となり、高根中学校（令和６年３月末に閉校予定）、高麗小学校（令和７年３月末に閉校予定）が順次空き施設となります。

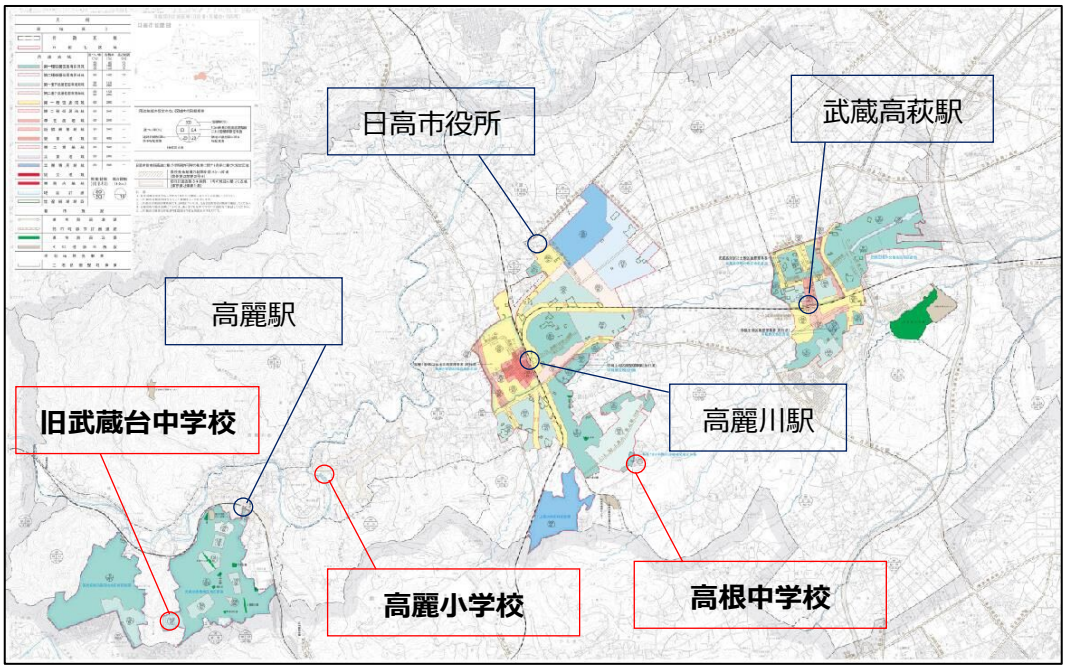
空き施設の土地利用については、市民の貴重な財産であることを踏まえ、売却する場合は、市民や関係団体の意見を伺いながら適正かつ慎重な処分を行う必要があり、売却不可能な土地等については、貸付けや民間事業者等からの活用方法を公募するなど、有効活用の方策を検討する必要があるとしています。

日高市小中学校未来構想



3．学校施設の現状

（1）位置図



資料：日高市都市計画図

（2）校舎等における法定耐用年数

施設名	構造規格等	法定耐用年数
校舎	鉄筋コンクリート造	47
屋内運動場	レンガ造、ブロック造、石造	38
部室	鉄骨造	34
プール専用附属室	木造	22
水泳プール		30
冷暖房設備	冷凍機の出力が 22kw 以下のもの	13
	その他のもの	15
鉄棒、バックネット		15
火災報知器		8

出典：減価償却資産の耐用年数等に関する省令（昭和 40 年大蔵省令第 15 号）を編集

（３）旧武蔵台中学校

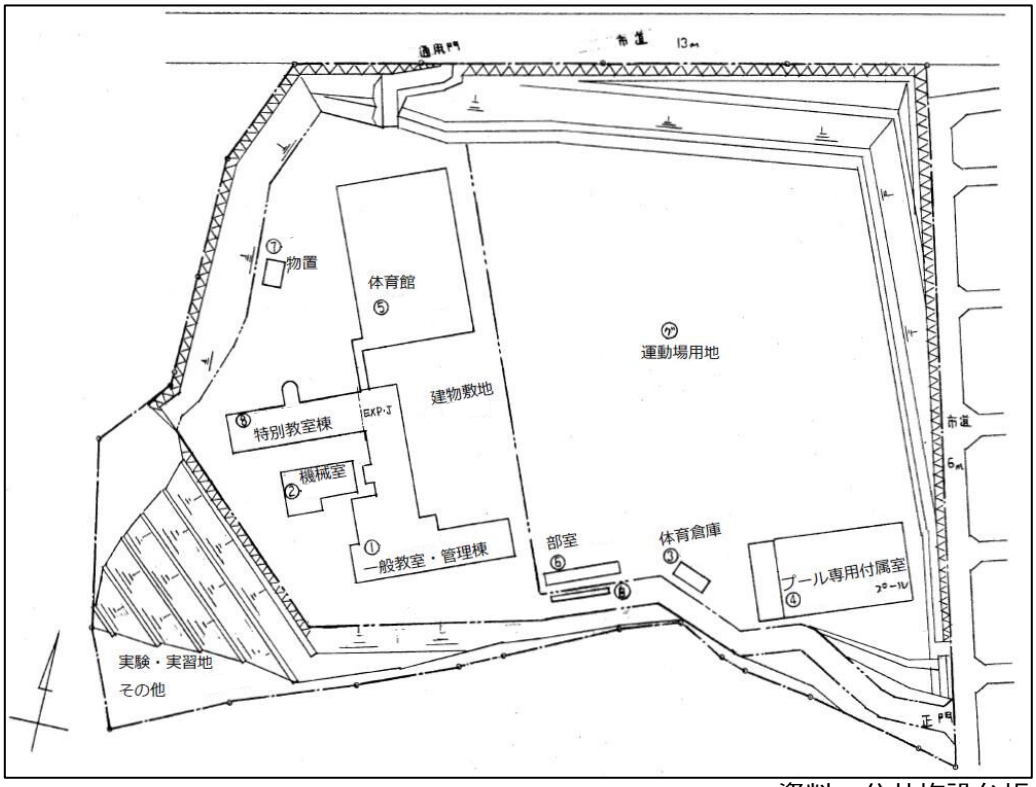
① 敷地条件の整理

所在地	埼玉県日高市武蔵台六丁目150番地1
区域区分	市街化区域
用途地域	第一種中高層住居専用地域
地区計画	武蔵台団地地区地区計画（公共公益施設地区　G地区） ※建設可能用途は、学校、集会場、学校及び集会場に附属する建築物、地区内に公益上必要な建築物、駅舎、店舗や飲食店その他これらに類する用途に供するもの、自動車車庫
建蔽率/容積率	60%/150%
土地面積	34,990㎡
その他	校舎の一部が土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）に指定 体育館の一部と校庭の全面が土砂災害警戒区域（イエローゾーン）に指定

② 校舎等の状況

	建物名称	構造・階数	建設年月	延床面積
建物概要	①一般教室・管理棟	鉄筋コンクリート造・４階	平成元年３月	5,258.33㎡
	⑧特別教室棟	鉄筋コンクリート造・４階	平成元年３月	
	②機械室	鉄筋コンクリート造・１階	平成元年３月	198.50㎡
	③体育倉庫	鉄骨その他造・１階	平成元年３月	36.10㎡
	④プール専用付属室	鉄骨その他造・１階	平成元年12月	104.80㎡
	⑤体育館	鉄筋コンクリート造・２階	平成２年３月	1,572.58㎡
	⑥部室	鉄骨その他造・１階	平成２年11月	69.17㎡
	⑦物置	鉄骨その他造・１階	平成４年２月	41.66㎡

図：旧武蔵台中学校（配置図）



資料：公共施設台帳

③　校舎等における耐震補強や大規模改修について

校舎と体育館については、新耐震基準を満たしているため、耐震診断や耐震補強は不要です。

平成 27 年度に防災機能強化のため、校舎と体育館（吊り天井や照明器具等）の改修を実施しています。

④　国庫補助金等の活用状況

直近 10 年における主な国庫補助金等の活用状況については、平成 27 年度に学校施設環境改善交付金（防災機能強化）を活用しています。

処分制限期間内に譲渡や貸与等の財産処分を行う場合は、「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律」に基づき、文部科学大臣の承認等を受ける手続が必要となります。

⑤　防災拠点としての機能について

旧武蔵台中学校は、指定避難所に位置付けられています。（想定収容人数：449 人）

校庭は、ドクターヘリの臨時離発着場に定められています。

⑥　利用状況（令和４年度）

競技団体	使用箇所	利用回数/年	使用料
フットサル バスケットボール バドミントン	体育館	126	１/２面：2 時間につき 300 円、 全面：2 時間につき 600 円

（４）高根中学校

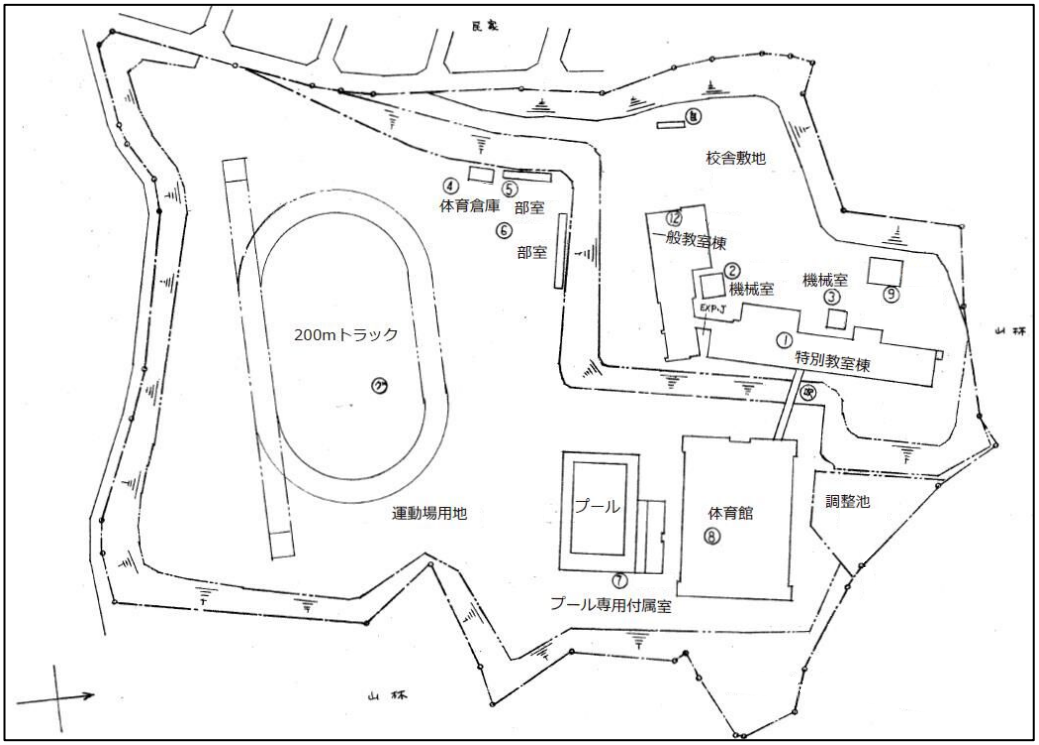
①　敷地条件の整理

所在地	埼玉県日高市大字女影1180番地
区域区分	市街化調整区域 ※原則として市街化を抑制すべき地域とされており、土地の開発や建物の建築、建物の用途などが厳しく制限されています。
用途地域	―
地区計画	―
建蔽率/容積率	60%/200%
土地面積	34,910㎡
その他	校舎西側駐車場の一部が土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）及び土砂災害警戒区域（イエローゾーン）に指定

②　校舎等の状況

	建物名称	構造・階数	建設年月	延床面積
建物概要	①特別教室棟	鉄筋コンクリート造・４階	昭和58年３月	5,005.08㎡
	⑫一般教室棟	鉄筋コンクリート造・４階	昭和58年３月	
	②機械室	鉄筋コンクリート造・１階	昭和58年３月	42.25㎡
	③機械室	鉄筋コンクリート造・１階	昭和58年３月	25.00㎡
	④体育倉庫	鉄骨その他造・１階	昭和58年３月	27.08㎡
	⑤部室	鉄骨その他造・１階	昭和58年３月	36.00㎡
	⑥部室	鉄骨その他造・１階	昭和58年３月	54.00㎡
	⑦プール専用付属室	鉄骨その他造・１階	昭和59年３月	98.76㎡
	⑧体育館	鉄筋コンクリート造・２階	昭和59年３月	1,533.56㎡
	⑨物置	鉄骨その他造・１階	昭和62年３月	64.80㎡
	渡り廊下	鉄骨造	昭和58年３月	34.00㎡

図：高根中学校（配置図）



資料：公共施設台帳

③　校舎等における耐震補強や大規模改修について

校舎と体育館については、新耐震基準を満たしているため、耐震診断や耐震補強は不要です。

平成 27 年度に防災機能強化のため、校舎と体育館（吊り天井や照明器具等）の改修を実施しています。

④　国庫補助金等の活用状況

直近 10 年における主な国庫補助金等の活用状況については、平成 27 年度に学校施設環境改善交付金（防災機能強化）を活用しています。

処分制限期間内に譲渡や貸与等の財産処分を行う場合は、「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律」に基づき、文部科学大臣の承認等を受ける手続が必要となります。

⑤　防災拠点としての機能について

高根中学校は、指定避難所に位置付けられています。（想定収容人数：438 人）

校庭は、ドクターヘリの臨時離発着場に定められています。

⑥　利用状況（令和４年度）

競技団体	使用箇所	利用回数/年	使用料
フットサル バスケットボール バレーボール	体育館	270	１/２面：2 時間につき 300 円、 全面：2 時間につき 600 円

（５）高麗小学校

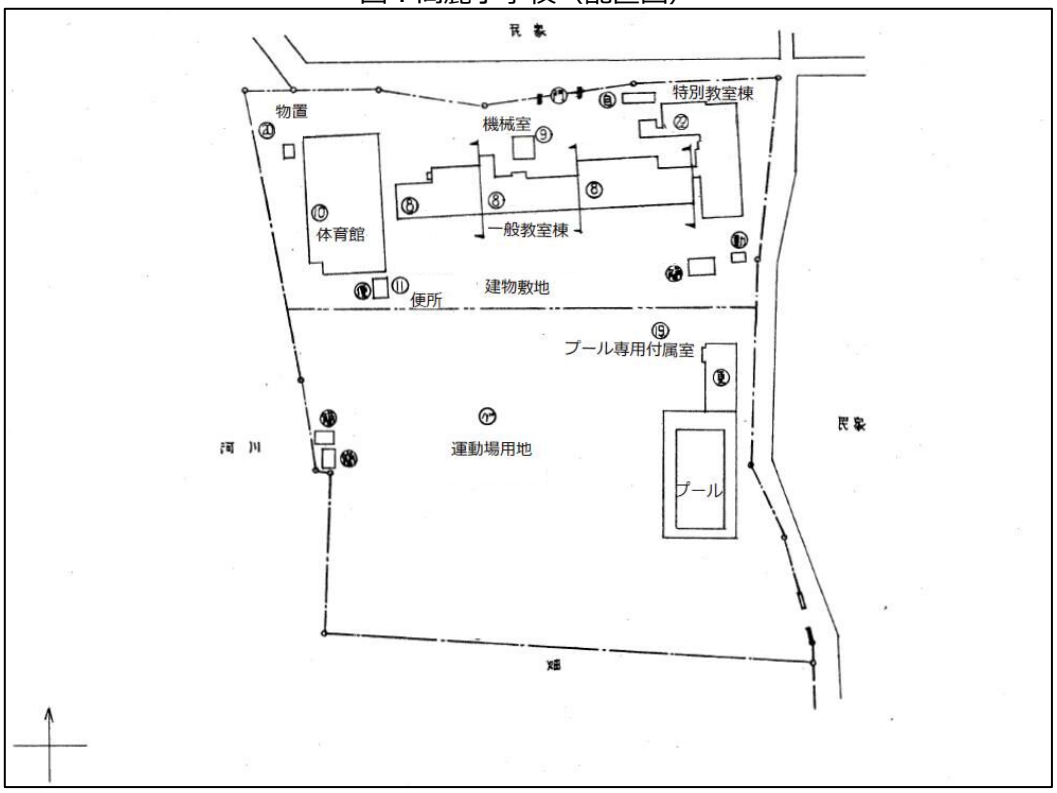
①　敷地条件の整理

所在地	埼玉県日高市大字梅原5番地１
区域区分	市街化調整区域 ※原則として市街化を抑制すべき地域とされており、土地の開発や建物の建築、建物の用途などが厳しく制限されています。
用途地域	－
地区計画	－
建蔽率/容積率	60%/200%
土地面積	21,396.15㎡
その他	校庭に夜間照明設備あり 校庭が高麗川による家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）に指定

②　校舎等の状況

	建物名称	構造・階数	建設年月	延床面積
建物概要	⑧一般教室棟	鉄筋コンクリート造・３階	昭和47年３月	2,654.00㎡
	⑧一般教室棟	鉄筋コンクリート造・３階	昭和48年３月	
	⑧一般教室棟	鉄筋コンクリート造・３階	昭和48年11月	
	㉒特別教室棟	鉄筋コンクリート造・３階	昭和54年３月	1,211.00㎡
	⑨機械室	鉄筋コンクリート造・１階	昭和47年３月	33.00㎡
	⑩体育館	鉄骨その他造・１階	昭和47年9月	702.13㎡
	⑪便所	鉄骨その他造・１階	昭和49年３月	20.43㎡
	⑲プール専用付属室	鉄筋コンクリート造・１階	昭和60年１月	137.05㎡
	⑳物置	鉄骨その他造・１階	平成６年８月	45.27㎡

図：高麗小学校（配置図）



資料：公共施設台帳

③　校舎等における耐震補強や大規模改修について

平成 12 年度に校舎、平成 25 年度に体育館の耐震補強と大規模改修を実施しています。

④　国庫補助金等の活用状況

直近 10 年における主な国庫補助金等の活用状況については、平成 25 年度に学校施設環境改善交付金（地震補強、大規模改造、太陽光発電等設置）を活用しています。

処分制限期間内に譲渡や貸与等の財産処分を行う場合は、「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律」に基づき、文部科学大臣の承認等を受ける手続が必要となります。

⑤　防災拠点としての機能について

高麗小学校は、指定避難所に位置付けられています。（想定収容人数：200 人）

校庭は、ドクターヘリの臨時離発着場に定められています。

⑥　利用状況（令和４年度）

競技団体	使用箇所	利用回数/年	使用料
バスケットボール 剣道	体育館	38	全面：2 時間につき 300 円

※夜間照明施設を利用した学校運動場の利用はありませんでした。

４．市民の意向

（１）学校跡地活用に関わる市民アンケート調査

学校跡地の活用について市民の意見や考えなどを把握するため、市民アンケート調査を実施しました。

① アンケート調査概要

調 査 対 象：無作為抽出による 18 歳以上の市民 3,000 人

調 査 方 法：無記名方式、郵送又は電子申請での回答

調 査 期 間：令和 5 年 1 月 6 日（金）～1 月 26 日（木）

有効回答数：1,153 件（内訳　郵送：887 件、WEB 回答：266 件）

回　答　率：38.4%

② アンケート調査結果概要

ア 活用方法について

	旧武蔵台中学校	高根中学校	高麗小学校
1 位	福祉サービス（19.8%）	福祉サービス（22.6%）	道の駅など観光関連（30.7%）
2 位	健康づくりの場（15.0%）	健康づくりの場（20.2%）	健康づくりの場（13.0%）
3 位	合宿等の宿泊施設（9.6%）	オフィス機能（10.2%）	福祉サービス（11.1%）

イ 期待される効果について

	旧武蔵台中学校	高根中学校	高麗小学校
1 位	市民の健康増進（18.3%）	市民の健康増進（23.2%）	来訪者の増加（42.9%）
2 位	来訪者の増加（16.3%）	市民の憩いの場（16.1%）	市民の健康増進（12.7%）
3 位	市民の憩いの場（16.0%）	貸付け・売却等財源確保（13.1%）	市民の憩いの場（12.2%）

ウ 活用の際の留意点について

	旧武蔵台中学校	高根中学校	高麗小学校
1 位	地元への配慮（30.5%）	地元への配慮（29.8%）	地元への配慮（28.1%）
2 位	避難場所の確保（19.8%）	避難場所の確保（23.8%）	避難場所の確保（21.7%）
3 位	市の財政負担軽減（18.7%）	市の財政負担軽減（17.9%）	市の財政負担軽減（16.3%）

エ　民間事業者の導入について

	旧武蔵台中学校	高根中学校	高麗小学校
1 位	導入した方がよい （45.5%）	導入した方がよい （44.2%）	導入した方がよい （47.3%）
2 位	どちらでもよい （30.6%）	どちらでもよい （31.3%）	どちらでもよい （27.7%）
3 位	市が整備・運営 （20.5%）	市が整備・運営 （21.2%）	市が整備・運営 （21.3%）

（２）学校跡地活用に関する市民懇談会

市民、民間事業者等及び行政の意向や関係法令等を題材に、本市と市民にとって有効な活用方法を考える場としてワークショップ形式による市民懇談会を開催しました。

①　市民懇談会概要

募　集　対　象：18 歳以上の市民
日　　時：令和 5 年 10 月 22 日（日）午前 10 時～正午
会　　場：日高市役所　3 階　301 会議室
応　募　人　数：37 名（30 歳代～80 歳代）
参　加　人　数：33 名（４名欠席）
第　1 部　説　明：学校跡地活用の検討について
懇談会の開催概要について
市民アンケート調査結果について
民間事業者等サウンディング型市場調査※結果について
廃校の活用事例の紹介
土地利用等の規制について
行政需要の方向性について
第 2 部　ワークショップ：「日高市における課題やニーズ」について
「施設の活用アイデア」について

※サウンディング型市場調査：市有地などの活用方法について、公募により民間事業者から広く意見や提案を求め、事業への有用な意見やアイデアを収集することを目的とした、民間事業者との直接の意見交換による調査

②　市民懇談会の主な意見等

・ 廃校になった後の子どもの居場所がなくなることが懸念される。
・ 3 校全てで子育て世代の支援や地域全体の防災意識の向上が期待できる施設になってほしい。
・ 学校を拠点とした魅力あるまちづくりを目指した施設になってほしい。
・ 必要な機能の優先順位を決め、市と民間で役割分担しながら、重要度の高い機能の整備を

進めてほしい。

・ 市の今後を担う中高生に意見を聞く必要があると思われる。

・ 単体で整備するのではなく、複合化した施設を整備するべきである。

・ 埼玉県内の他市で市街化調整区域においても条件付きで地域活性化に資する施設が認められているため、市でも廃校を活用し、市民懇談会で挙がった意見の実現を期待している。

・ 廃校活用までの期間、きちんと管理してほしい。

③ 市民懇談会で挙がった具体的な活用アイデア

ワークショップの中で挙がった地域の課題やニーズを踏まえた活用アイデアについて、各種別にまとめると下表のとおりです。

表：各種別の活用アイデア

種別	活用アイデア
福祉系	・ デイケアセンター ・ 介護施設
スポーツ・文化系	・ 校庭を遊び場として開放 ・ アトリエや工房、スタジオ等がある芸術文化施設 ・ カルチャーセンター
観光・レジャー・アミューズメント系	・ グランピング、キャンピング施設 ・ 観光客向けの宿泊施設 ・ 体育館等に隣接した合宿所
子育て・教育系	・ 児童館、子育て支援施設 ・ 子ども食堂 ・ 大学施設
コミュニティ系	・ 多世代交流センター ・ 市民活動拠点施設
農林水産系	・ 特産品や農産物の加工販売施設 ・ 農業体験施設
業務、IT 系	・ コワーキングスペース、シェアオフィス ・ スタートアップ企業の支援の場
商業系	・ 飲食店（カフェ、レストラン） ・ 道の駅
防災系	・ 避難所 ・ 防災トレーニングセンター
行政施設	・ 公民館、図書館 ・ 出張所

（３）行政経営審議会

本市の行政経営に係る重要事項に関すること等について調査審議する日高市行政経営審議会に対し、日高市学校跡地活用基本計画の策定に向けた取組や今後の予定などについて報告を行うとともに、学校跡地活用基本計画案について審議しました。

① 令和５年度 第１回日高市行政経営審議会

ア 行政経営審議会概要

日　　時：令和５年 10 月 26 日（木）午後２時 30 分～午後４時 30 分
場　　所：日高市役所　２階　庁議室
出 席 者：委員 12 名（欠席者なし）
議　　題：日高市学校跡地活用基本計画について
内　　容：日高市学校跡地活用基本計画策定の目的、これまでの取組内容、今後の予定についての報告

イ 行政経営審議会委員の主な意見

・ 将来的に本市の財政負担を考えれば、全て売却の方がいいのではと思う。
・ 全国には学校跡地の活用も多くあるため、事例研究をしてもらいたい。
・ 避難所として継続されるか気になる。

② 令和５年度 第２回日高市行政経営審議会

ア 行政経営審議会概要

日　　時：令和６年２月 26 日（月）午後１時 30 分～午後４時 00 分
場　　所：日高市役所　２階　庁議室
出 席 者：委員 10 名（２名欠席）
議　　題：日高市学校跡地活用基本計画について
内　　容：日高市学校跡地活用基本計画（案）及び市民コメントについての説明

イ 行政経営審議会の主な意見

・ 現在、使用されていない施設に年間 200 万円以上の維持管理費用がかかっているので、速やかな活用を希望する。
・ 勉強がしたくても塾に行くことができない環境の子供たちもいるので、そのような子供たちのために、勉強ができる場などの活用ができたらよいと思う。

５．民間事業者等の活用の可能性

民間事業者等との対話を通じて、自由度の高い視点によるアイデアや活用に必要な事業条件等を把握し、学校跡地活用基本計画の策定に生かすことを目的に、サウンディング型市場調査を実施しました。

（１）サウンディング型市場調査実施概要

調査方法：公募型サウンディング調査

調査内容：活用希望校、活用範囲、事業スキーム、事業期間、事業概要、事業効果、地域貢献、施設開放、維持管理など、学校施設の活用にかかる提案等

受付期間：令和５年６月 30 日（金）～7 月 31 日（月）

意見交換：令和５年８月４日（金）～８月 22 日（火）

（２）サウンディング型市場調査結果概要

① 参加事業者数

28 事業者

② 提案・意見の概要

サウンディング型市場調査での提案や意見交換の概要については下表のとおりです。

表：サウンディング型市場調査での提案・意見の概要

活用可能校 ※複数回答含む	旧武蔵台中学校（14 社） 高根中学校（18 社） 高麗小学校（24 社）
活用範囲	学校全体（14 社） 学校の一部（14 社）
提案業種	福祉系（７社） スポーツ・文化系（５社） レジャー・アミューズメント系（４社） 子育て・教育系（４社） コミュニティ系（２社） スタジオ系（２社） 農林水産系（２社） IT 系（１社） 商業系（１社）
事業スキーム	買取り（２社） 賃借（24 社）　事業期間：２～52 年 買取り・賃借どちらも可能（２社）
事業効果	・ 地域の認知向上や情報発信 ・ 観光誘致や飲食販売等による経済効果の創出 ・ 雇用創出

	・ 地域活性化 ・ 子育て支援や地域福祉の充実 ・ 健康増進 ・ 移住者誘致
地域貢献	・ 交流イベント ・ 地域活性化に寄与 ・ 地域の認知向上 ・ IT リテラシーの向上 ・ 子育て支援や地域福祉へ貢献 ・ 地域雇用の創出 ・ 地域農産物の販売や情報発信 ・ 地域住民の利便性向上 ・ 防災機能の維持 ・ コミュニティ機能の維持
施設開放	・ イベント開催 ・ 定期的な学校開放 ・ 市民への割引又は無料チケットの配布 ・ 一部教室棟の貸出し ・ オープンスペース等の交流の場を常時提供
維持管理	・ 軽微な維持管理は対応可能 ・ 維持管理内容を確認の上、費用等踏まえ検討 ・ 大規模修繕は、対応が難しいため市と協議 ・ 自社にて実施 ・ 市と共同での維持管理 ・ 使用する部分の管理は行う ・ 市の予算での対応
避難所等の機能維持	可能（26 社） 条件付きで可能（１社） 現段階では検討不可（１社）
市への要望	・ 暫定活用の検討 ・ 学校内備品の維持 ・ 交通アクセスの改善 ・ 無償又は低廉な賃料での賃借 ・ 学校の内覧 ・ 広報活動の支援 ・ 地域住民や関係機関等への連携支援 ・ 補助金等の申請支援 ・ 用途変更の対応 ・ 維持管理や防災機能等の必要条件の明示 ・ 提案事業に就業する人の募集等の協力 ・ 市の移住者支援事業との協力 ・ 道路の整備検討 ・ 近隣の観光資源と一体化した活用の検討

③　民間事業者等の活用の可能性

サウンディング型市場調査の結果、28 社の民間事業者等から様々な事業提案があり、どの提案も地域への貢献や地域の活性化に資する内容の活用アイデアが出されました。

活用可能校については、高麗小学校が最も多く、次いで高根中学校、旧武蔵台中学校の順であり、「賃借」の希望が大半を占めました。また、学校跡地全体の提案だけではなく、「 1 教室分のみを借用したい」といった、施設の一部を活用する提案も多くありました。いずれの提案も、施設の一部を本市が使用するとした場合に、大半が共存可能であることが確認できましたが、事業内容の性質上、共存不可であるという意見も出ました。

避難所の機能維持やドクターヘリの臨時離発着場への対応については、ほぼ全ての民間事業者等が可能であるということが確認できました。一方で、維持管理については、「自社で行う」、「軽微な維持管理は行う」、「市の予算で行う」など、意見が分かれました。

本市への要望としては、「市街化調整区域のため用途変更への対応」、「無償又は低廉な賃料での賃借」、「交通アクセスの改善や道路の整備」など、幅広い観点から、多くの意見が出ました。

以上のことから、3 校全てで民間事業者等の活用意向があることが分かりました。一方で、民間事業者等の活用に当たっては、「都市計画法等の規制」や「維持管理の役割分担」などが課題として挙げられているため、実現に向けて課題の整理を行う必要があります。

６．行政需要の整理

（１）公共施設としての活用の検討

本市では、各所属で抱えている課題や懸案事項の解決に向けた活用の意向を把握するため、令和４年 12 月に全庁に対して意向調査を実施しました。

その結果、５課から活用希望があり、高麗小学校、高根中学校、旧武蔵台中学校の順で希望が多い状況でした。

具体的な活用方法としては、文化財・市史編さん資料の貯蔵庫、地域住民の健康増進の場、地域部活動の活動拠点などのほか、防災の観点から避難所機能を維持する提案もありましたが、そのほとんどが施設の一部のみの活用を希望する内容でした。

（２）各調査結果等を踏まえた行政需要の方向性の検討

空き施設の活用に当たっては、上位計画である公共施設再編計画において、「時代の変化に対応した行政サービスを継続的に提供すること」、「人口減少社会の中で持続可能な行政経営を実現すること」、「将来世代に財政負担を先送りしないこと」という３つの基本的な考え方を定めており、これらに基づいた公共施設再編を着実に進める必要があります。

また、市民アンケート調査では、「３校全てで民間事業者等を導入した方がよい」という回答が最も多かったことから、跡地活用に当たっては民間事業者等による活用が望まれています。

これらのことから学校跡地の効率的かつ有効な活用を図るためには、民間事業者等による跡地全体の活用が望ましいと考えますが、その一方で、庁内における空き施設の活用意向調査や、民間事業者等に対するサウンディング型市場調査では、施設の一部を活用する提案も多く寄せられました。

これらを踏まえ、３校のうち１校は、行政と民間事業者等が共用する施設として活用する案も検討の余地があると考えます。

なお、公共施設として活用する場合は、公共施設再編計画に基づき、公共施設の総量最適化や更新コストの削減を図る必要があるため、既存公共施設の統合や集約化等を前提に検討する必要があります。

（３）行政と民間事業者等が共用する施設の検討

これまでの各調査の結果、高麗小学校に関しては、行政需要及び民間需要ともに「活用希望が最も多く、施設の一部の活用希望も多いこと」、市民アンケート調査では「観光施設としての活用が最も望まれていること」、市民懇談会では「市内外から人が集う場としての活用意見が多いこと」などが要望として挙げられています。

また、本市としても、引き続き巾着田でのイベント等、観光関連用途として使用できるようにしておくことが望ましいと考えます。

以上のことから、高麗小学校を行政と民間事業者等が共用する施設として優先的に検討すべきと考えます。

７．学校跡地活用基本計画

前項までを踏まえ、学校跡地活用についての「基本的な考え方」、「活用の方向性」、「留意事項」、「暫定利用」、「個別活用の検討の進め方」、「事業スケジュール」について以下のとおり整理しました。

（１）基本的な考え方

① まちづくりの方針

「第 6 次日高市総合計画」等の各種上位計画に基づき、他の行政需要として公共施設による活用や、売却などで歳入を確保し事業費へ充当するなど、多角的に活用方法を検討します。また、公共施設として再活用する場合は「日高市公共施設再編計画」の方針を踏まえ、他の施設との統廃合や複合化、機能集約等を検討します。

② 民間事業者等の活用

本市の経済性や市民サービスの継続に向けて、各種上位計画に基づき、民間事業者等への売却を優先して検討し、売却不可能な場合は貸付け等による活用を検討します。また、民間事業者等の活用に当たっては、民間事業者等が進出できる条件を検討します。

③ 地域の意向と地域の活性化

学校施設は、児童・生徒の学び舎だけではなく、地域のコミュニティの場などの様々な役割を担ってきたことを十分に踏まえ、地域の意向を把握するとともに、地域の活性化に資する活用方法を検討します。

（２）活用の方向性

次のような活用の方向性で各学校跡地活用を進めていきます。

① 旧武蔵台中学校

・ 民間事業者等による活用を基本とします。
・ 民間事業者等による活用については、市民アンケート調査、市民懇談会及びサウンディング型市場調査において提案された内容に留意した活用を検討します。
・ 売却、賃貸の順で検討を進めます。
・ 早期活用を図るため、現行の地区計画に合致する用途での活用を検討します。なお、活用を希望する用途が現行の地区計画に合致しない場合は、地区計画の変更が必要となるため、変更手続に必要な時間を見込んだ活用スケジュールを検討します。

② 高根中学校

・ 民間事業者等による活用を基本とします。
・ 民間事業者等による活用については、市民アンケート調査、市民懇談会及びサウンディング

型市場調査において提案された内容に留意した活用を検討します。

・ 売却、賃貸の順で検討を進めます。

・ 市街化調整区域により、土地の開発などが厳しく制限されるため、必要に応じて土地利用の規制緩和といった先行事例等を参考に検討します。

③ 高麗小学校

・ 行政と民間事業者等が共用する施設としての活用を基本とします。

・ 公共施設については、再編計画に基づく施設総量の最適化や更新コストの削減を図る必要があるため、学校周辺の公共施設の統合や集約化と併せて検討します。

・ 民間事業者等による活用については、市民アンケート調査、市民懇談会及びサウンディング型市場調査において提案された内容に留意した活用を検討します。

・ 市街化調整区域により、土地の開発などが厳しく制限されるため、必要に応じて土地利用の規制緩和といった先行事例等を参考に検討します。

（３）留意事項

① 防災拠点

3 校とも、「指定避難所」に位置付けられています。また、校庭はドクターヘリの臨時離発着場に定められています。

こうしたことから、学校跡地の活用を検討するに当たり、学校がこれまで担ってきた役割を踏まえ、新たな地域の防災拠点の確保又は継続した防災拠点の維持について検討します。

② 国庫補助金等の清算及び活用

国庫補助金等を財源として整備した建物等を財産処分する場合、国庫補助金の返還や地方債の繰上償還を行うことも想定されるため、必要な財産処分手続を確認の上、財源の確保を含め適切に対応します。

また、学校跡地の活用施設が国庫補助の対象となる場合、補助金制度を活用し、財政負担の軽減に努めます。

③ 法の規制

学校ではない用途として活用する場合は、その用途に応じた都市計画法や建築基準法、消防法等の規定に基づく設備対応に留意します。

高根中学校と高麗小学校は、市街化調整区域に位置しており、都市計画法により活用できる用途が制限されています。

旧武蔵台中学校と高根中学校の一部は、土砂災害防止法に基づく土砂災害特別警戒区域に指定されているため、一定の開発行為の制限や居室を有する建築物の構造が制限されます。

（４）暫定利用

新たな活用方法により、使用開始まで時間を要することが想定されるため、校庭や体育館などの施設の一部については、管理主体や維持管理の方法等を明確にした上で、暫定的な利用を検討します。

また、指定避難所としての機能を維持し、災害発生時の対応に備えます。

（５）個別活用の検討の進め方について

学校跡地の活用について課題等を整理及び分析し、有効活用を図るため、各学校で立地条件や地域の意向が異なることを考慮して、個別に活用方法の検討を行います。

① 情報収集

学校の統廃合に伴い、跡地の活用を進めている自治体は数多くあることから、先行する自治体の事例収集などを行い、事例研究を進めます。

特に、市街化調整区域については、土地の開発や建物の建築、用途などが厳しく制限されるため、土地利用の規制緩和といった先行事例も参考に研究を進めます。

② ニーズの把握

各学校で具体的な実施手法等を検討するため、基本的な考え方に沿って必要に応じ調査を実施します。

・ 行政需要については、令和４年度に実施した活用希望の調査結果を前提に、個別活用計画の策定を進めます。

・ 民間需要については、令和５年度に実施したサウンディング型市場調査において、様々な民間事業者等と意見交換を行いました。今後も、更に詳細な市場ニーズの把握を行いつつ、必要に応じて活用の可能性が高い業態について調査を行います。

・ 地域の意向については、令和４年度に実施した市民アンケート調査の結果や令和５年度に実施した市民懇談会における活用アイデアを基本とします。

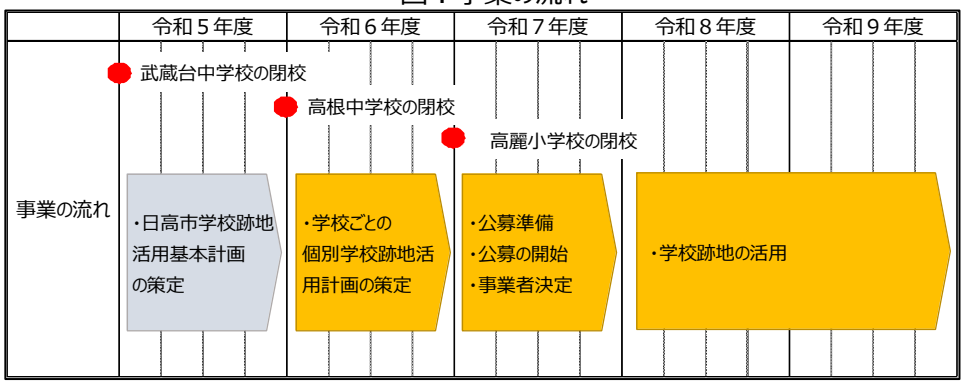
③ 個別活用計画の策定

本計画で定めた基本的な考え方及び活用の方向性の観点から、個別の活用方法を検討します。活用方法の検討に当たっては、学校跡地における先行事例等の「情報収集」と「ニーズの把握」により、課題等を整理・分析した上で、跡地活用に向けた各学校の具体的な個別活用計画を取りまとめます。

（６）事業スケジュール

本事業のスケジュールは下図の流れを基本とし、各学校で活用の方向性が異なるため、個別活用計画において、それぞれの事業スケジュールを定めることとします。

図：事業の流れ



資料編

・市民アンケート調査報告書

・市民懇談会　ワークショップ結果

・サウンディング型市場調査　意見交換結果一覧

市民アンケート調査報告書

「日高市学校跡地活用」に関わる
市民アンケート調査報告書

令和 ５ 年 ３ 月

日 高 市

〈目　次〉

第１章 アンケート調査概要 1
１．調査目的 1
２．調査概要 1
３．集計、結果整理について 1

第２章 アンケート調査結果 2
１．回答者の属性 2
（１）年　齢 2
（２）居住地 2
【高麗小学校跡地】 3
２．高麗小学校跡地活用について 4
（１）活用の方法について 4
（２）期待される効果について 6
（３）活用の際の留意点について 8
（４）民間事業者の導入について 10
（５）高麗小学校活用に対する意見等について 12
【高根中学校跡地】 13
３．高根中学校跡地活用について 14
（１）活用の方法について 14
（２）期待される効果について 16
（３）活用の際の留意点について 18
（４）民間事業者の導入について 20
（５）高根中学校活用に対する意見等について 22
【武蔵台中学校跡地】 23
４．武蔵台中学校跡地活用について 24
（１）活用の方法について 24
（２）期待される効果について 26
（３）活用の際の留意点について 28
（４）民間事業者の導入について 30
（５）武蔵台中学校活用に対する意見等について 32

第３章 調査結果のまとめ 33
１．設問ごとの傾向のまとめ 33
（１）活用方法について 33
（２）期待される効果について 34
（３）活用の際の留意点について 35
（４）民間事業者の導入について 36
２．学校ごとの跡地活用の考え方 37
（１）高麗小学校跡地 37
（２）高根中学校跡地 37
（３）武蔵台中学校跡地 37

第1章 アンケート調査概要

1. 調査目的

令和５年度に武蔵台中学校、令和６年度に高根中学校、令和７年度に高麗小学校が空き施設となるため、当該３校の跡地活用に対する市民の意見や考えなどを調査して基礎資料とするアンケート調査を実施しました。

2. 調査概要

調査対象	無作為抽出による 18 歳以上の市民 3,000 人
調査期間	令和５年１月６日（金）～１月２６日（木）
調査方法	無記名方式、郵送または電子申請での回答
有効回答数 （回答率）	1,153 件（38.4%） ［回答の内訳　郵送：887 件、WEB 回答：266 件　］

3. 集計、結果整理について

・ １つの設問に対し複数の回答があった場合は無効扱いとし、「無回答」に集約しています。

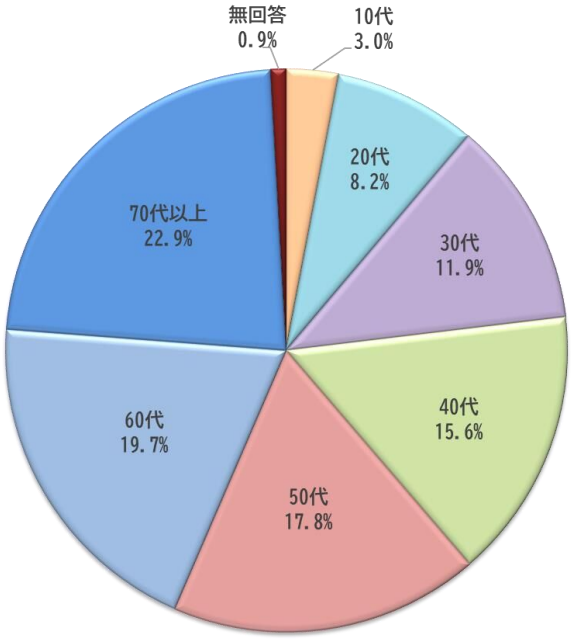
・ グラフタイトルにある［SA］は単数回答（single answer）を意味しています。

第2章 アンケート調査結果

1. 回答者の属性

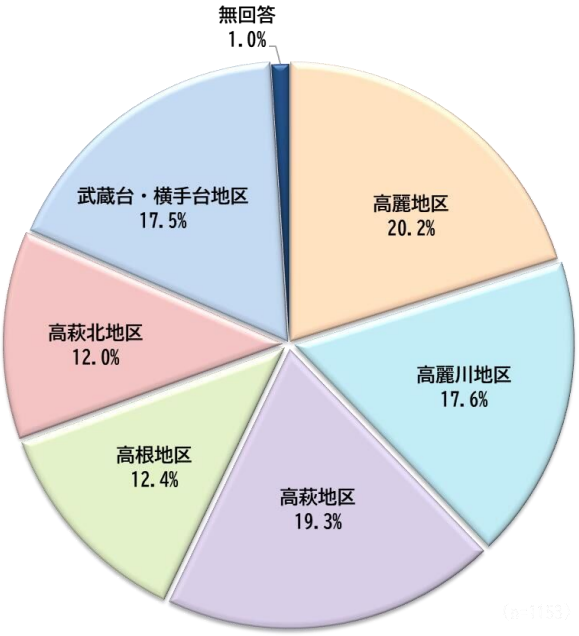
(1)年　齢

年代	回答数	比率
10代	35	3.0%
20代	95	8.2%
30代	137	11.9%
40代	180	15.6%
50代	205	17.8%
60代	227	19.7%
70代以上	264	22.9%
無回答	10	0.9%
合　計	1,153	100.0%



(2)居住地

地区	回答数	比率
高麗地区	233	20.2%
高麗川地区	203	17.6%
高萩地区	222	19.3%
高根地区	143	12.4%
高萩北地区	138	12.0%
武蔵台・横手台地区	202	17.5%
無回答	12	1.0%
合　計	1,153	100.0%



・年代については、「70 代以上（22.9%）」「60 代（19.7%）」「50 代（17.8%）」とあり、高い年代の回答の割合が多くなっています。
・居住地については、高麗地区（20.2%）の割合が最も大きく、以下、高萩地区（19.3%）、高麗川地区（17.6%）の順となっています。

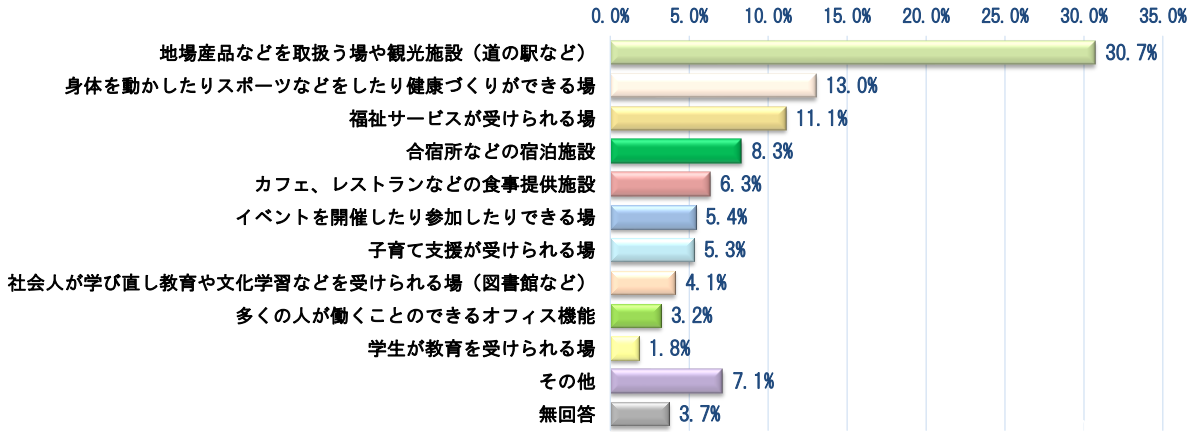
【高麗小学校跡地】

2. 高麗小学校跡地活用について

(1)活用の方法について

【問３】高麗小学校について、どのような活用が望ましいと思いますか。
（あてはまるもの１つに〇）

活用の方法	回答数	比率
地場産品などを取扱う場や観光施設（道の駅など）	354	30.7%
身体を動かしたりスポーツなどをしたり健康づくりができる場	150	13.0%
福祉サービスが受けられる場	128	11.1%
合宿所などの宿泊施設	96	8.3%
カフェ、レストランなどの食事提供施設	73	6.3%
イベントを開催したり参加したりできる場	62	5.4%
子育て支援が受けられる場	61	5.3%
社会人が学び直し教育や文化学習などを受けられる場（図書館など）	47	4.1%
多くの人が働くことのできるオフィス機能	37	3.2%
学生が教育を受けられる場	21	1.8%
その他	82	7.1%
無回答	42	3.7%
合　計	1,153	100.0%



【問３】高麗小学校の活用方法（SA）

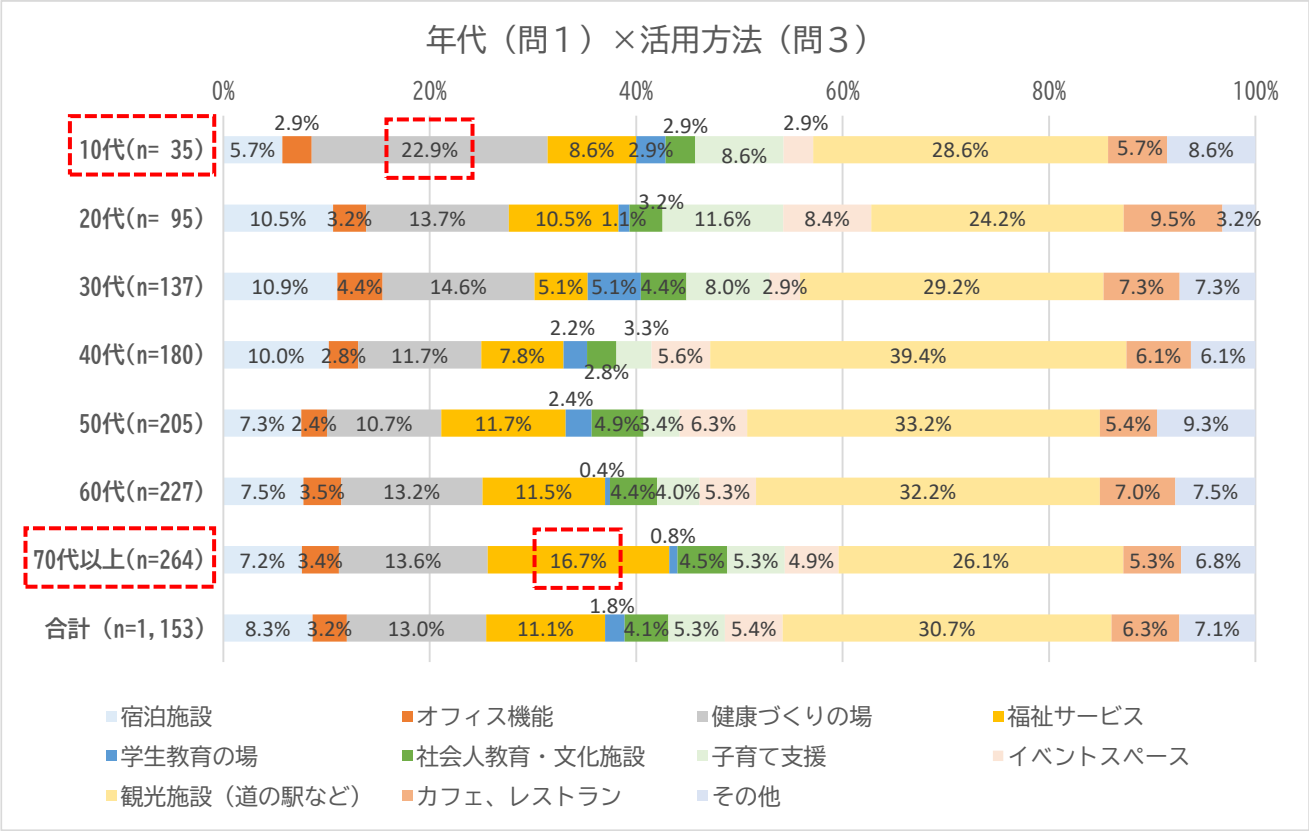
〇その他の主な意見
宿泊施設/観光施設/キャンプ（オート）場/複合施設/民俗資料館/公民館/駐車場　など

〈回答の傾向〉
最も多いのは「地場産品などを取扱う場や観光施設（道の駅など）」であり、次いで「身体を動かしたりスポーツなどをしたり健康づくりができる場」、「福祉サービスが受けられる場」の順となっています。

【年代別の回答傾向】

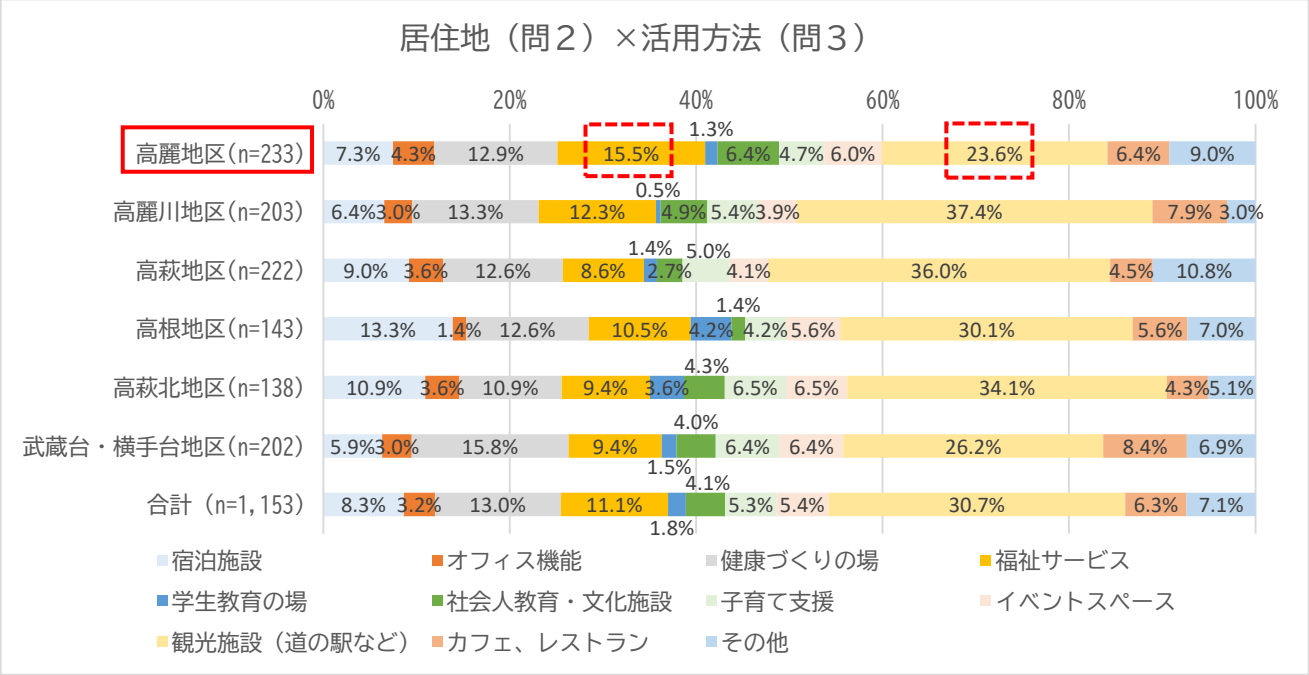
※選択肢を略称で表記しています

・すべての年代において「観光施設（道の駅など）の割合が最も大きくなっています。
・10 代では「健康づくりの場」、70 代以上では「福祉サービス」の割合が他の年代よりも大きくなっています。



【居住地別の回答傾向】

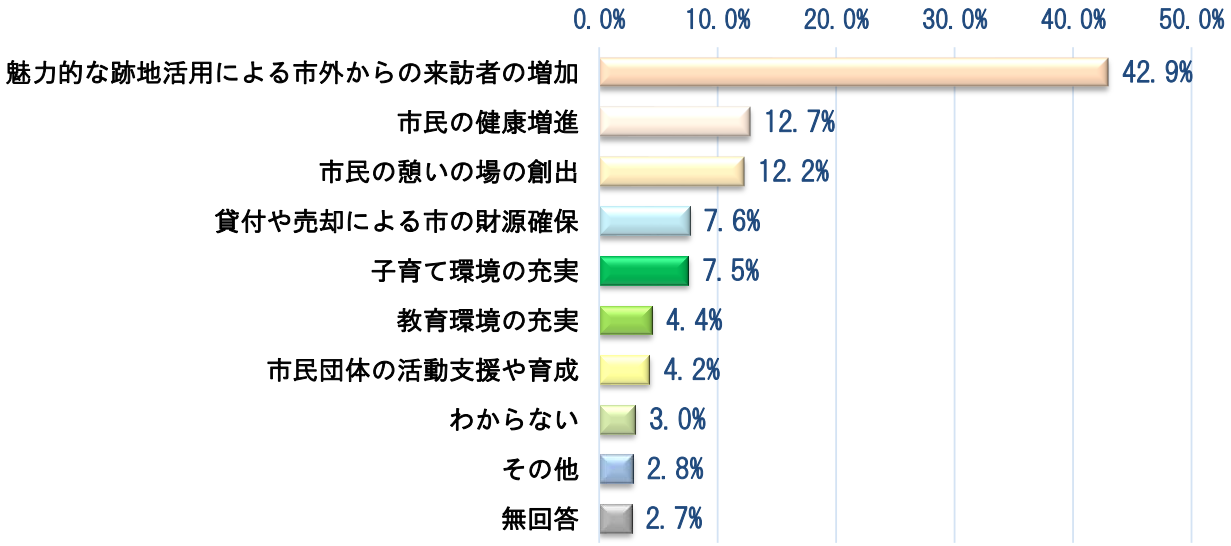
・高麗小学校が立地する高麗地区の傾向をみると、「観光施設」の割合が最も大きいものの他地区に比べて割合が低く、「福祉サービス」の割合が他地区と比較してやや大きくなっています。



(2)期待される効果について

【問４】高麗小学校の活用により、どのような効果を期待しますか。
（あてはまるもの１つに○）

効果の期待	回答数	比率
魅力的な跡地活用による市外からの来訪者の増加	494	42.9%
市民の健康増進	146	12.7%
市民の憩いの場の創出	140	12.2%
貸付や売却による市の財源確保	88	7.6%
子育て環境の充実	87	7.5%
教育環境の充実	51	4.4%
市民団体の活動支援や育成	49	4.2%
わからない	35	3.0%
その他	32	2.8%
無回答	31	2.7%
合　計	1,153	100.0%



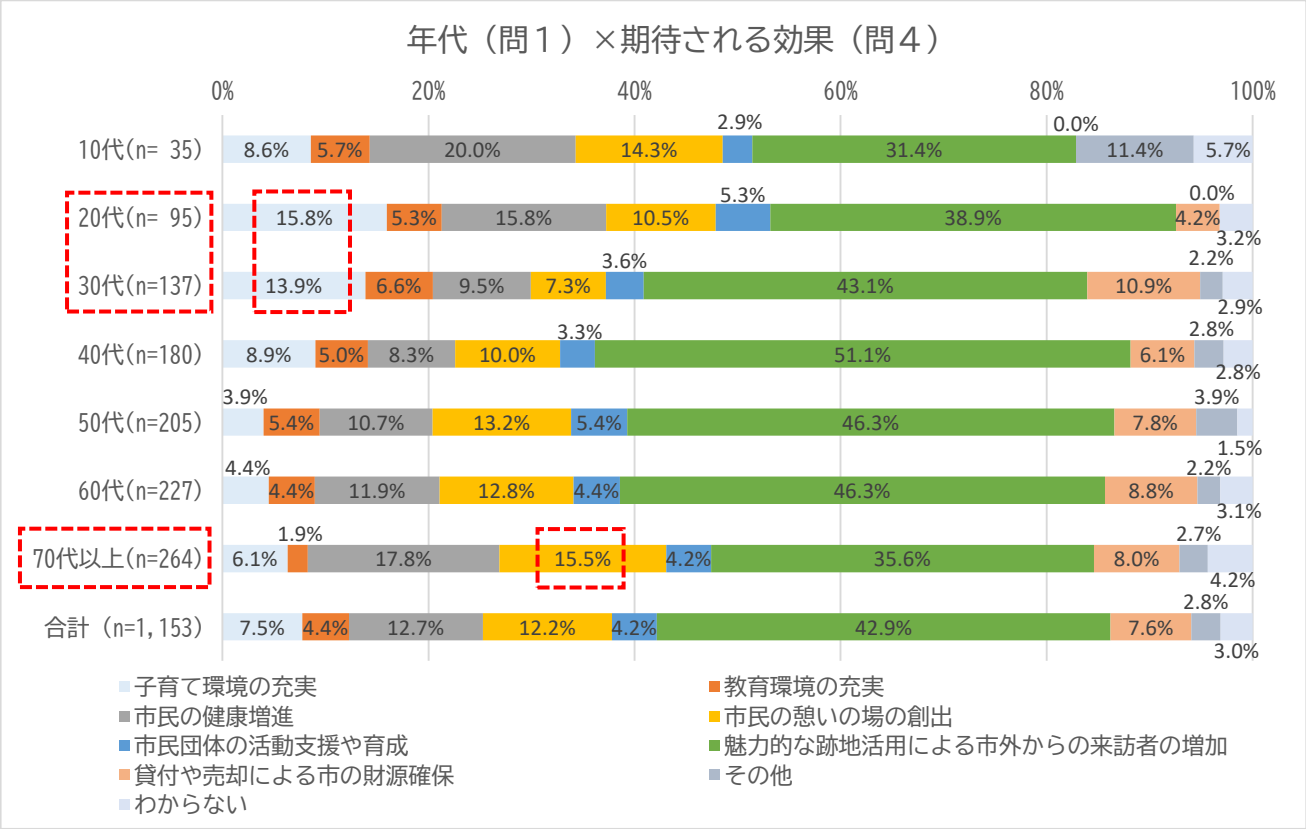
【問４】活用による期待される効果（SA）

○その他の主な意見
農業の育成/障がい者や高齢者がサービスを受けられること/市民の安全確保/老人ホームの順番まちのないように/少子・高齢化の為/施設を作る事には賛成できない　など

〈回答の傾向〉
最も多いのは「魅力的な跡地活用による市外からの来訪者の増加」であり、次いで「市民の健康増進」、「市民の憩いの場の創出」の順となっています。

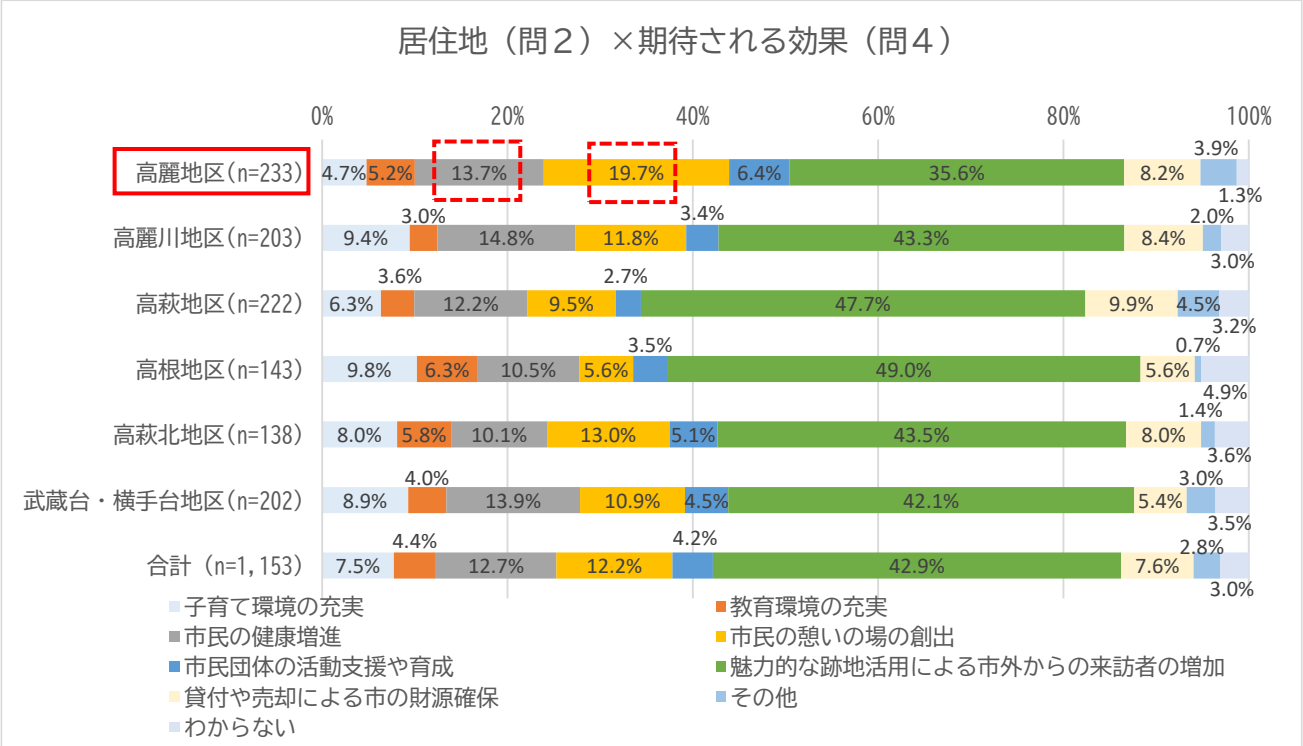
【年代別の回答傾向】

・すべての年代において「魅力的な跡地活用による市外からの来訪者の増加」の割合が最も大きくなっています。
・20 代、30 代では「子育て環境の充実」、10 代では「市民の健康増進」、70 代以上では「市民の憩いの場の創出」の割合が他の年代よりも大きくなっています。



【居住地別の回答傾向】

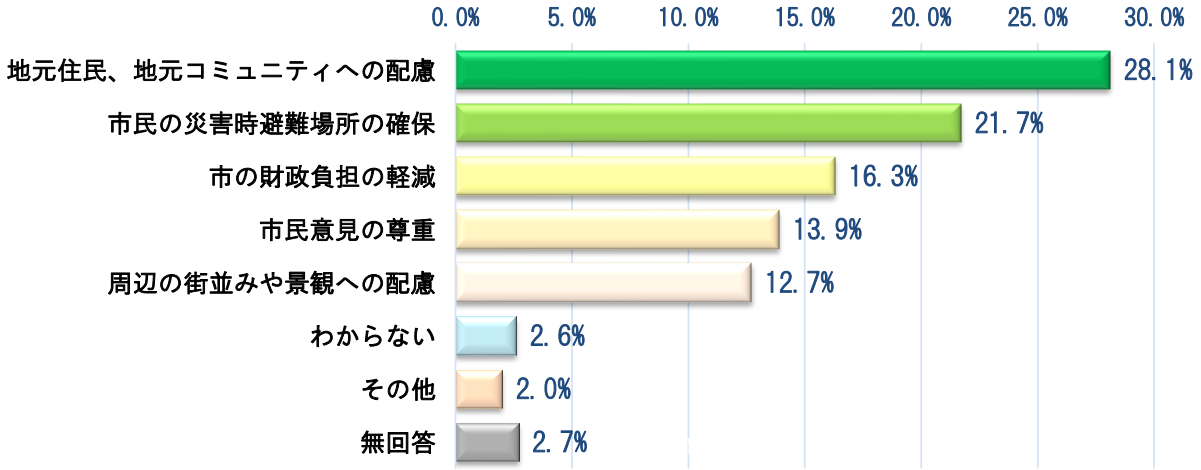
・高麗地区の傾向をみると、他地区同様「魅力的な跡地活用による市外からの来訪者の増加」の割合が最も大きくなっていますが、「市民の憩いの場の創出」、「市民の健康増進」の割合が他地区よりも大きくなっています。



(3)活用の際の留意点について

【問５】高麗小学校の活用の際、どのようなことに留意した方がよいと思いますか。
（あてはまるもの１つに○）

活用の際の留意点	回答数	比率
地元住民、地元コミュニティへの配慮	324	28.1%
市民の災害時避難場所の確保	251	21.7%
市の財政負担の軽減	188	16.3%
市民意見の尊重	160	13.9%
周辺の街並みや景観への配慮	146	12.7%
わからない	30	2.6%
その他	23	2.0%
無回答	31	2.7%
合　計	1,153	100.0%



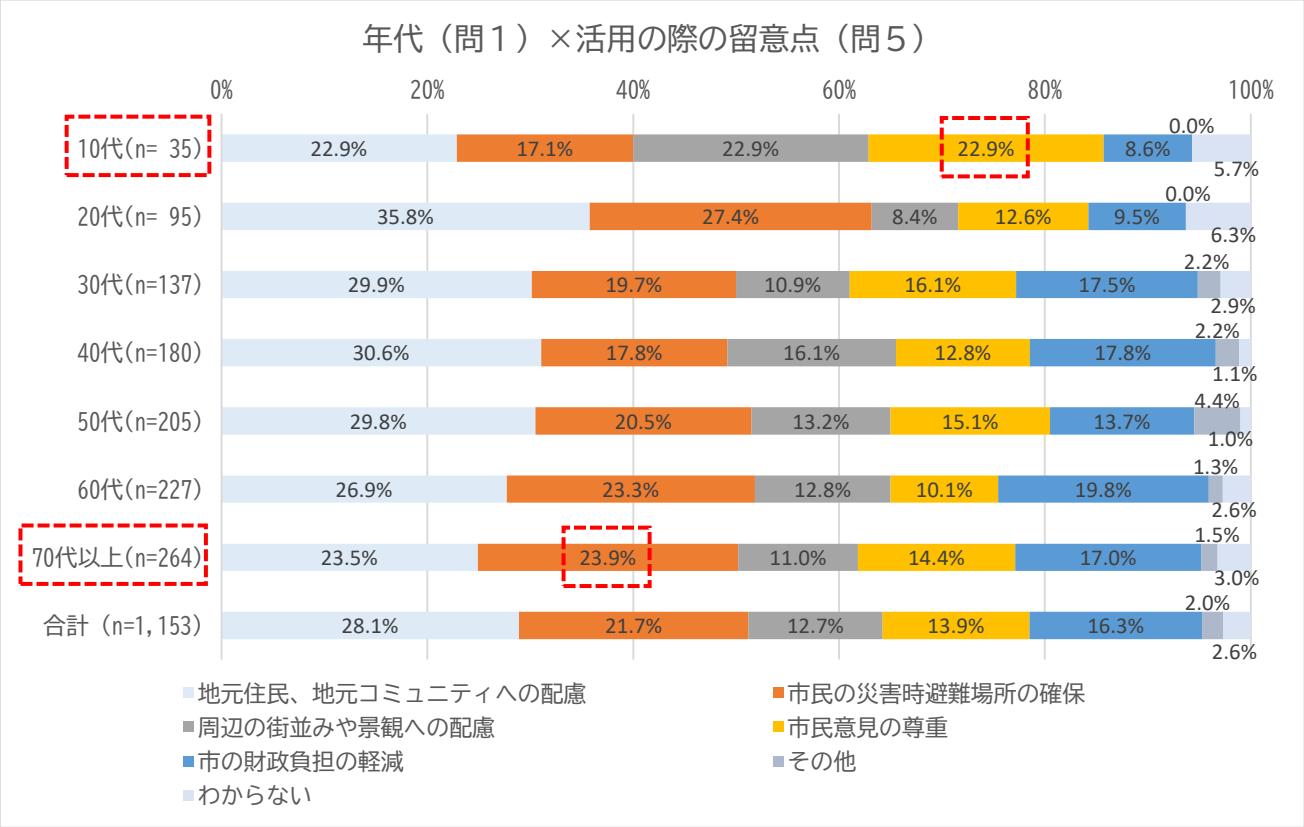
【問５】活用の際の留意点（SA）

○その他の主な意見
自然環境にもどす/市外の来訪者に喜ばれること/市の財政のプラスに成る様に/複合的施設にして多面的に対応できるようにする/周辺交通渋滞　など

〈回答の傾向〉
最も多いのは「地元住民、地元コミュニティへの配慮」であり、次いで「市民の災害避難場所の確保」、「市の財政負担の軽減」の順となっています。

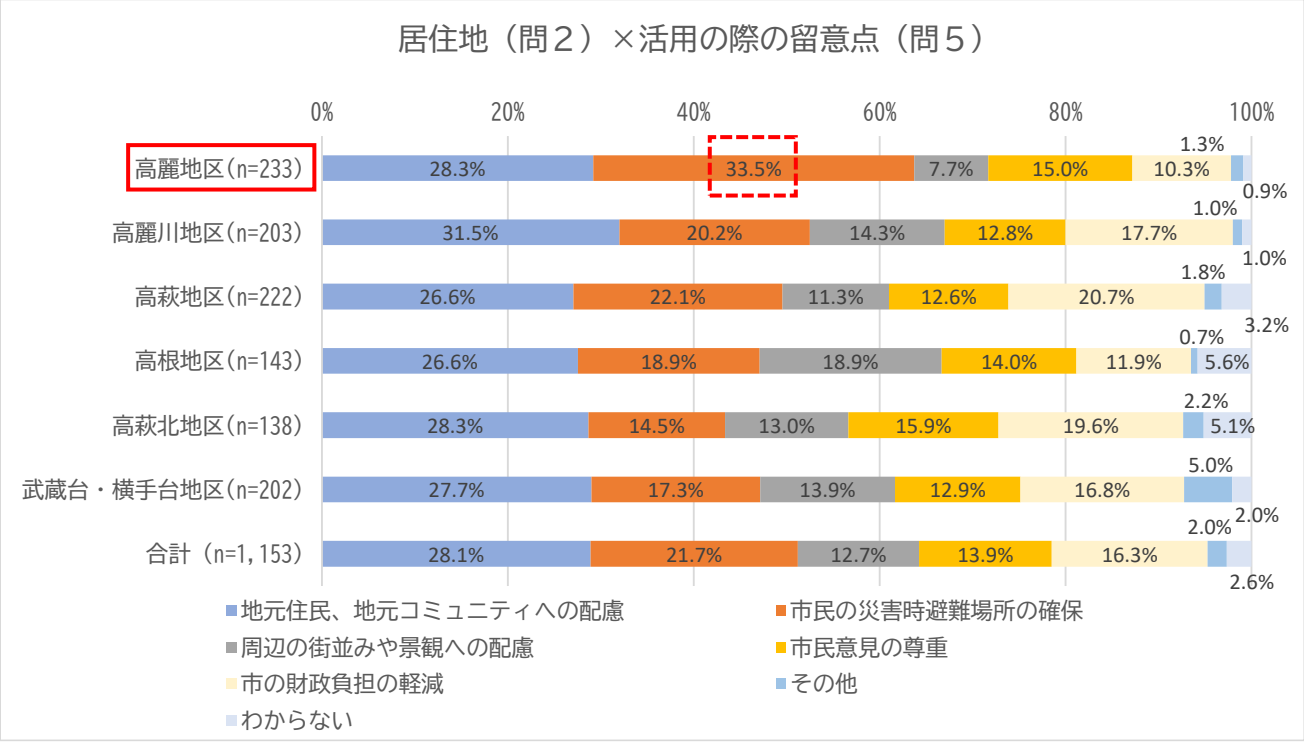
【年代別の回答傾向】

・すべての年代において「地元住民、地元コミュニティへの配慮」の割合が大きくなっています。
・10 代では「市民の意見の尊重」の割合が各年代の中で最も大きくなっています。また、70 代以上は「市民の災害避難場所の確保」の割合が「地元住民、地元コミュニティへの配慮」を上回っています。



【居住地別の回答傾向】

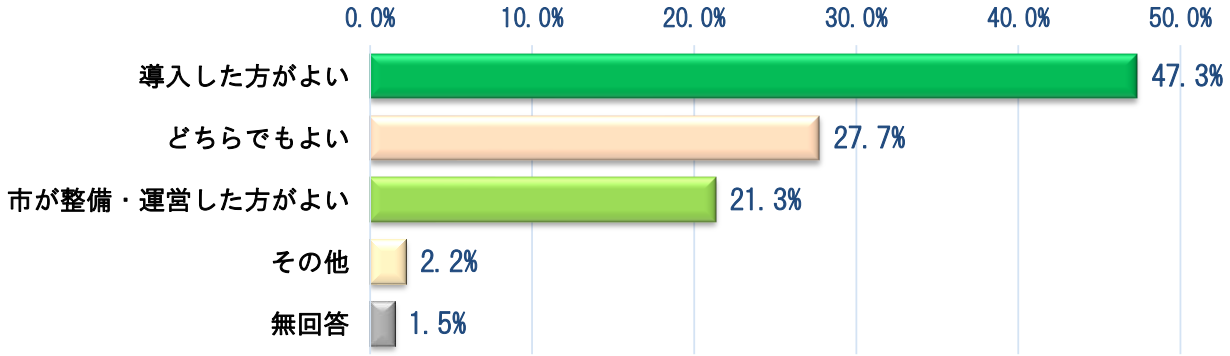
・高麗地区の傾向をみると、「市民の災害時避難場所の確保」の割合が最も大きくなっています。



(4)民間事業者の導入について

【問６】跡地活用の民間事業者の導入について、どのようにお考えですか。
（あてはまるもの１つに〇）

民間事業者の導入について	回答数	比率
導入した方がよい	546	47.3%
どちらでもよい	319	27.7%
市が整備･運営した方がよい	246	21.3%
その他	25	2.2%
無回答	17	1.5%
合　計	1,153	100.0%



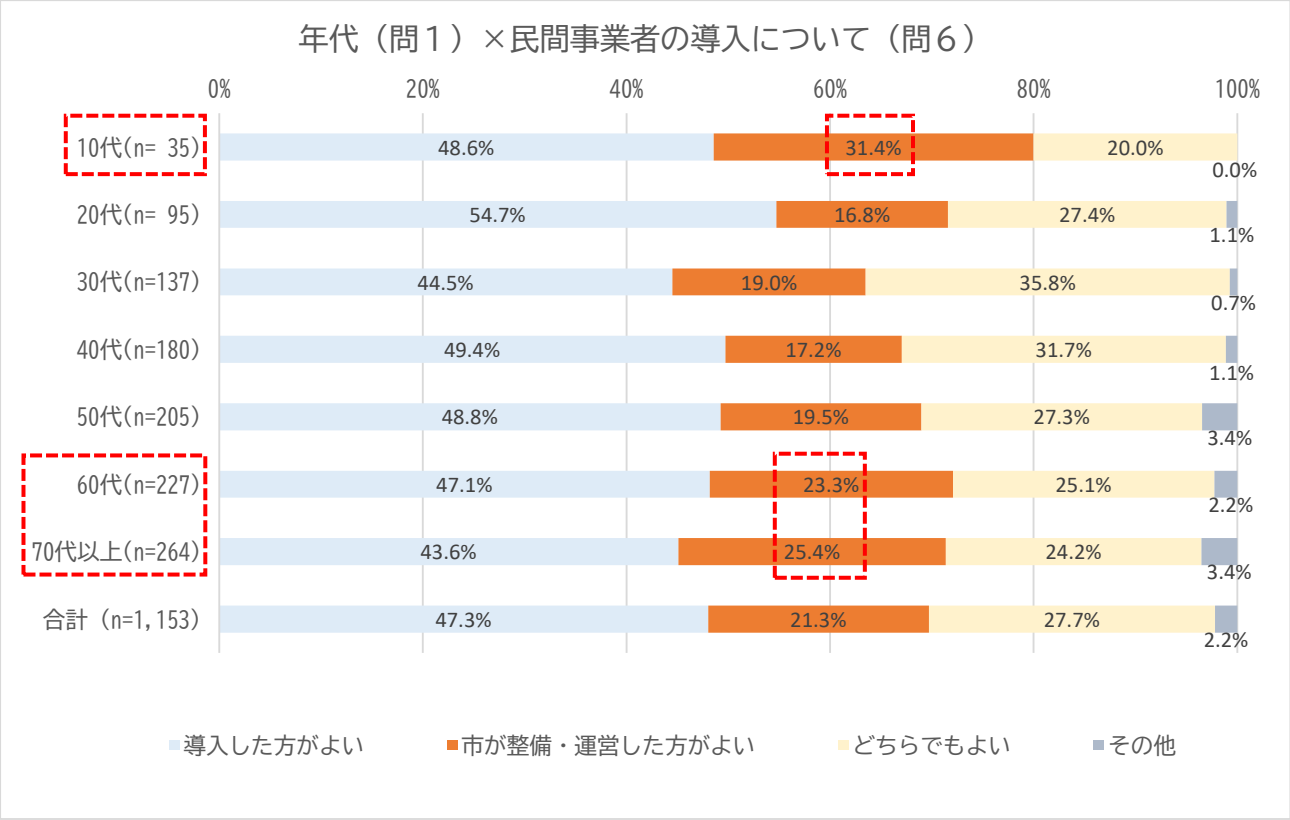
【問６】民間事業者の導入について（SA）

〇その他の主な意見
どのような日高市にしたいのか/埼玉（日高市）物流に適している。これらの事業を考えて/外国人やもうけ主義の事業者はダメ/災害時の為なら市が運営/市民の意見をききつつの民間導入を願います/アウトソーシングした方が良いがきちんとした会社を選定すべき　など

〈回答の傾向〉
最も多いのは「導入した方がよい」であり、次いで「どちらでもよい」、「市が整備・運営した方がよい」の順となっています。

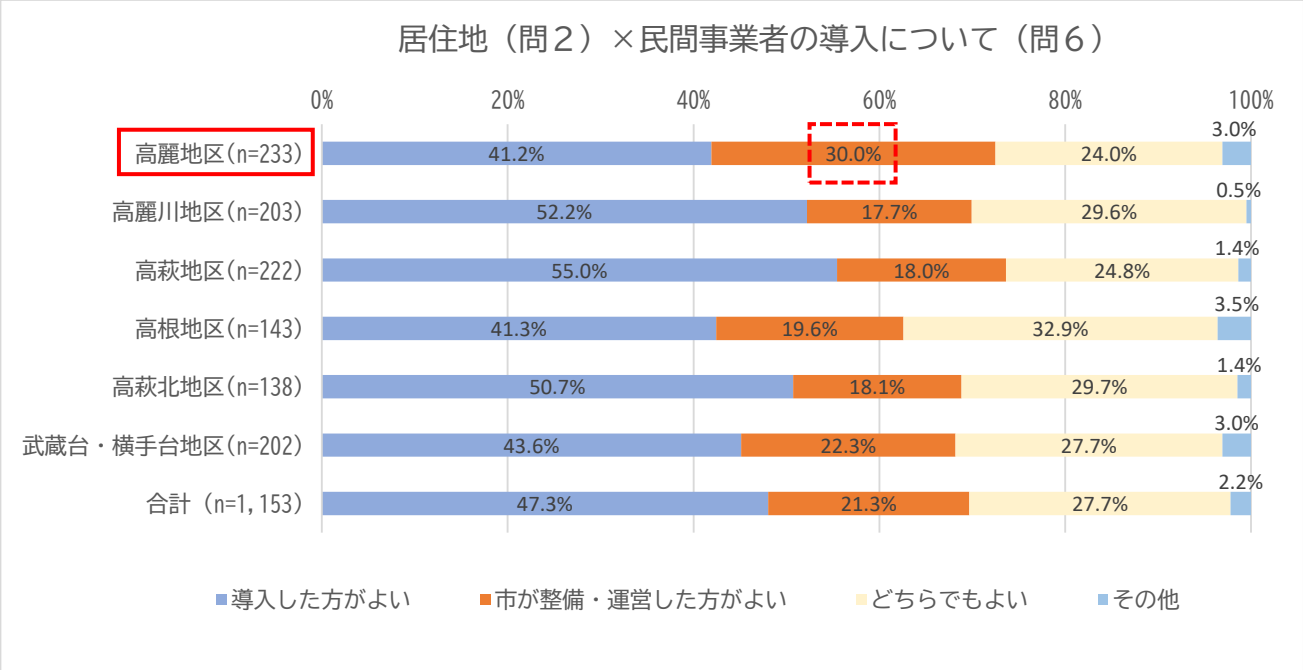
【年代別の回答傾向】

・すべての年代において「導入した方がよい」の割合が全体の約５割近くになっています。また10 代、60 代、70 代以上で「市が整備・運営した方がよい」の割合が市全体を上回っています。



【居住地別の回答傾向】

・高麗地区の傾向をみると、「導入した方がよい」の割合が最も大きくなっていますが、「市が整備・運営した方がよい」の割合が他の地区と比べて大きくなっています。

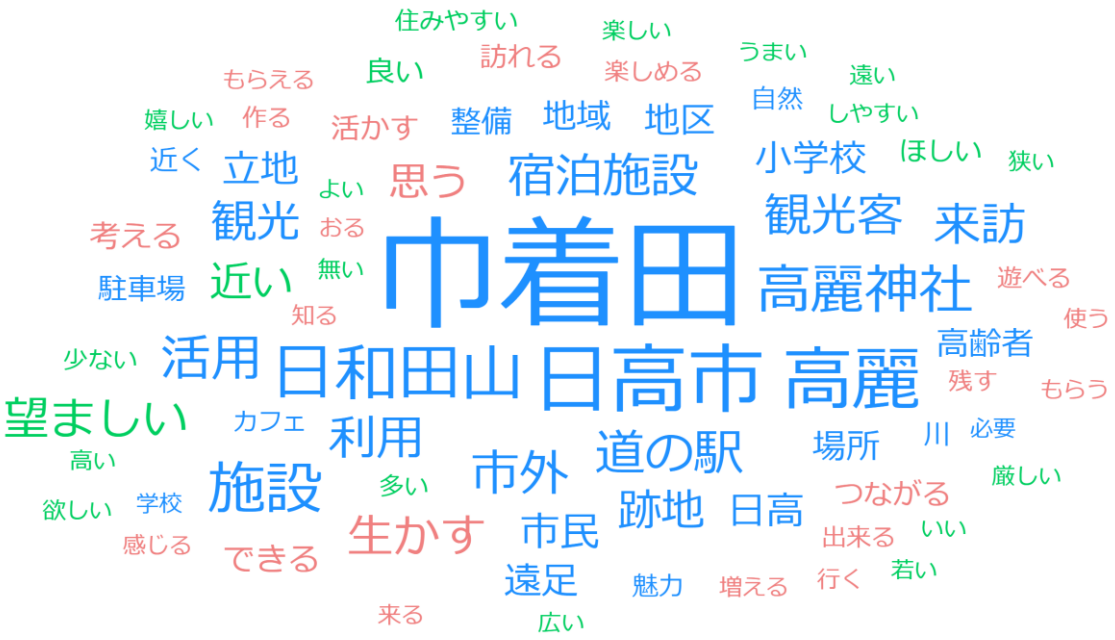


(5)高麗小学校活用に対する意見等について

【問７】高麗小学校跡地活用について、ご意見等がございましたら、ご記入ください。

〈回答の傾向〉

高麗小学校の跡地活用について、358 件（31.0%）の意見が寄せられました。回答傾向について出現した単語の分析（ワードクラウド分析）結果は以下のようになります。「巾着田」や「日和田山」等の人気観光地に近いことから観光系の活用に対する意見が多くなっています。



【ワードクラウド分析】

・スコア（単語の重要度）が高い単語を複数選び出しその値の大きさで図示されています。（出現頻度が高く、より特徴的な単語ほど大きく表現される）

・青字：名詞　赤字：動詞　緑字：形容詞

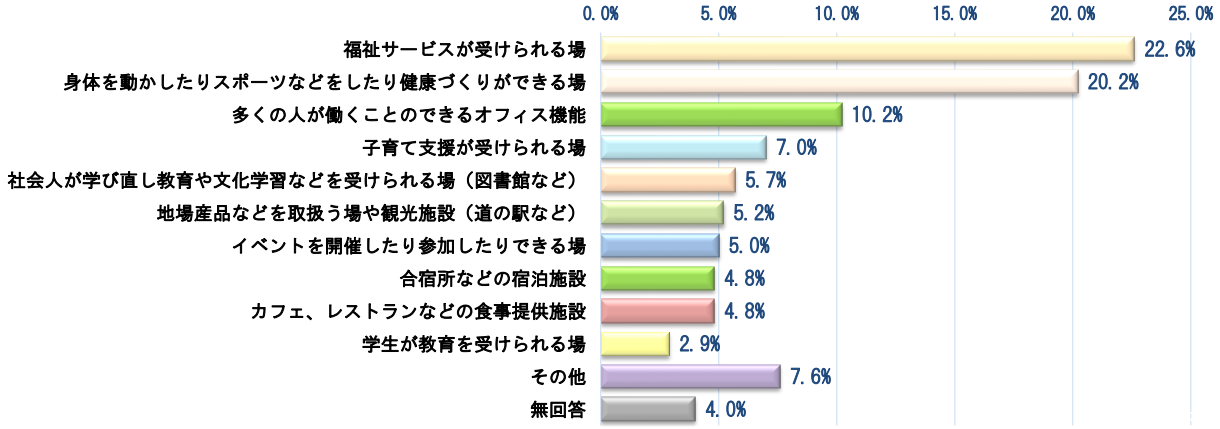
【高根中学校跡地】

3. 高根中学校跡地活用について

(1)活用の方法について

【問８】高根中学校について、どのような活用が望ましいと思いますか。
（あてはまるもの１つに○）

活用の方法	回答数	比率
福祉サービスが受けられる場	260	22.6%
身体を動かしたりスポーツなどをしたり健康づくりができる場	233	20.2%
多くの人が働くことのできるオフィス機能	118	10.2%
子育て支援が受けられる場	81	7.0%
社会人が学び直し教育や文化学習などを受けられる場（図書館など）	66	5.7%
地場産品などを取扱う場や観光施設（道の駅など）	60	5.2%
イベントを開催したり参加したりできる場	57	5.0%
合宿所などの宿泊施設	55	4.8%
カフェ、レストランなどの食事提供施設	55	4.8%
学生が教育を受けられる場	34	2.9%
その他	88	7.6%
無回答	46	4.0%
合　計	1,153	100.0%



【問８】高根中学校の活用方法（SA）

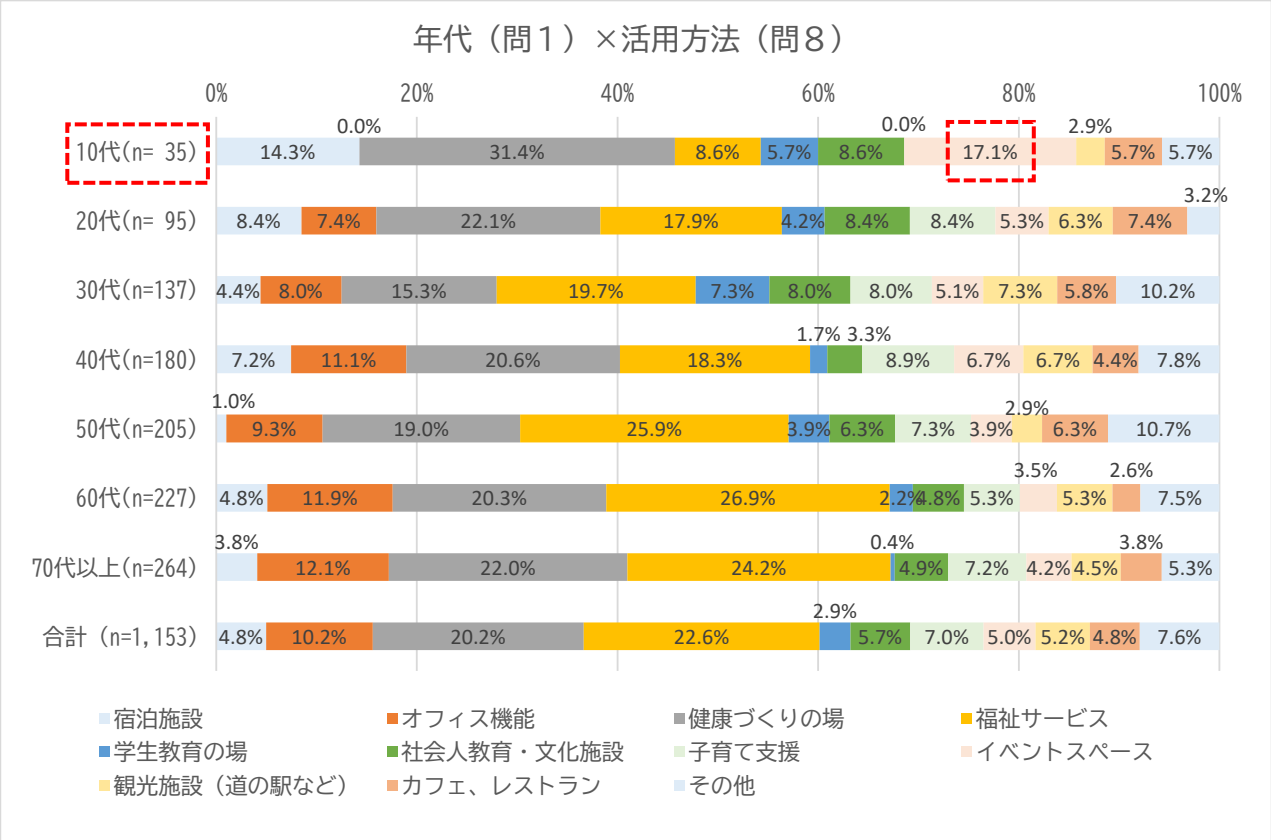
○その他の主な意見
農地にもどす/多目的に使えるようにする/福祉サービス＋子育て/全世代が対象の自然や歴史を学べる施設/「調整区域」と「土砂災害警戒区域」の為活用しなくて良い/売却する/住宅用地　など

〈回答の傾向〉
最も多いのは「福祉サービスが受けられる場」であり、次いで「身体を動かしたりスポーツなどをしたり健康づくりができる場」、「多くの人が働くことのできるオフィス機能」の順となっています。

【年代別の回答傾向】

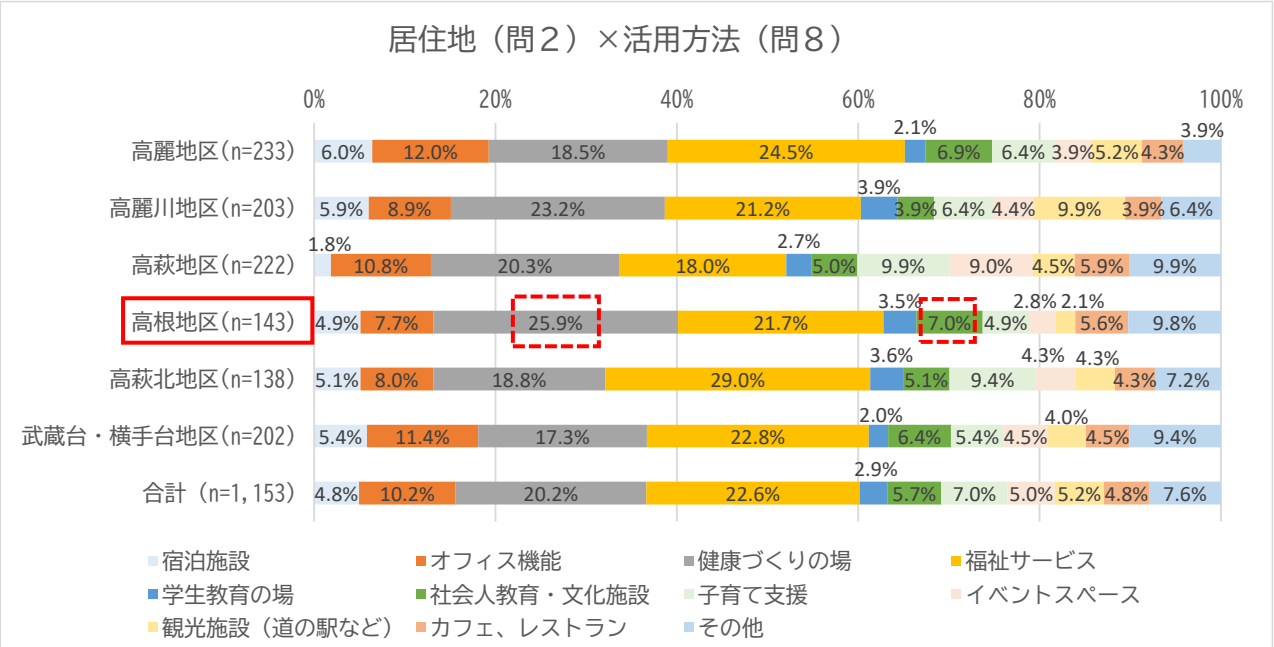
※選択肢を略称で表記しています

・各年代とも、「健康づくりの場」と「福祉サービス」の割合が大きくなっています。また 10 代では、他の年代に比べて「イベントスペース」の割合が大きくなっています。



【居住地別の回答傾向】

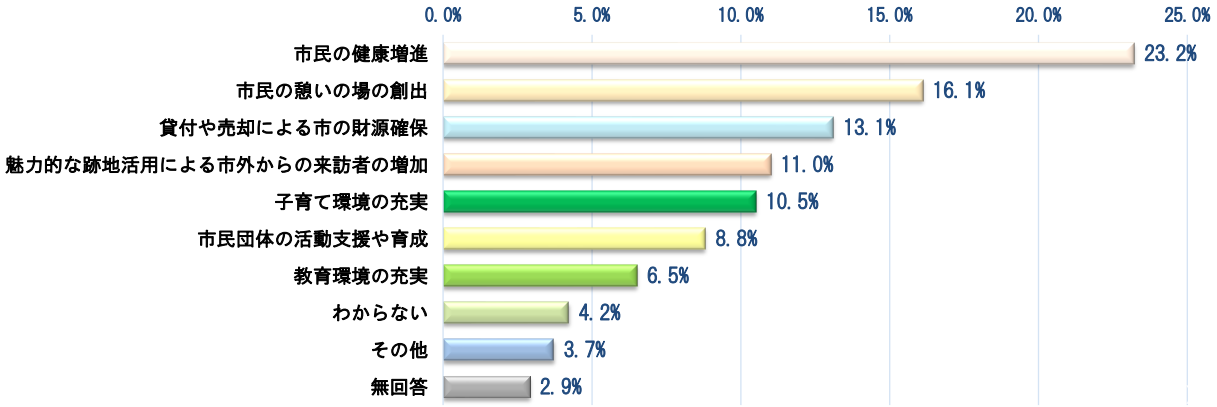
・高根中学校が立地する高根地区の傾向をみると、「健康づくりの場」の割合が最も大きくなっています。
・また、「社会人教育・文化施設」が他地区と比較してやや大きくなっています。



(2)期待される効果について

【問９】高根中学校の活用により、どのような効果を期待しますか。
（あてはまるもの１つに〇）

効果の期待	回答数	比率
市民の健康増進	267	23.2%
市民の憩いの場の創出	185	16.1%
貸付や売却による市の財源確保	151	13.1%
魅力的な跡地活用による市外からの来訪者の増加	127	11.0%
子育て環境の充実	121	10.5%
市民団体の活動支援や育成	102	8.8%
教育環境の充実	75	6.5%
わからない	49	4.2%
その他	43	3.7%
無回答	33	2.9%
合　計	1,153	100.0%



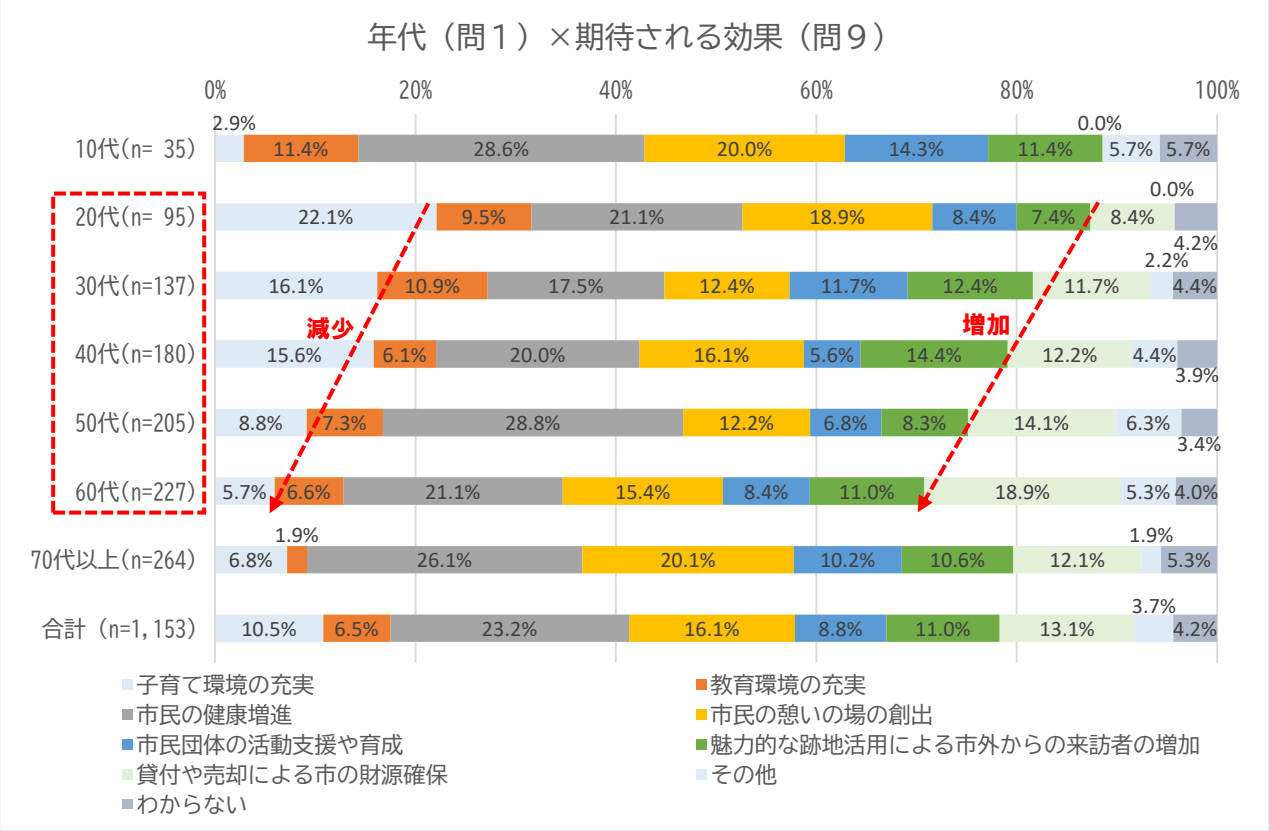
【問９】活用による期待される効果（SA）

〇その他の主な意見
交流の促進/障がい者や高齢者のサービス充実/老人介護施設/サテライトオフィスによる人口増加/駅から歩ける距離なので企業の誘致　など

〈回答の傾向〉
最も多いのは「市民の健康増進」であり、次いで「市民の憩いの場の創出」、「貸付や売却による市の財源確保」の順となっています。

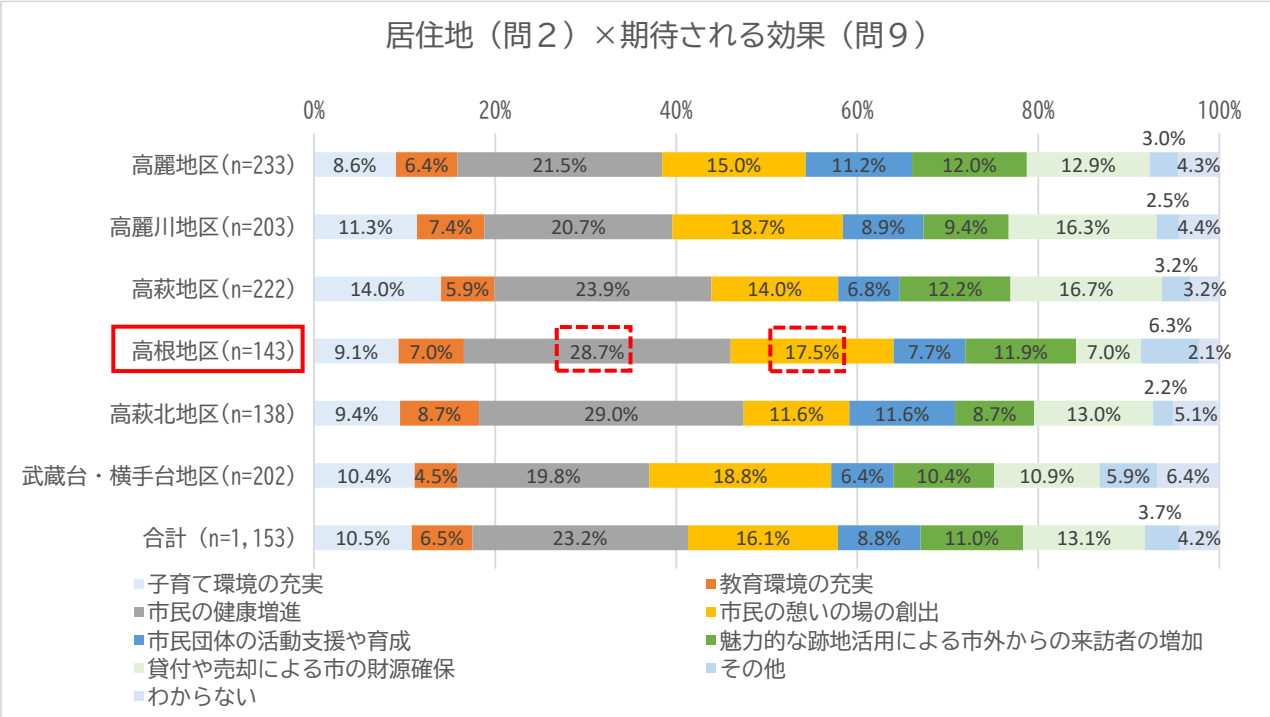
【年代別の回答傾向】

・「子育て環境の充実」の割合は、20 代から年代が上がるほど減少傾向にあり、その一方で「貸付や売却による市の財源確保」の割合は年代が上がるほど割合が増加しています。



【居住地別の回答傾向】

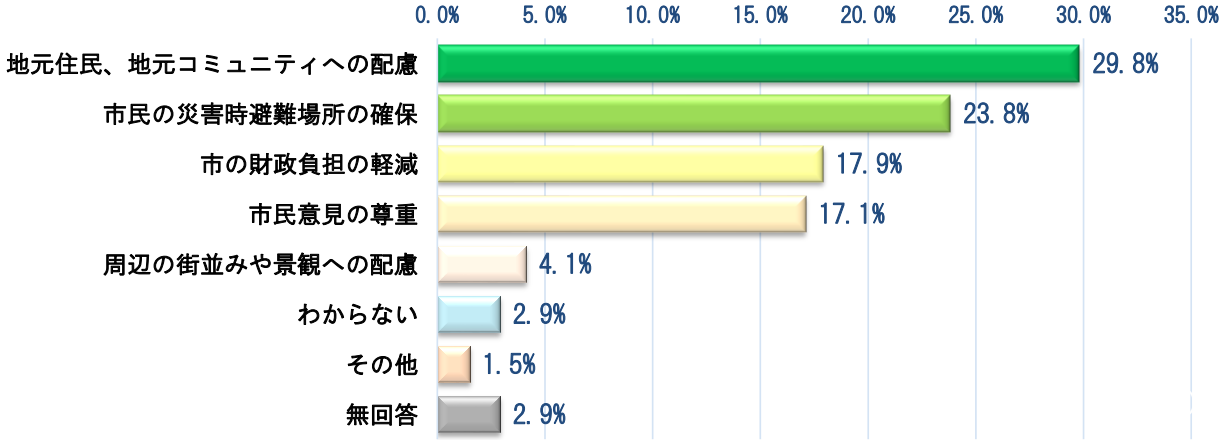
・高根地区の傾向をみると、「市民の健康増進」の割合が最も大きく、市全体の数値を上回っています。また、「市民の憩いの場の創出」も市全体の数値を上回っています。



(3)活用の際の留意点について

【問 10】高根中学校の活用の際、どのようなことに留意した方がよいと思いますか。
（あてはまるもの１つに〇）

活用の際の留意点	回答数	比率
地元住民、地元コミュニティへの配慮	344	29.8%
市民の災害時避難場所の確保	274	23.8%
市の財政負担の軽減	206	17.9%
市民意見の尊重	197	17.1%
周辺の街並みや景観への配慮	47	4.1%
わからない	34	2.9%
その他	17	1.5%
無回答	34	2.9%
合　計	1,153	100.0%



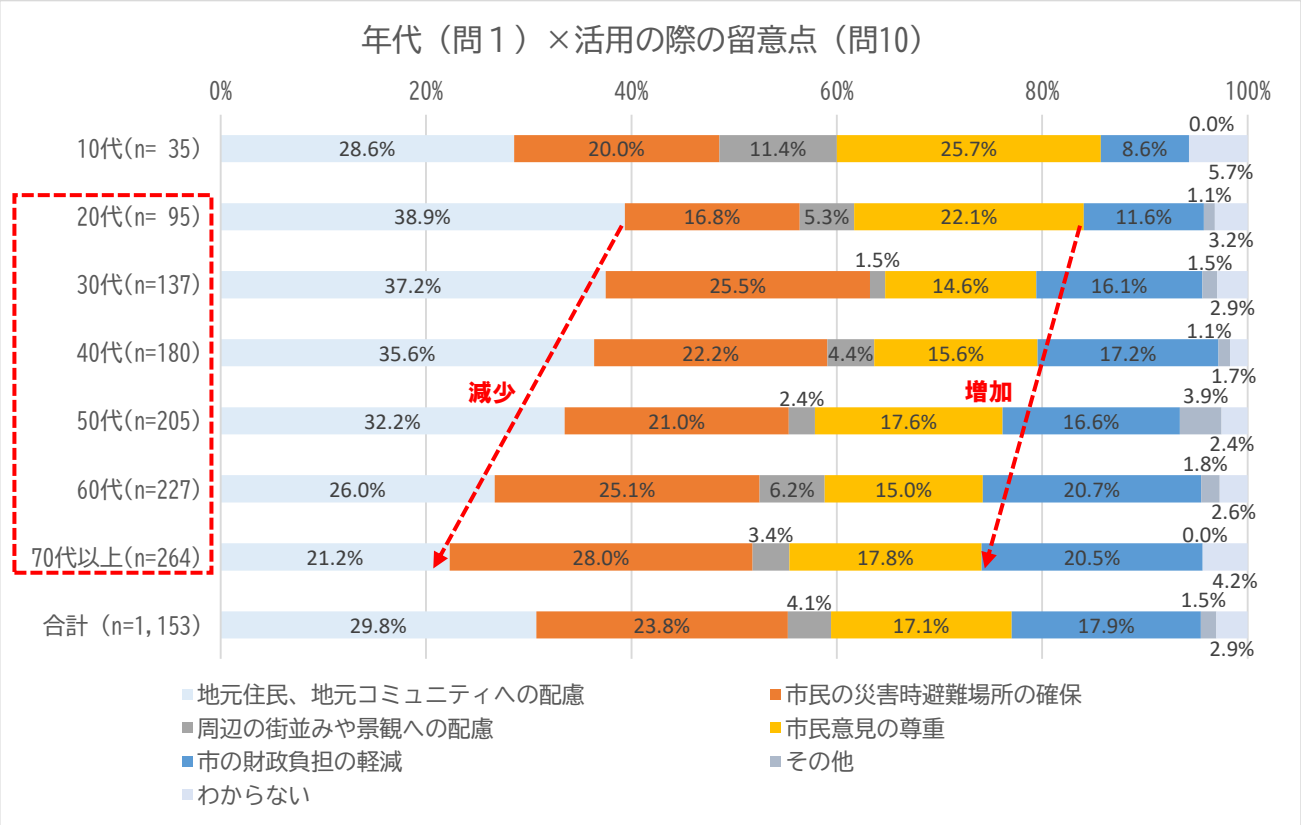
【問 10】活用の際の留意点（SA）

〇その他の主な意見
市と民間事業者の連携/公共交通の確保/地元の方との徹底した話し合い/大きな道路を作らないで景観を保つ/子どもの利益になる未来を想定した活用　など

〈回答の傾向〉
最も多いのは「地元住民、地元コミュニティへの配慮」であり、次いで「市民の災害時避難場所の確保」、「市の財政負担の軽減」の順となっています。

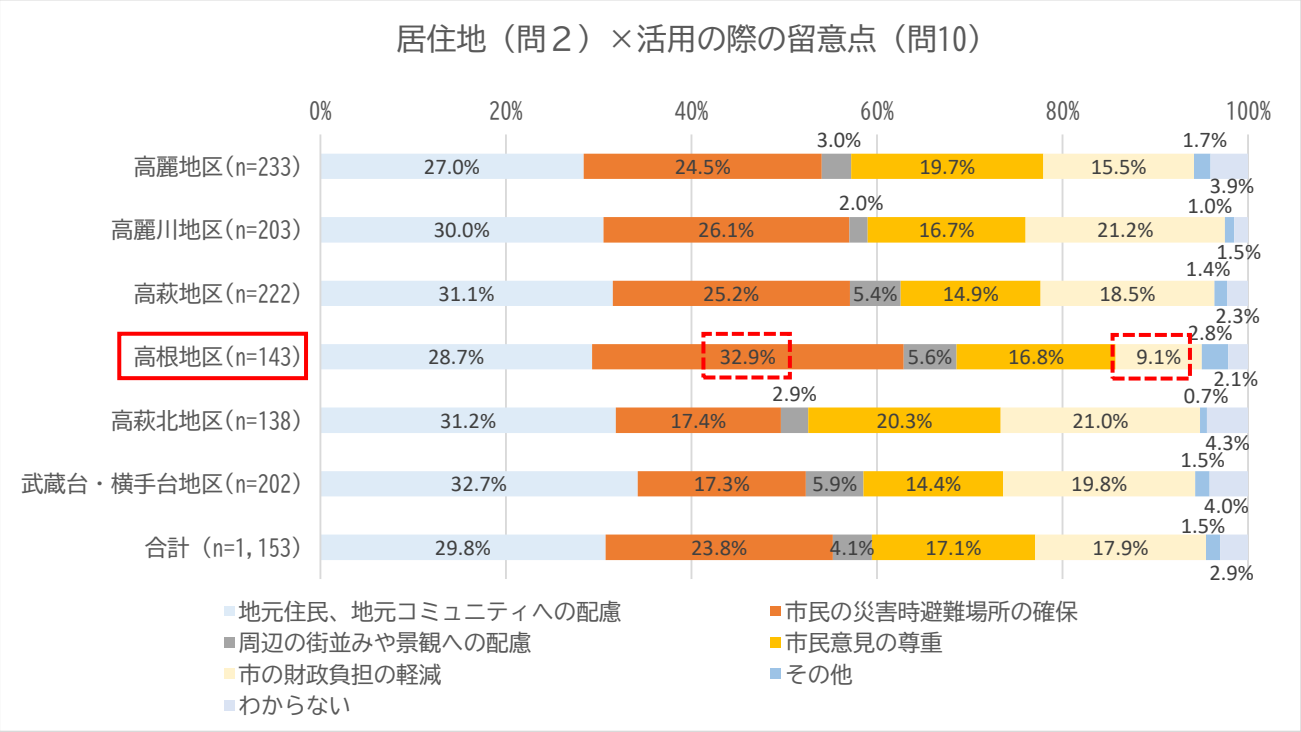
【年代別の回答傾向】

・20 代から年代が上がるほど「地元住民、地元コミュニティへの配慮」の割合が減少しています。一方で、「市の財政負担の軽減」の割合は年代が上がるほど増加しています。



【居住地別の回答傾向】

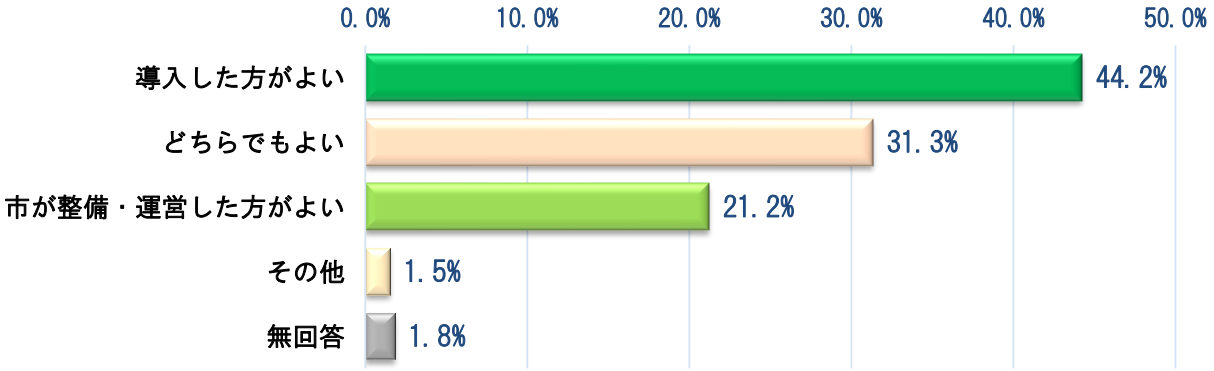
・高根地区の傾向をみると、「市民の災害時避難場所の確保」の割合が最も大きく、市全体の数値を上回っています。一方、「市の財政負担の軽減」の割合は市全体の数値を大きく下回っています。



(4)民間事業者の導入について

【問 11】跡地活用の民間事業者の導入について、どのようにお考えですか。
（あてはまるもの１つに○）

民間事業者の導入について	回答数	比率
導入した方がよい	509	44.2%
どちらでもよい	361	31.3%
市が整備･運営した方がよい	245	21.2%
その他	17	1.5%
無回答	21	1.8%
合　計	1,153	100.0%



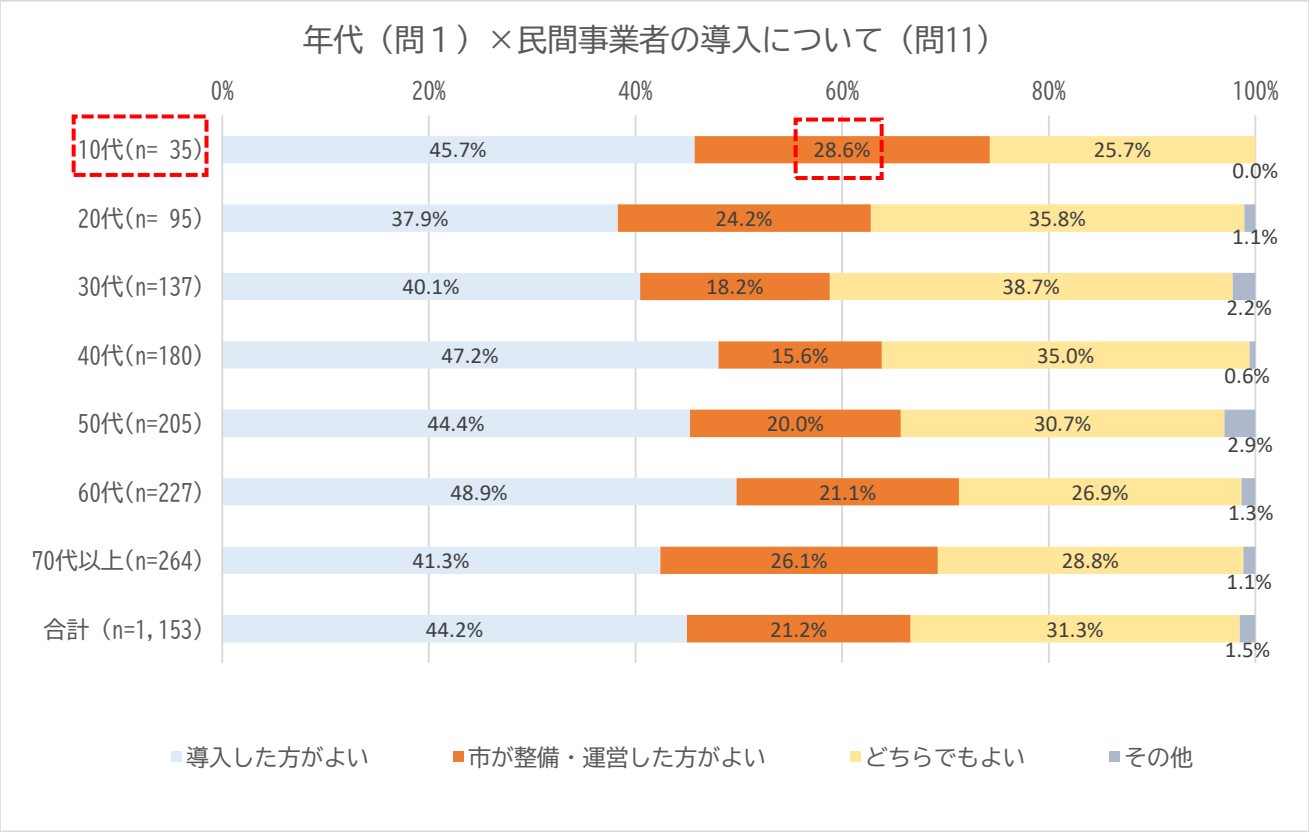
【問 11】民間事業者の導入について（SA）

○その他の主な意見
市民のために厳選した事業者/民間事業と市が提携/住民の意見をきいて民間に入ってもらう/第３セクター/きちんとした管理ができる事業者であれば導入してもよい　など

〈回答の傾向〉
最も多いのは「導入した方がよい」であり、次いで「どちらでもよい」、「市が整備・運営した方がよい」の順となっています。

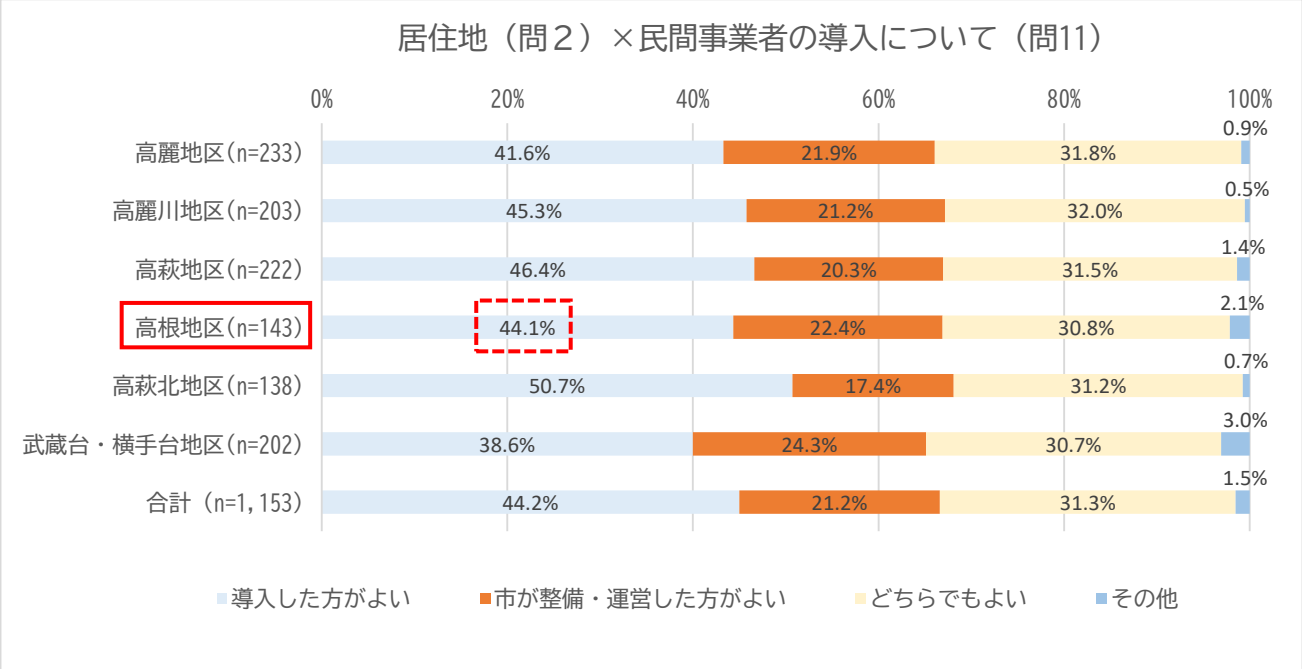
【年代別の回答傾向】

・すべての年代において「導入した方がよい」の割合が最も大きくなっています。また、「市が整備・運営した方がよい」の割合は 10 代が他の年代に比べて大きくなっています。



【居住地別の回答傾向】

・高根地区の傾向をみると、「導入した方がよい」の割合が大きくなっており、市全体とほぼ同様の傾向となっています。

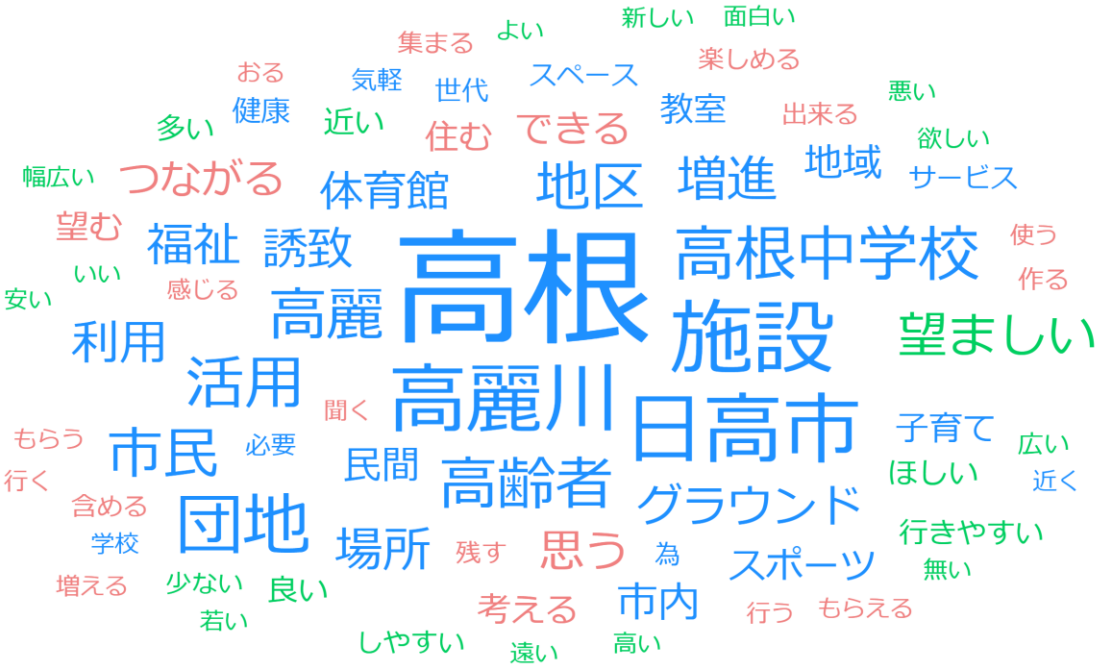


(5)高根中学校活用に対する意見等について

【問 12】高根中学校跡地活用について、ご意見等がございましたら、ご記入ください。

〈回答の傾向〉

高根中学校の跡地活用について、266 件（23%）の意見が寄せられました。回答傾向について出現した単語の分析（ワードクラウド分析）結果は以下のようになります。近隣に立地する高麗川団地や「グラウンド」「体育館」等の学校施設の活用に関する意見が多くなっています。



【ワードクラウド分析】

・スコア（単語の重要度）が高い単語を複数選び出しその値の大きさで図示されています。（出現頻度が高く、より特徴的な単語ほど大きく表現される）

・青字：名詞　赤字：動詞　緑字：形容詞

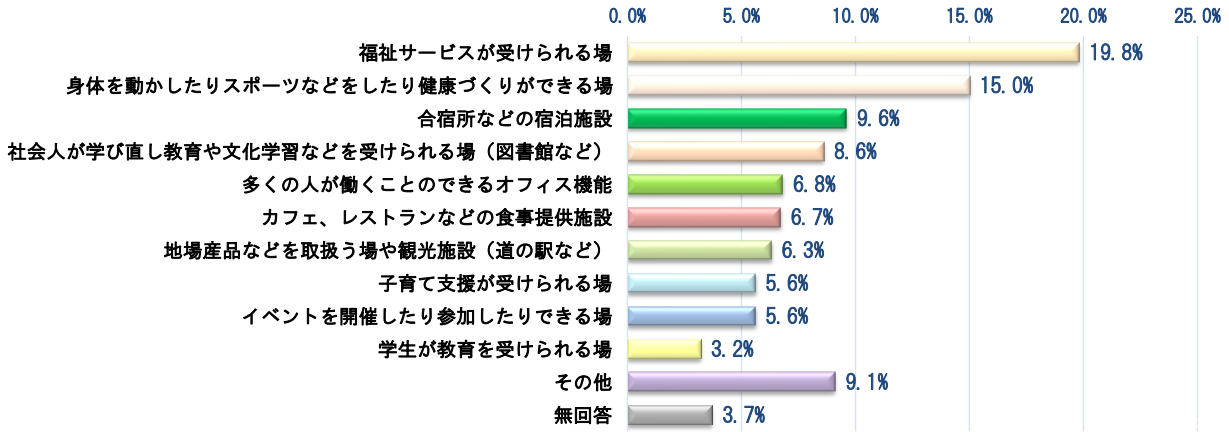
【武蔵台中学校跡地】

4. 武蔵台中学校跡地活用について

(1)活用の方法について

【問 13】武蔵台中学校について、どのような活用が望ましいと思いますか。
（あてはまるもの１つに○）

活用の方法	回答数	比率
福祉サービスが受けられる場	228	19.8%
身体を動かしたりスポーツなどをしたり健康づくりができる場	173	15.0%
合宿所などの宿泊施設	110	9.6%
社会人が学び直し教育や文化学習などを受けられる場（図書館など）	99	8.6%
多くの人が働くことのできるオフィス機能	78	6.8%
カフェ、レストランなどの食事提供施設	77	6.7%
地場産品などを取扱う場や観光施設（道の駅など）	73	6.3%
子育て支援が受けられる場	65	5.6%
イベントを開催したり参加したりできる場	65	5.6%
学生が教育を受けられる場	37	3.2%
その他	105	9.1%
無回答	43	3.7%
合　計	1,153	100.0%



【問 13】武蔵台中学校の活用方法（SA）

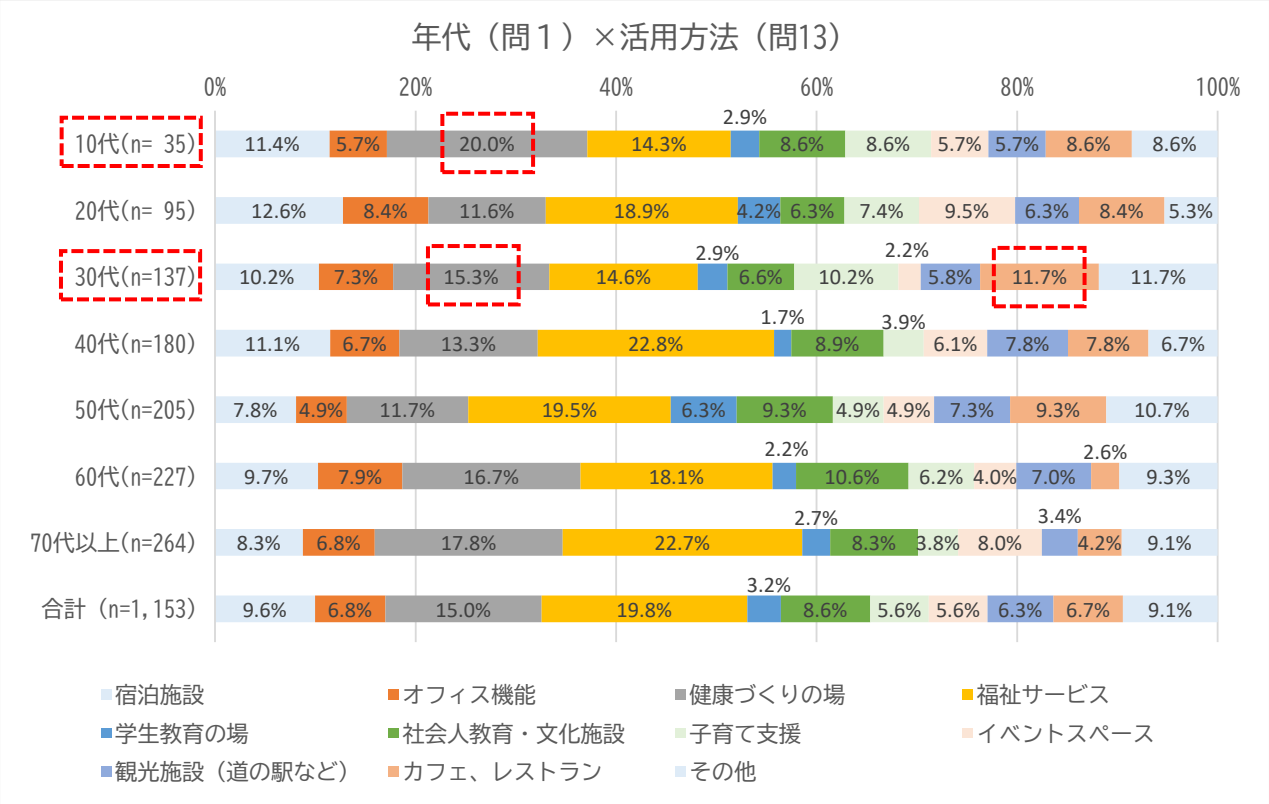
○その他の主な意見
災害リスク有のため、活用しない/災害を防ぐ措置をして自然にもどす/防災施設/電力施設（ソーラーパネル）/多目的に使えるようにする/老人ホーム/売却した方が良い/住宅用地/など

〈回答の傾向〉
最も多いのは「福祉サービスが受けられる場」であり、次いで「身体を動かしたりスポーツなどをしたり健康づくりができる場」、「合宿所などの宿泊施設」の順となっています。

【年代別の回答傾向】

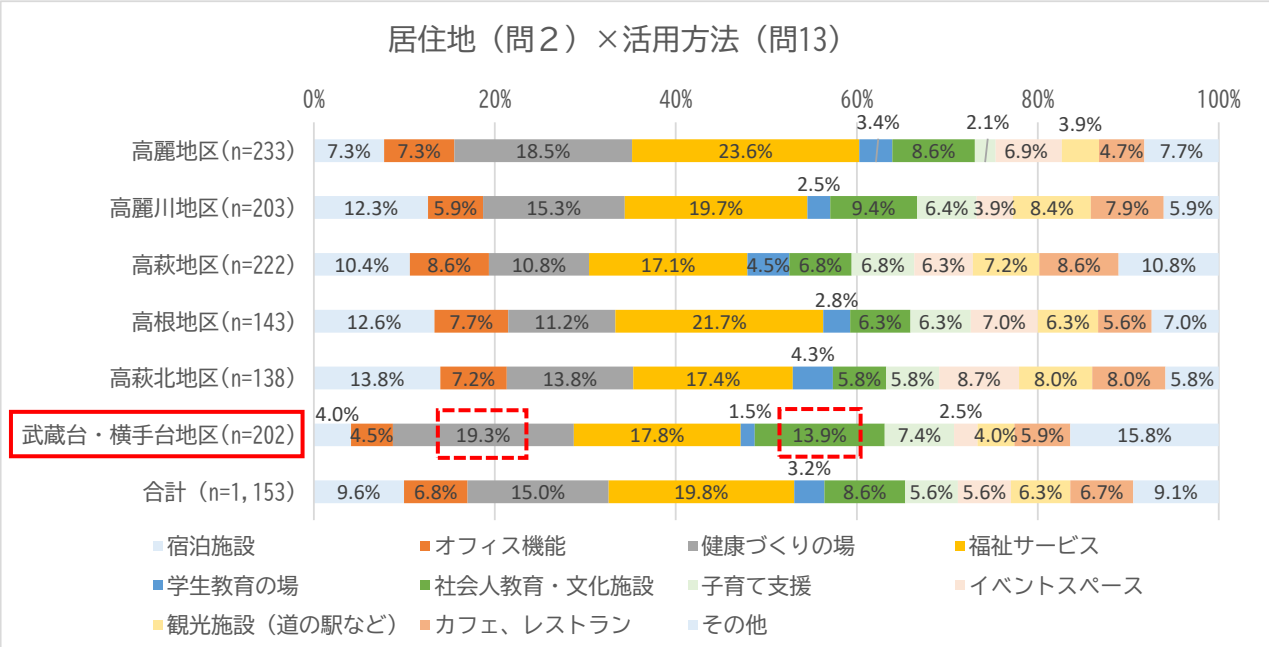
※選択肢を略称で表記しています

・10 代と 30 代では「健康づくりの場」の割合が最も大きく、それ以外の年代では「福祉サービス」の割合が最も大きくなっています。また、30 代では「カフェ・レストラン」の割合が大きくなっています。



【居住地別の回答傾向】

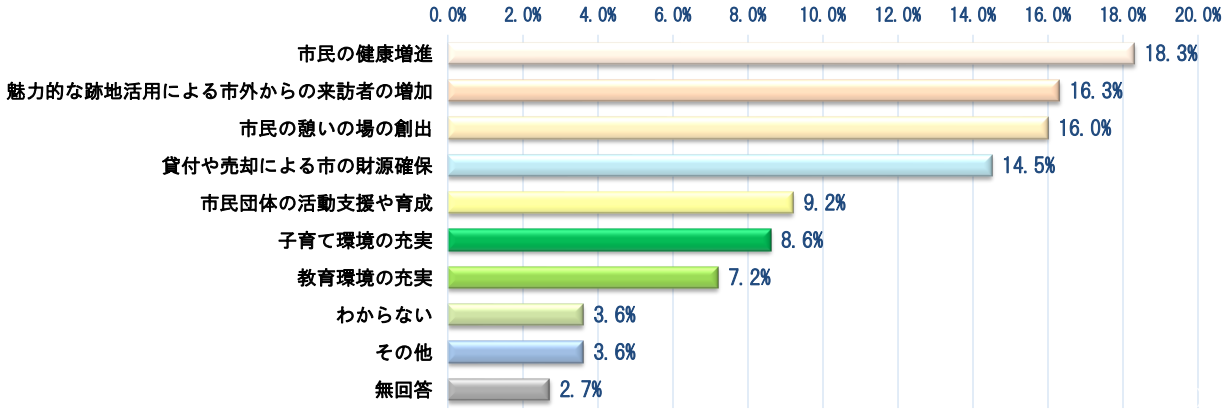
・武蔵台中学校が立地する武蔵台・横手台地区の傾向をみると、「健康づくりの場」の割合が最も大きくなっています。また、他地区と比べ「社会人教育・文化施設」の割合が大きくなっています。



(2)期待される効果について

【問 14】武蔵台中学校の活用により、どのような効果を期待しますか。
（あてはまるもの１つに○）

効果の期待	回答数	比率
市民の健康増進	211	18.3%
魅力的な跡地活用による市外からの来訪者の増加	188	16.3%
市民の憩いの場の創出	185	16.0%
貸付や売却による市の財源確保	167	14.5%
市民団体の活動支援や育成	106	9.2%
子育て環境の充実	99	8.6%
教育環境の充実	83	7.2%
わからない	42	3.6%
その他	41	3.6%
無回答	31	2.7%
合　計	1,153	100.0%



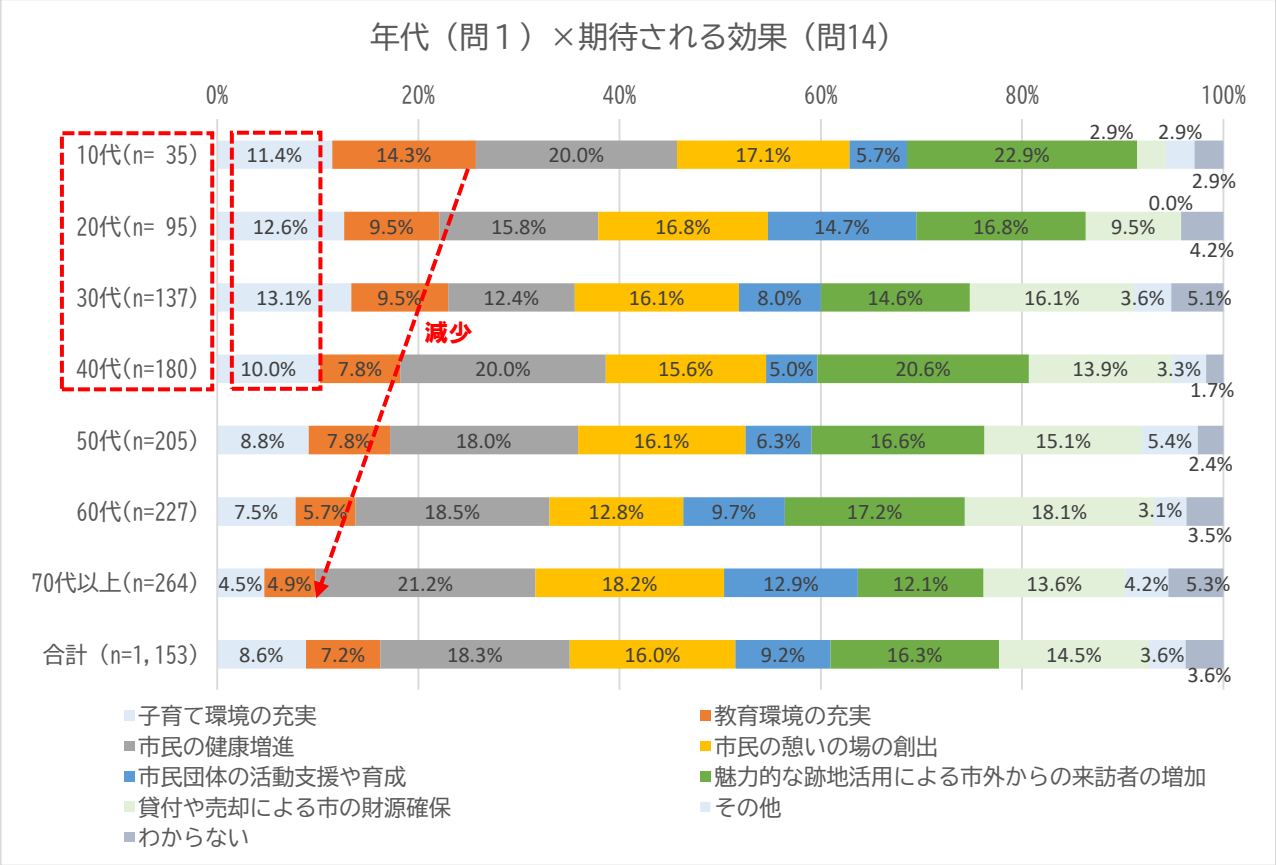
【問 14】活用による期待される効果（SA）

○その他の主な意見
高齢者や障がい者の福祉を支える/子育て世代が住んで良いと思える場の構築/植林をして土砂災害を小さく食い止める/緑豊かな日高市の憩いの森として地域住民やハイカーに開放など

〈回答の傾向〉
最も多いのは「市民の健康増進」であり、次いで「魅力的な跡地活用による市外からの来訪者の増加」、「市民の憩いの場の創出」の順となっています。

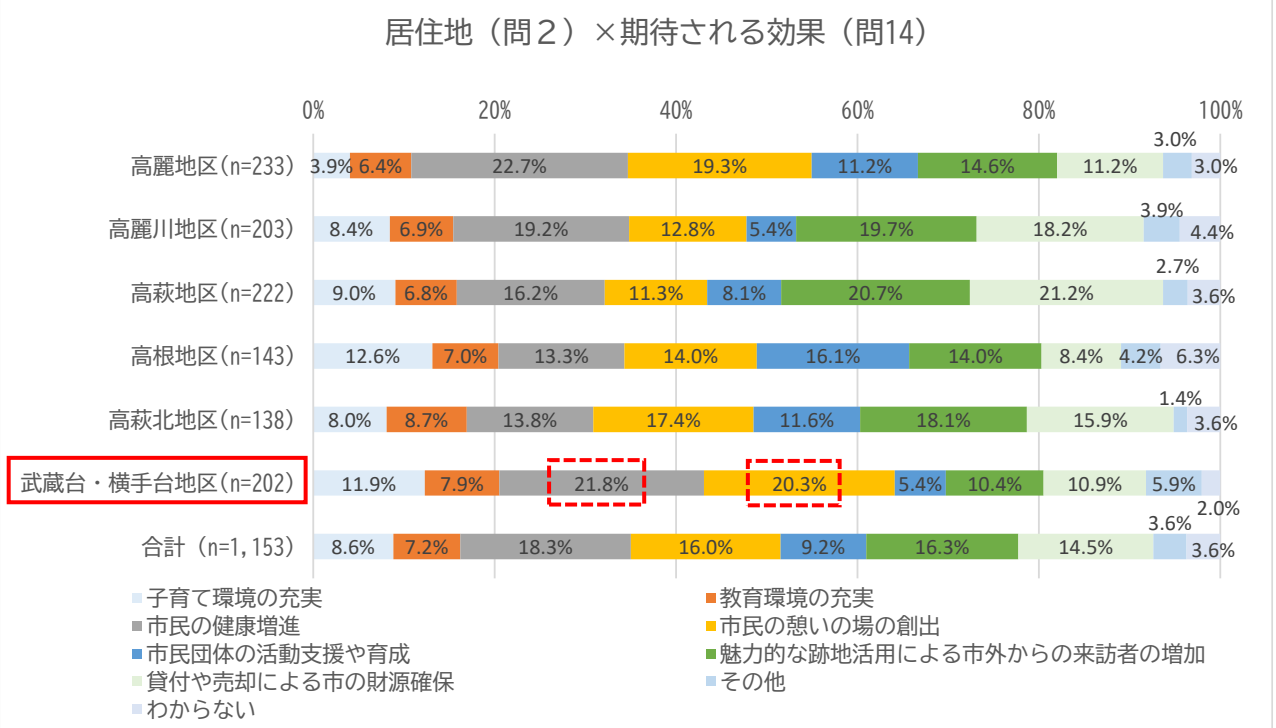
【年代別の回答傾向】

・10 代から 40 代までの世代では、「子育て環境の充実」が 10%以上であり、市全体の数値を上回っています。また、「教育環境の充実」は年代が上がるにつれて割合が減少しています。



【居住地別の回答傾向】

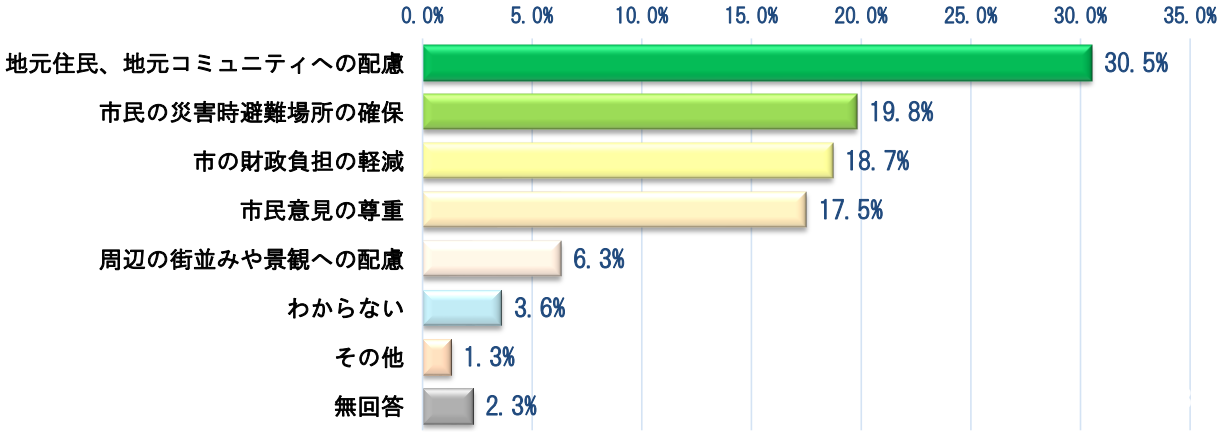
・武蔵台・横手台地区の傾向をみると、「市民の健康増進」の割合が最も大きくなっています。また、「市民の憩いの場の創出」の割合が全地区の中で最も大きくなっています。



(3)活用の際の留意点について

【問 15】武蔵台中学校の活用の際、どのようなことに留意した方がよいと思いますか。
（あてはまるもの１つに○）

活用の際の留意点	回答数	比率
地元住民、地元コミュニティへの配慮	351	30.5%
市民の災害時避難場所の確保	228	19.8%
市の財政負担の軽減	216	18.7%
市民意見の尊重	202	17.5%
周辺の街並みや景観への配慮	73	6.3%
わからない	42	3.6%
その他	15	1.3%
無回答	26	2.3%
合　計	1,153	100.0%



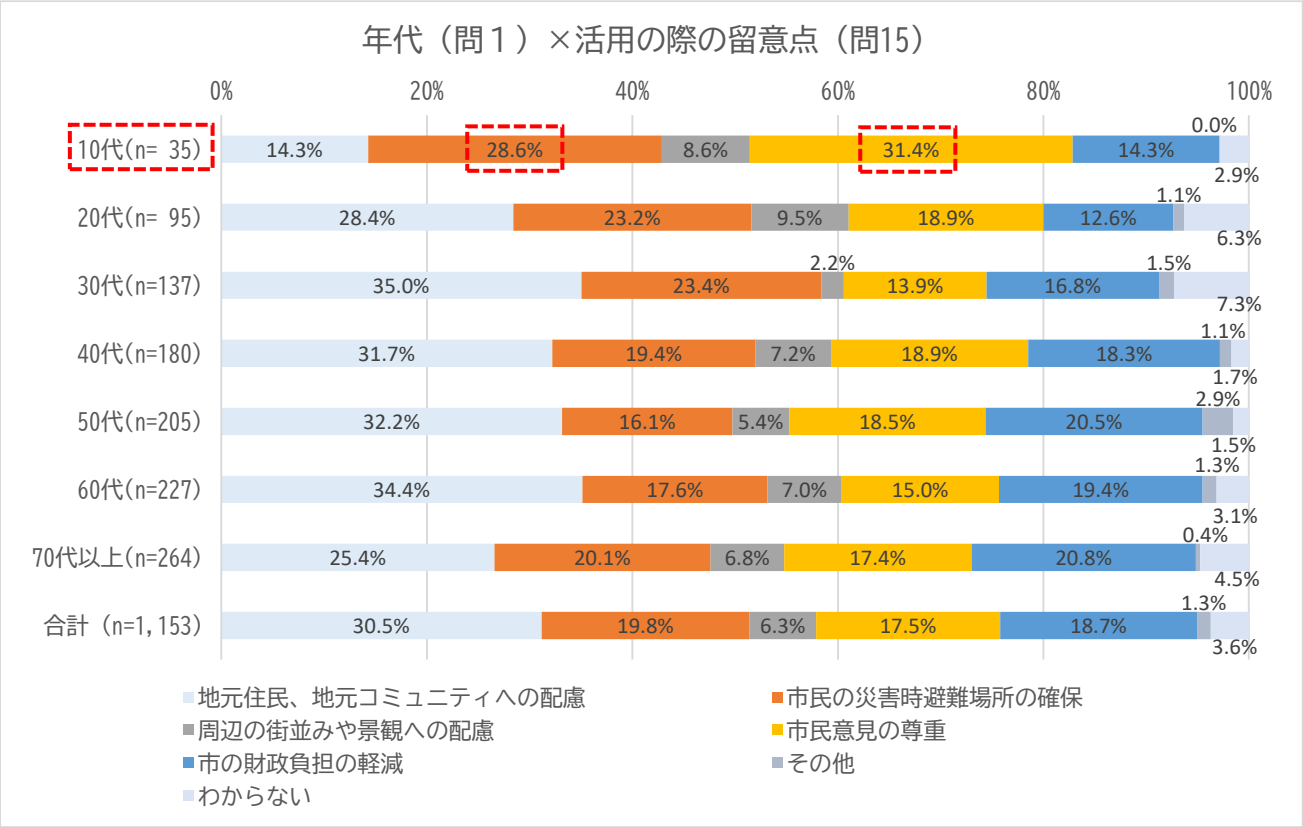
【問 15】活用の際の留意点（SA）

○その他の主な意見
すぐ裏が良い山なので自然保護/活用しない方が良い/住民の意見を聞く/移り住んできて良かったと思える場づくり/土砂災害警戒区域内に施設は建てられない　など

〈回答の傾向〉
最も多いのは「地元住民、地元コミュニティへの配慮」であり、次いで「市民の災害時避難場所の確保」、「市の財政負担の軽減」の順となっています。

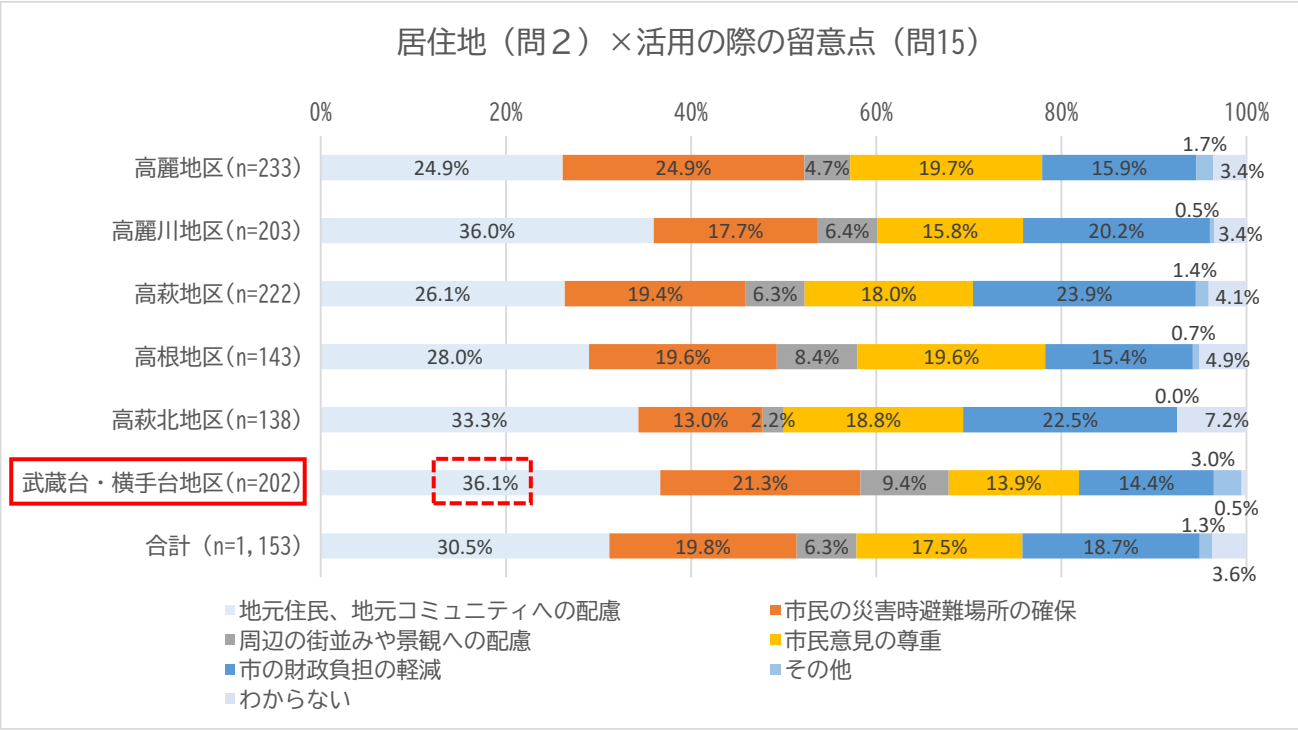
【年代別の回答傾向】

・10 代以外の年代で「地元住民、地元コミュニティへの配慮」の割合が大きくなっています。また、10 代では「市民意見の尊重」と「市民の災害時避難場所の確保」の割合が他の年代に比べて大きくなっています。



【居住地別の回答傾向】

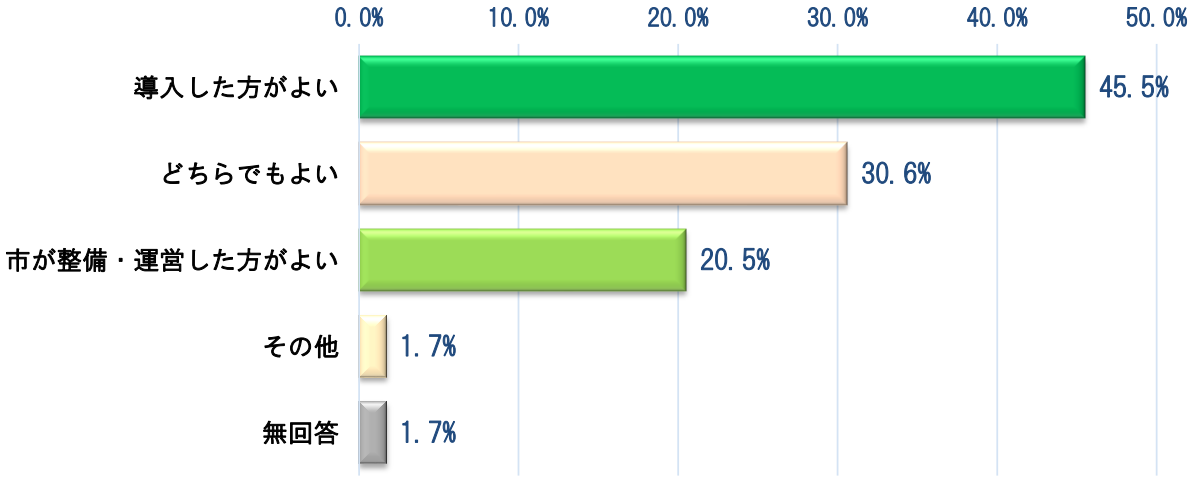
・武蔵台・横手台地区の傾向をみると、「地元住民、地元コミュニティへの配慮」の割合が最も大きくなっています。



(4)民間事業者の導入について

【問 16】跡地活用の民間事業者の導入について、どのようにお考えですか。
（あてはまるもの１つに○）

民間事業者の導入について	回答数	比率
導入した方がよい	524	45.5%
どちらでもよい	353	30.6%
市が整備・運営した方がよい	236	20.5%
その他	20	1.7%
無回答	20	1.7%
合　計	1,153	100.0%



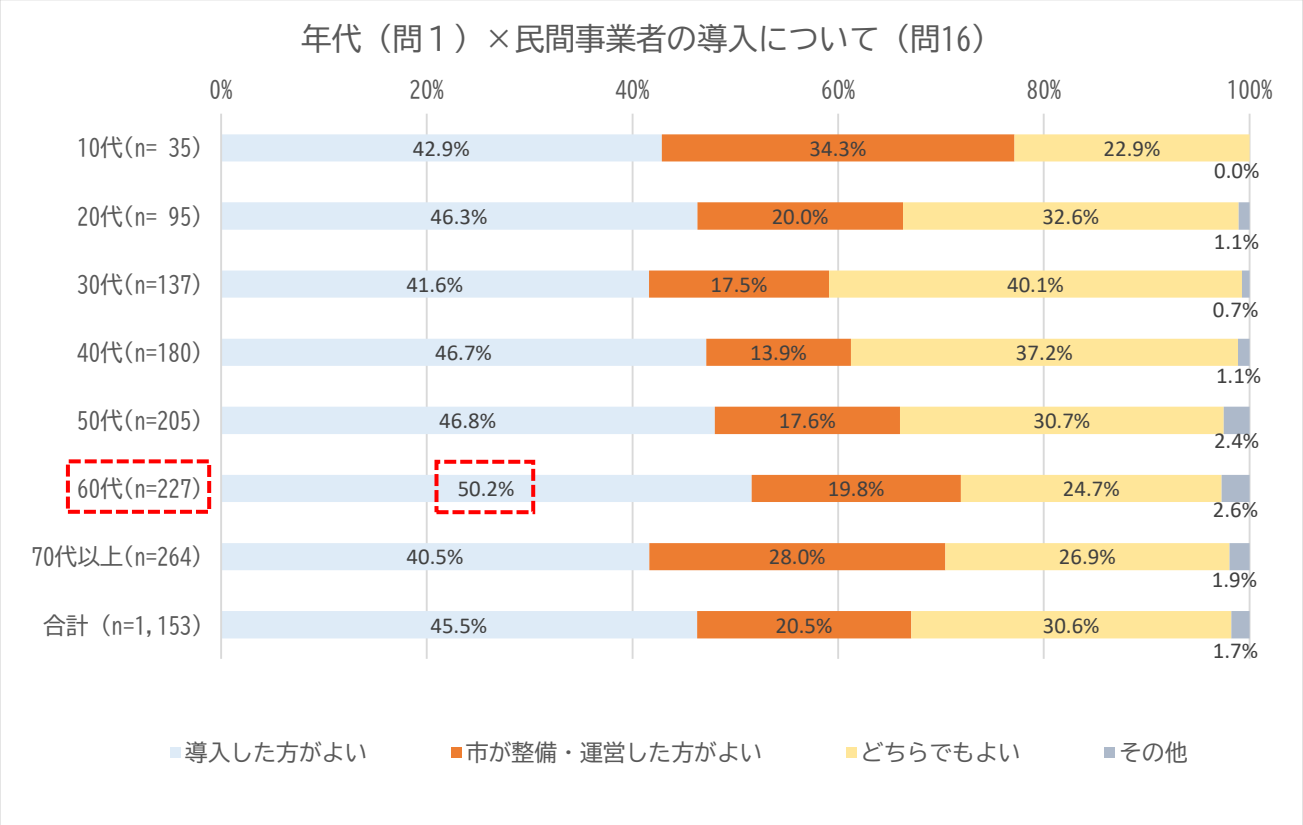
【問 16】民間事業者の導入について（SA）

○その他の主な意見
地元住宅のために信頼できる事業者を厳選/住民の意見をきいての導入/ＪＡとの協働/第３セクター/適切な税金活用/市が主体性を持って全面的に取り壊したうえ、跡地を公園として整備　など

〈回答の傾向〉
最も多いのは「導入した方がよい」であり、次いで「どちらでもよい」、「市が整備・運営した方がよい」の順となっています。

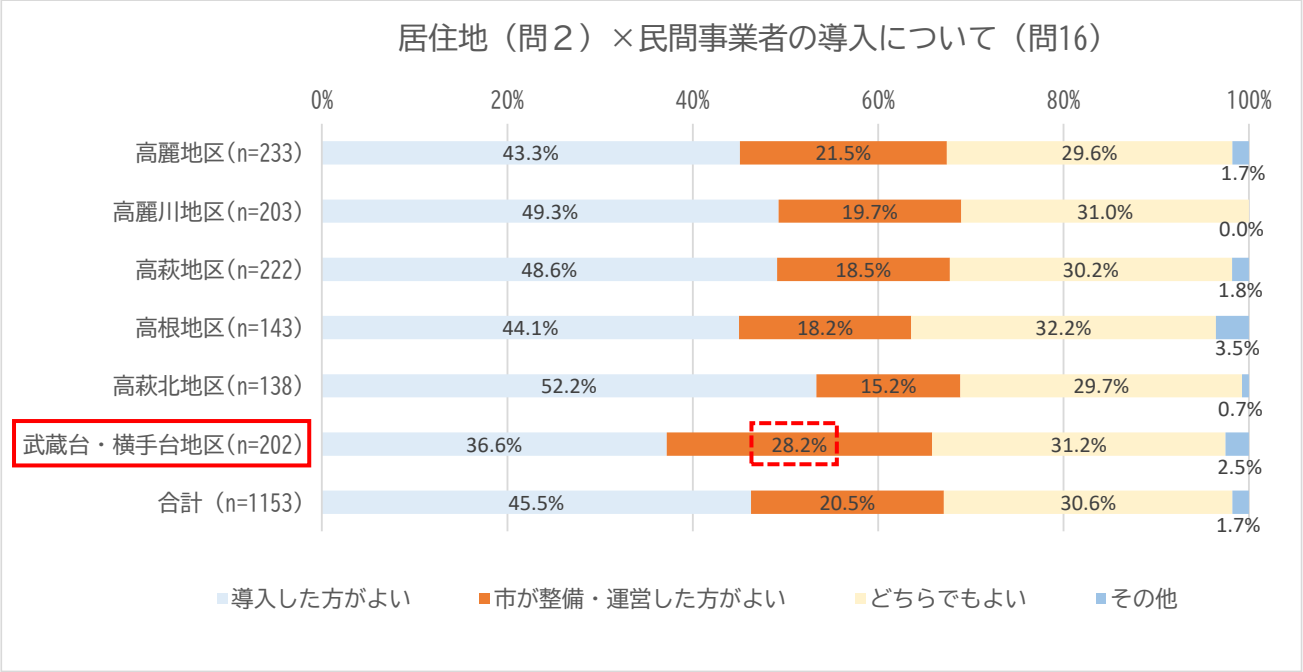
【年代別の回答傾向】

・すべての年代において「導入した方がよい」の割合が最も大きく、特に 60 代ではその傾向が大きくなっています。



【居住地別の回答傾向】

・武蔵台・横手台地区の傾向をみると、「導入した方がよい」の割合が最も大きくなっていますが、「市が整備・運営した方がよい」の割合は、市全体の数値を上回っています。

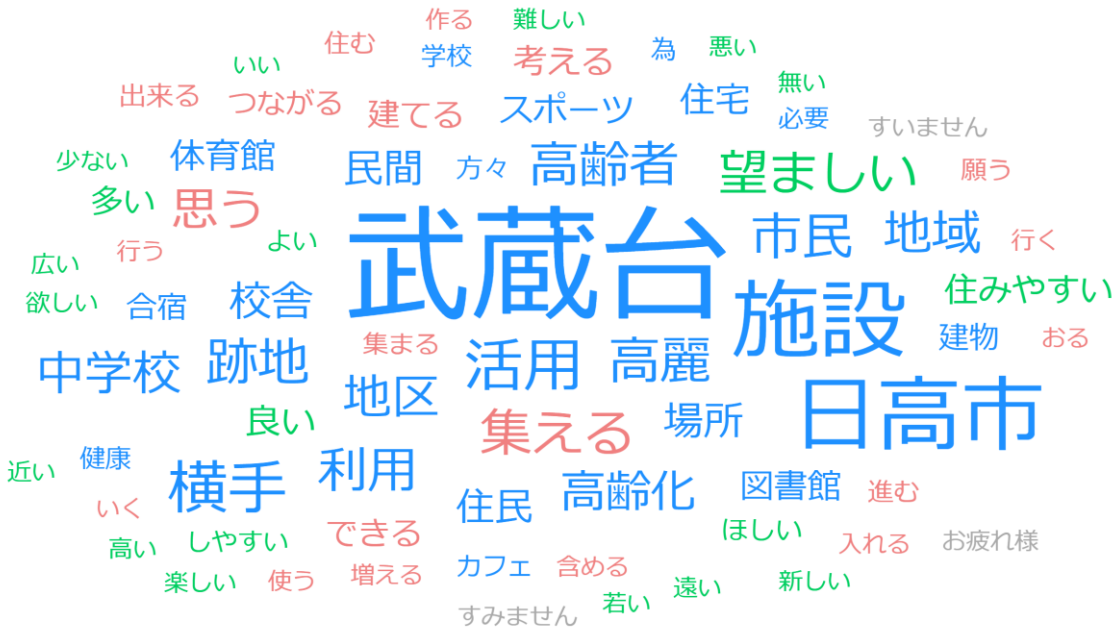


(5)武蔵台中学校活用に対する意見等について

【問 17】武蔵台中学校跡地活用について、ご意見等がございましたら、ご記入ください。

〈回答の傾向〉

武蔵台中学校の跡地活用について、325 件（28.2%）の意見が寄せられました。回答傾向について出現した単語の分析（ワードクラウド分析）結果は以下のようになります。「高齢者」や「高齢化」、「集える」等が特徴的な単語といえます。



【ワードクラウド分析】

・スコア（単語の重要度）が高い単語を複数選び出しその値の大きさで図示されています。（出現頻度が高く、より特徴的な単語ほど大きく表現される）

・青字：名詞　赤字：動詞　緑字：形容詞

第3章 調査結果のまとめ

1. 設問ごとの傾向のまとめ

(1)活用方法について

1)学校跡地ごとの回答傾向

〇高麗小学校は、周辺に観光資源があることからそれらとの連携を考慮した活用が求められているといえます。（その他ではキャンプ場などもみられた）。

〇高麗小は域外からの利用、高根中及び武蔵台中は地元住民の利用を想定した回答が多くなっているといえます。

〇いずれの跡地でも「福祉サービス」、「健康づくりの場」が上位となっていいます。

表　学校ごとの上位

高麗小学校跡地（問３）	高根中学校跡地（問８）	武蔵台中学校跡地（問 13）
①道の駅など観光関連（30.7%）	①福祉サービス（22.6%）	①福祉サービス（19.8%）
②健康づくりの場（13.0%）	②健康づくりの場（20.2%）	②健康づくりの場（15.0%）
③福祉サービス（11.1%）	③オフィス機能（10.2%）	③合宿等の宿泊施設（9.6%）
④合宿等の宿泊施設（8.3%）	④子育て支援（7.0%）	④教育・文化施設（8.6%）
⑤カフェ・レストラン（6.3%）	⑤教育・文化施設（5.7%）	⑤オフィス機能（6.8%）

2)属性(年代･居住地)とのクロス集計から読み取れる傾向

①高麗小学校

・すべての年代において「観光施設（道の駅など）」の割合が最も大きくなっています。

・10 代では「健康づくりの場」、70 代以上では「福祉サービス」の割合が他の年代よりも大きくなっています。

・高麗小学校が立地する高麗地区の傾向をみると、「観光施設（道の駅など）」の割合が最も大きいものの他地区に比べて割合が低く、「福祉サービス」の割合が他地区と比較してやや大きくなっています。

②高根中学校

・各年代とも、「健康づくりの場」と「福祉サービス」の割合が大きくなっています。また 10 代では、他の年代に比べて「イベントスペース」の割合が大きくなっています。

・高根中学校が立地する高根地区の傾向をみると、「健康づくりの場」の割合が最も大きくなっています。また、「社会人教育・文化施設」の割合が他地区と比較してやや大きくなっています。

③武蔵台中学校

・10 代と 30 代では「健康づくりの場」の割合が最も大きく、それ以外の年代では「福祉サービス」の割合が最も大きくなっています。また、30 代では「カフェ・レストラン」の割合が大きくなっています。･武蔵台中学校が立地する武蔵台･横手台地区の傾向をみると、「健康づくりの場」の割合が最も大きくなっています。また、他地区と比べ「社会人教育・文化施設」の割合が大きくなっています。

(2)期待される効果について

1)学校跡地ごとの回答傾向

〇高麗小学校は、「来訪者の増加」が突出して多くなっています。

〇「健康増進」と「憩いの場」はすべての跡地で上位となっています。

〇高根中のみで「貸付・売却等財源確保」がベスト３に入っています。

表　学校ごとの上位

高麗小学校跡地（問４）	高根中学校跡地（問９）	武蔵台中学校跡地（問 14）
①来訪者の増加（42.9%） ②市民の健康増進（12.7%） ③市民の憩いの場（12.2%）	①市民の健康増進（23.2%） ②市民の憩いの場（16.1%） ③貸付･売却等財源確保(13.1%)	①市民の健康増進（18.3%） ②来訪者の増加（16.3%） ③市民の憩いの場（16.0%）

2)属性(年代･居住地)とのクロス集計から読み取れる傾向

①高麗小学校

・すべての年代において「魅力的な跡地活用による市外からの来訪者の増加」の割合が最も大きくなっています。

・20 代、30 代では「子育て環境の充実」、10 代では「市民の健康増進」、70 代以上では「市民の憩いの場の創出」の割合が他の年代よりも大きくなっています。

・高麗地区の傾向をみると、他地区同様「来訪者の増加」の割合が最も大きくなっていますが、「市民の憩いの場の創出」、「市民の健康増進」の割合が他地区よりも大きくなっています。

②高根中学校

・「子育て環境の充実」の割合は、20 代から年代が上がるほど減少傾向にあり、その一方で「貸付や売却による市の財源確保」の割合は年代が上がるほど割合が増加しています。

・高根地区の傾向をみると、「市民の健康増進」の割合が最も大きく、市全体の数値を上回っています。また、「市民の憩いの場の創出」も市全体の数値を上回っています。

③武蔵台中学校

・10 代から 40 代までの世代では、「子育て環境の充実」が 10%以上であり、市全体の数値を上回っています。また、「教育環境の充実」は年代が上がるにつれて割合が減少しています。

・武蔵台・横手台地区の傾向をみると、「市民の健康増進」の割合が最も大きくなっています。また、「市民の憩いの場の創出」の割合が全地区の中で最も大きくなっています。

(3)活用の際の留意点について

1)学校跡地ごとの回答傾向

〇各跡地ともに同じ傾向となっています。

表　学校ごとの上位

高麗小学校跡地（問５）	高根中学校跡地（問 10）	武蔵台中学校跡地（問 15）
①地元への配慮（28.1%） ②避難場所確保（21.7%） ③市の財政負担軽減（16.3%）	①地元への配慮（29.8%） ②避難場所確保（23.8%） ③市の財政負担軽減（17.9%）	①地元への配慮（30.5%） ②避難場所確保（19.8%） ③市の財政負担軽減（18.7%）

2)属性(年代･居住地)とのクロス集計から読み取れる傾向

①高麗小学校

・すべての年代において「地元住民、地元コミュニティへの配慮」の割合が大きくなっています。

・10 代では「市民の意見の尊重」の割合が各年代の中で最も大きくなっています。また、70 代以上は「市民の災害避難場所の確保」の割合が「地元住民、地元コミュニティへの配慮」を上回っています。

・高麗地区の傾向をみると、「市民の災害時避難場所の確保」の割合が最も大きくなっています。

②高根中学校

・20 代から年代が上がるほど「地元住民、地元コミュニティへの配慮」の割合が減少しています。一方で、「市の財政負担の軽減」の割合は年代が上がるほど増加しています。

・高根地区の傾向をみると、「市民の災害時避難場所の確保」の割合が最も大きく、市全体の数値を上回っています。一方、「市の財政負担の軽減」の割合は市全体の数値を大きく下回っています。

③武蔵台中学校

・10 代以外の年代で「地元住民、地元コミュニティへの配慮」の割合が大きくなっています。また、10 代では「市民意見の尊重」と「市民の災害時避難場所の確保」の割合が他の年代に比べて大きくなっています。

・武蔵台・横手台地区の傾向をみると、「地元住民、地元コミュニティへの配慮」の割合が最も大きくなっています。

(4)民間事業者の導入について

1)学校跡地ごとの回答傾向

○民間事業者の導入については、3 区とも「導入した方がよい」の割合が最も大きく、中でも高麗小学校跡地が大きな割合となっています。

表　学校ごとの上位

高麗小学校跡地（問６）	高根中学校跡地（問 11）	武蔵台中学校跡地（問 16）
①導入した方がよい（47.3%） ②どちらでもよい（27.7%） ③市が整備・運営（21.3%）	①導入した方がよい（44.2%） ②どちらでもよい（31.3%） ③市が整備・運営（21.2%）	①導入した方がよい（45.5%） ②どちらでもよい（30.6%） ③市が整備・運営（20.5%）

2)属性(年代･居住地)とのクロス集計から読み取れる傾向

①高麗小学校

・すべての年代において「導入した方がよい」の割合が全体の約５割になっています。また 10 代、60 代、70 代以上で「市が整備・運営した方がよい」の割合が市全体を上回っています。

・高麗地区の傾向をみると、「導入した方がよい」の割合が最も大きくなっていますが、「市が整備・運営した方がよい」の割合が他の地区と比べて大きくなっています。

②高根中学校

・すべての年代において「導入した方がよい」の割合が最も大きくなっています。また、「市が整備・運営した方がよい」の割合は 10 代が他の年代に比べて大きくなっています。

・高根地区の傾向をみると、「導入した方がよい」の割合が大きくなっており、市全体とほぼ同様の傾向となっています。

③武蔵台中学校

・すべての年代において「導入した方がよい」の割合が半数近くになっています。特に 60 代ではその傾向が大きくなっています。

・武蔵台・横手台地区の傾向をみると、「導入した方がよい」の割合が最も大きくなっていますが、「市が整備・運営した方がよい」の割合は、市全体の数値を上回っています。

2. 学校ごとの跡地活用の考え方

(1)高麗小学校跡地

・周囲の観光資源と連携した、観光支援施設（道の駅）、飲食系の活用が想定されます。またオープンスペースを活用した、住民の健康増進や憩いの場となる広場も確保しつつ、避難場所としての機能の維持を図っていくことも考えられます。

・民間活力の導入が想定されます。

(2)高根中学校跡地

・近隣のこま川団地との関係性を考慮し福祉や子育て支援施設、健康増進施設等の複合的な利用により、住民間の交流が図られる活用形態が想定されます。

・ただし、近隣の住宅地からは高低差もあり利便性や安全性の面で課題があるといえます。

・民間への売却や貸付等も視野に入れた検討が必要と考えられます。

(3)武蔵台中学校跡地

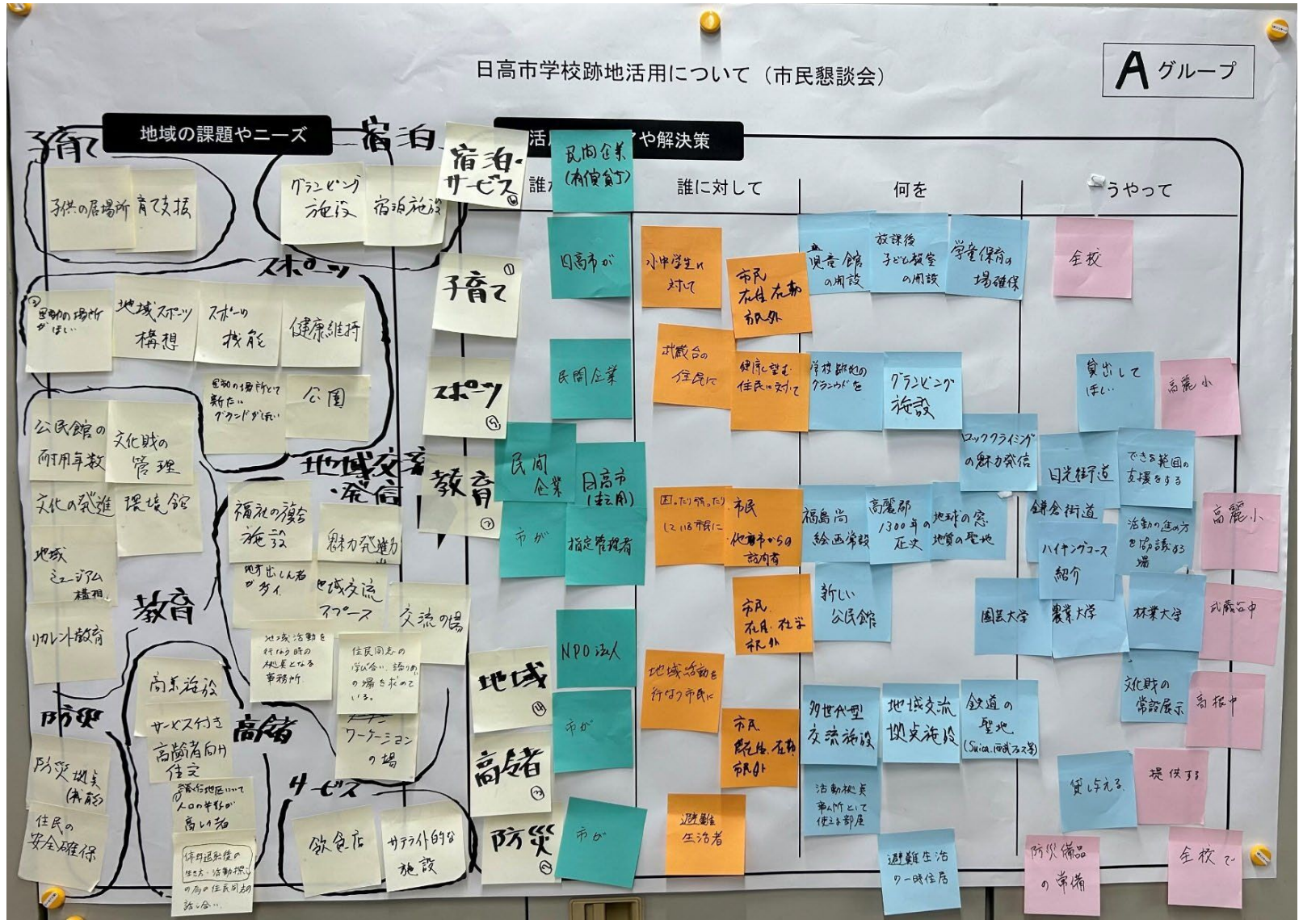
・土砂災害特別警戒区域及び土砂災害警戒区域に含まれていることで、土地・建物の安全性が低い点に配慮が必要となります。

・健康増進を図るための広場などオープンスペースを主とした複合的な利用により、住民間の交流が図られる活用形態が想定されます。

・民間への売却も考えられますが、災害リスクが高い土地であり、買い手があるかは不透明な要素があるものと想定されます。

市民懇談会　ワークショップ結果

日高市学校跡地活用に関する市民懇談会　ワークショップ結果　A グループ



発表

A 班の「地域の課題やニーズ」での意見としては、子どもの居場所、宿泊施設、運動する場所、文化施設、地域交流スペース、高齢者福祉施設、防災拠点、サテライトオフィスなど様々な意見が出た。以上を踏まえた、「活用アイデアや課題・ニーズの解決策」としては、学校毎に以下のようにまとめた。

高麗小学校は、比較的駅から近い立地を活かして、市民や他市からの訪問者に向けて、グランピング施設やグラウンドの貸出、宿泊施設があると良い。

旧武蔵台中学校では、**歴史を伝承する施設**や、自然環境を活かした**園芸や農業関係の大学施設**が良いと考える。

高根中学校は、市民が地域活動を行うための**地域交流拠点施設**があると良い。

また、３校全てで、子どもの居場所の確保のための**子育て支援施設**や、防災備品の備蓄や避難が可能な**防災拠点施設**を整備できれば、地域全体の防災意識の高まりや、子育て世代の支援が充実することが期待できるのではないか。

地域の課題やニーズ

○地域交流・発信
- 地域の魅力発信
- 住民の交流の場・学びの場
- 地域交流スペース
- 地域活動を実施するための拠点

○高齢者福祉
- 高齢化（武蔵台地区は人口の半数が高齢者）
- サービス付き高齢者向け住宅
- 定年退職後の活動拠点

○教育・文化
- 文化財の管理
- 公民館の耐用年数
- 地域ミュージアムや環境館
- リカレント教育

○スポーツ
- 健康維持
- 運動できる公園
- グラウンドの整備
- スポーツ機能

○その他
- 宿泊施設
- ワーケーション・サテライトオフィス
- 商業施設
- 子どもの居場所
- 防災拠点

活用アイデアや解決策

誰が	誰に対して	何を（活用アイデア）	どうやって
市	市民のために（子ども、健康を望む住民、高齢者、地域活動を行う方等）	・地域の交流促進や活動拠点となる **多世代交流施設・複合施設** ・児童館や放課後子ども教室等の **子育て支援施設** ・防災備品の備蓄や避難者支援を行う **防災拠点施設**	３校
民間事業者	市内外の方のために	・公民館等の **行政施設** ・園芸大学・農業大学・林業大学等の **大学施設**	旧武蔵台
		・芸術・歴史・文化財等を継承するための **文化施設**	高根
		・グランピングやロッククライミング等の **グラウンド貸し出し・集客施設**	高麗

日高市学校跡地活用に関する市民懇談会　ワークショップ結果　B グループ

発表

B 班では、学校跡地利活用を検討するにあたり、**「魅力あるまちづくり」**をテーマにワークショップを行った。

「地域の課題やニーズ」での意見としては、高齢化の進行、若者の流出、交通の利便性が悪い、住民同士の交流が少ない、宿泊施設が無い、子育て支援・高齢者福祉施設の不足、居場所がないなど様々な意見が出た。以上を踏まえた、「活用アイデアや課題・ニーズの解決策」としては、学校毎に以下のようにまとめた。

高麗小学校は比較的駅から近く、日和田山が見える自然豊かな環境を活かして、合宿所やレストランや喫茶等の飲食店など、**人が集うことのできる拠点の整備**が良いと考えた。また、整備した飲食店で地元の農産物を活かすことで、地産地消への貢献や、地域住民のコミュニケーションの機会の創出に繋がると考えた。

旧武蔵台中学校では、**芸術を生かしたカルチャーセンター**や、若者の起業促進のためにオフィス等の**仕事ができる場所**を整備するのが良いと考えた。

また、全体を通して、地域の課題やニーズでの課題である、高齢者の進行、若者の流出、交通課題、地域交流不足などは、まちに魅力がないからであるため、学校を拠点とし、地域コミュニケーションの促進や地域の交通等の課題を見直し、魅力あるまちづくりを目指して欲しい。

地域の課題やニーズ

○交通
- 駅まで遠い、道幅が狭い、坂道が多い
- 通院や介護施設までのアクセスが悪い
- 歩行者と車道が分離されていない
- 各施設へのアクセス整備
- 高齢者や介護者等の移動手段がない

○自然環境
- 自衛隊航空機の上空飛来による騒音
- 農薬散布や堆肥の臭い
- 土砂災害警戒区域に隣接

○コミュニティ
- 住民同士の交流が少ない
- 高齢化と少子化
- 地域の活力不足
- 居場所がない

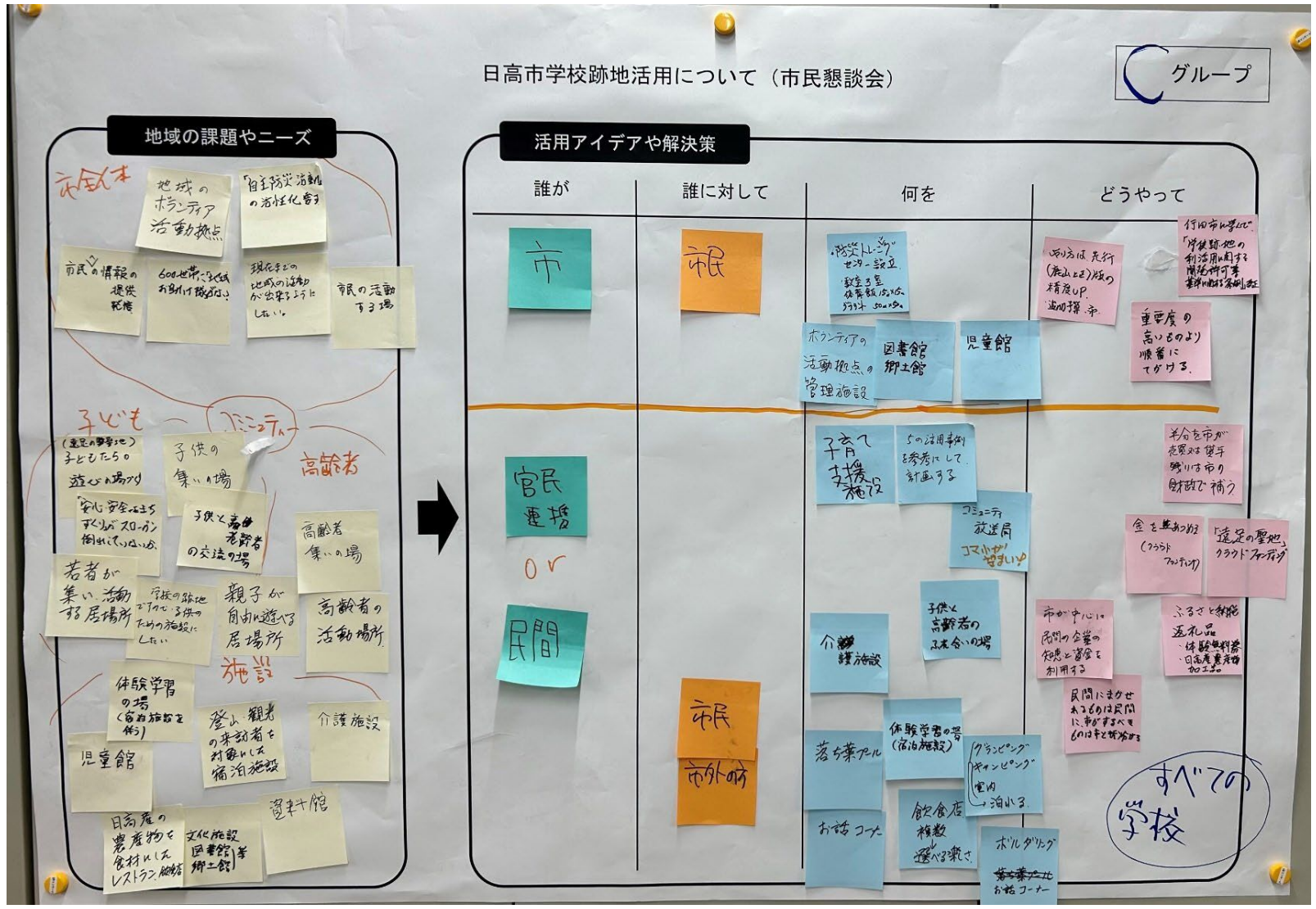
○子育て
- 遊び場が少ない
- 園児、児童の屋外遊び場の不足
- 子育て支援施設の不足

○その他
- 宿泊施設が一つもない
- 民族資料館が古い
- 働く場が少ない
- 公民館の耐震化
- バリアフリー化
- 高齢者人口の増加
- 若者人口の減少
- まちに魅力がないから人口が減少する。

活用アイデアや解決策

誰が	誰に対して	何を（活用アイデア）	どうやって
市	市民のために（高齢者・子育て世代・交通手段が無い方等）	・広場、運動場、体育館、合宿所等の **運動施設** ・出張所や公民館機能を併設した **行政施設** ・コンビニエンスストアやレストラン等の **生活利便施設** ・子ども食堂や屋外遊び場等の **子育て支援施設** ・デイケアセンター等の **高齢者福祉施設**	3 校
		・カルチャー・コミュニティセンター等 **交流促進施設** ・コワーキングスペースやオフィス等 **起業支援・誘致施設**	旧武蔵台
市・個人	市内外の方のために（若者・働き世代）		
民間事業者	市外の方のために	・観光案内所や宿泊施設、合宿所、レストラン等の**観光拠点施設**	高麗

日高市学校跡地活用に関する市民懇談会　ワークショップ結果　Ｃグループ



発表

Ｃ班の「地域の課題やニーズ」として、高齢者が利用する介護施設や交流の場、子どもたちが利用する児童館や図書館が不足しており、住民同士のコミュニケーションのきっかけが少ないという意見が出た。また、市全体として防災意識や市民活動の場や拠点が少ないといった意見が出た。

「活用アイデアや解決策」については、学校跡地の一部を活用し、**防災トレーニングセンターとして活用**することを提案する。市民の防災に対する意識啓発として、グラウンドや体育館の一部のみでも実施可能であると考える。

コミュニティの場として、学校を活用した児童館や介護施設、ふれあいの場が欲しいといった意見が出た。

また、日高市のすべてを整備することは厳しいため、必要な機能に優先順位をつけ、**市と民間で役割分担しながら、重要度の高い機能の整備を進めてほしい**。

さらに、日高市は『遠足の聖地』と言われているので、巾着田に来て終わりではなく、体験学習の場を設けるなど、日高市の特性を活かせるとよりよい。

全体を通して、活用に向けて市と民間の役割分担を明確にし、日高市の魅力を伝えられると、市民にとっても、観光客にとっても良い活用になるのではないか。

地域の課題やニーズ

○子育て
- 遊び場が少ない
- 子どもと高齢者の交流の場
- 親子で自由に遊べる居場所
- 児童館

○高齢者
- 集いの場
- 高齢者の活動場所
- 高齢者と子どもの交流の場
- 介護施設

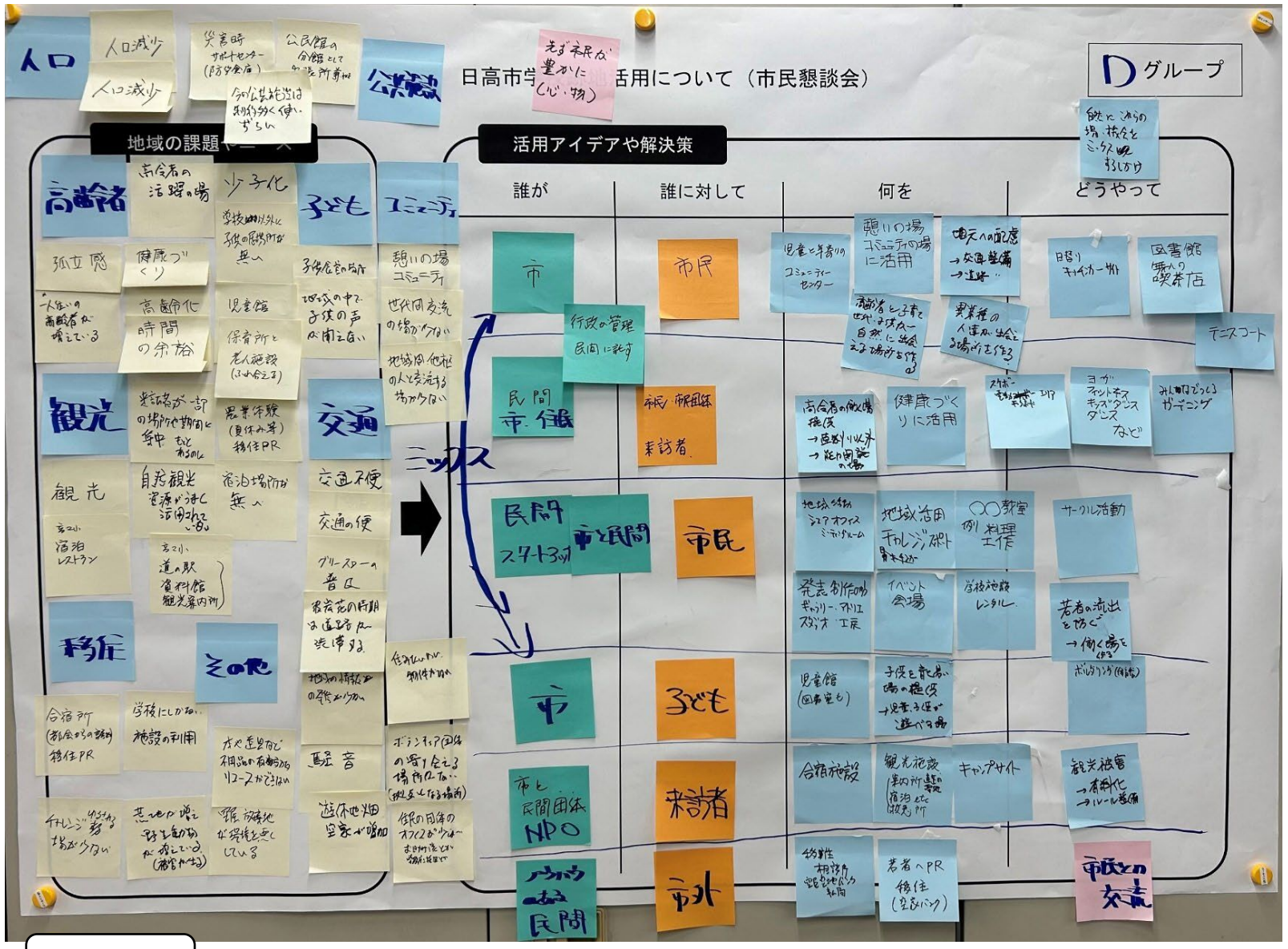
○市民活動
- 地域ボランティア等の市民の活動拠点
- 情報発信施設
- 防災活動の活性化拠点

○その他
- 登山・観光の来訪者を対象とした宿泊施設
- 宿泊施設を伴う体験学習の場
- 図書館や郷土館などの文化施設
- 日高産の農産物を使用した飲食店
- 資料館

活用アイデアや解決策

誰が	誰に対して	何を（活用アイデア）	どうやって
市	市民のために	・防災トレーニングセンター等の **防災拠点施設** ・児童館や図書館、郷土館等の **教育文化施設** ・市民の活動や情報発信拠点となる **市民活動拠点施設**	重要度の高いものから
官民連携 or 民間事業者	市内外の方のために	・子どもの遊び場等の **子育て支援施設** ・子どもと高齢者が交流できる **多世代交流施設** ・体験学習ができる **宿泊施設** ・グランピングやキャンプ場、飲食店等の **集客施設** ・高齢者が集うことのできる **高齢者福祉施設**	市と民間の役割分担 民間の知恵や資金を利用 クラウドファンディン等の活用 ３校

日高市学校跡地活用に関する市民懇談会　ワークショップ結果　D グループ



発表

D 班では、**高齢者や子ども居場所づくり等**に関する意見が多く出た。

「地域の課題やニーズ」としては、高齢者の活躍の場がない、子どもの居場所がない、世代間や地域間での交流の場が少ない、観光施設や観光に伴う宿泊施設が少ないなどの意見が出た。以上の意見を踏まえ、活用アイデアや課題の解決策を以下のように整理した。

まず、市民の交流ための**憩いの場・コミュニティの場として活用**、子どもたちのための**児童館などの子育て支援施設として活用**、**高齢者の働く場や健康づくりの場として活用**することが考えられる。これらの施設は市が施設を所有し、運営を民間事業者に委託する方法が望ましいと考える。

その他、シェアオフィスやスタートアップチャレンジの場、地域活動の場、観光施設、移住者向けの相談所等の活用も考えられ、これらの施設は市・民間事業者・NPO 法人等が協力して運営することが望ましいと考える。

一番重要なことは、**これらの施設を単体で整備するのではなく、様々な機能を混ぜ合わせた施設とすること**である。複合施設とすることで、高齢者が子どもから元気を貰え、子どもは高齢者に面倒を見てもらうなどの好循環が生まれると考える。また、機能の混ぜ合わせだけでなく、**多世代がごちゃごちゃと混ざりあえる場所**になってほしいと考える。

加えて、活用の検討に当たっては、市の今後を担う**中高生に意見を聞く必要があると思われる**。

地域の課題やニーズ

○子育て・高齢者
- 学校以外の子どもの居場所がない
- 子ども食堂
- 保育所と老人施設の融合
- 高齢者の活躍の場
- 健康づくり

○コミュニティ
- 憩いの場
- 世代間交流の場が少ない
- 地域間、他地区の人との交流の場が少ない

○観光
- 夏休み等を活用した農業体験
- 宿泊場所がない
- 道の駅や観光案内所

○その他
- 交通の便が悪い
- 空き家や耕作放棄地による景観の悪化
- 市民団体の拠点がない
- 本や道具などの不用品のリユースができない
- 災害時のサポートセンター

活用アイデアや解決策

誰が	誰に対して	何を（活用アイデア）	どうやって
市 (指定管理)	市民のために （子育て世帯、高齢者等）	・子どもと高齢者が交流できる **コミュニティ施設** ・児童館や子どもの遊び場等の **子育て支援施設** ・健康づくりに寄与する **運動施設**	3 校
市・民間・NPO の協力	市内外の方のために	・講座や制作などのサークル活動ができる **芸術文化施設** ・スタートアップや高齢者の働く場として **チャレンジ施設**	
	市外の方のために	・観光案内所や宿泊施設を伴う **観光拠点施設** ・移住を PR するための **移住支援施設** ・キャンプ等の **集客施設**	

日高市学校跡地活用に関する市民懇談会　ワークショップ結果　E グループ

発表

E 班では、子育て世代が多く、親としての視点で、統廃合に関する懸念点などの意見が多く出た。

「地域の課題やニーズ」の意見としては、校庭が使用できなくなると子どもの遊び場や居場所が減っていく、体育館が使用できなくなるとスポーツ少年団等の活動の場所がなくなる、などの意見が出た。以上の意見と、各学校の立地特性等を踏まえて、「活用アイデアや解決策」について、学校ごとに以下のように整理した。

高麗小学校は、駅から近い立地を活かして、**複合施設として活用**して欲しい。高麗小学校に関しては市も使用したいという意向があるため、**民間に委託して一部を公共機能として整備する**のが良いと考える。お試し移住が出来る場所や、登山客の休憩所等の、市外の方がお金を落とす場所があると良いと考える。

旧武蔵台中学校は、文化促進のための教育文化機能や、スタートアップ支援機能があると良い。

高根中学校は、駅近の立地から SOHO オフィスという意見が挙がった。

最後に、9 月の議会で市街化調整区域の区域区分の変更が難しいという答弁があったが、行田市では、条例により、**市街化調整区域においても条件付きで地域活性化施設が認められている**。日高市でも、廃校を活用して本日挙がった意見が実現することを期待している。

地域の課題やニーズ

○子育て
- 放課後に子どもが遊べる場所がない
- 部活動やスポーツ少年団、学童の活動場所が重複
- 不登校などの子どもの居場所がない
- 地域が子どもを育てる場があると良い

○場所
- 観光施設や文化体験に触れられる場が少ない
- 商店街等のお店が増えると良い
- 高麗駅前にくつろぐ場所がない
- 移住に興味があってもお試しで泊まれる場所がない
- 公共施設の予約がいっぱい
- 体育館の利用は継続してほしい

○交通
- 武蔵台と横手台地区が分断されている
- 公共サービスやイベント開催地が遠い
- 駅が遠く、車が必要不可欠
- 中間地点に駅ができるとよい

○その他
- 人口減少、子どもの数が減っている
- 担い手不足で畑を管理しきれない
- 熟練の技術や道具を体験の場で活かしたい
- 高根中学校周辺地域の環境の激変
- 廃校活用までの期間、きちんと管理してほしい
- 実現が長引くと地域住民への影響が大きい

活用アイデアや解決策

誰が	誰に対して	何を（活用アイデア）	どうやって
官民連携	お試し移住者・観光客のために	・レストランやカフェ等の飲食店を伴う **宿泊施設** ・SOHO オフィスやチャレンジショップ等の **スタートアップ支援施設** ・子どもの居場所となる **スポーツ・交流施設** ・農業体験などが可能な **体験学習施設**	高麗
民間事業者	市民のために（子ども、子育て世帯、高齢者等）	・文化体験が可能な **教育文化施設** ・シェアキッチンなど世代間交流が可能な **多世代交流施設** ・避難所として活用する **防災拠点施設**	旧武蔵台
		・SOHO オフィス等の **企業支援・誘致施設** ・農業体験などが可能な **体験学習施設**	高根

日高市学校跡地活用に関する市民懇談会　ワークショップ結果　Ｆグループ

地域の課題やニーズ

○子育て
- 発達障害の子どもの療育施設
- 天候を気にせず遊べる子どもの遊び場
- 放課後の遊び場
- 子どもと地域の居場所

○多世代
- 人口流出
- 交流の少なさ
- 地域力を活かした多世代交流の場
- 高齢者の単世代暮らし

○農業
- 有機野菜の栽培・販売
- 自然を有効活用できていない

○その他
- 交通の便の悪さ
- 秋の巾着田の交通渋滞
- 図書館

活用アイデアや解決策

誰が	誰に対して	何を（活用アイデア）	どうやって
市 民間事業者	市民のために（特に子ども）	・年齢を超えて集まる場 多世代交流施設 ・誰も使用できる体育館 スポーツ施設 ・子どもたちの悩み相談室や居場所となる 児童福祉施設 ・図書館等の 市民文化施設	高根
	市内外の方のために子ども	・道の駅や食堂等の 集客施設 ・休耕地を活用した 農業体験 農産物販売施設	高麗

発表

Ｆ班では、子育て世代の女性３名、独身男性２名のグループであり、子育ての目線からの意見が多く出た。

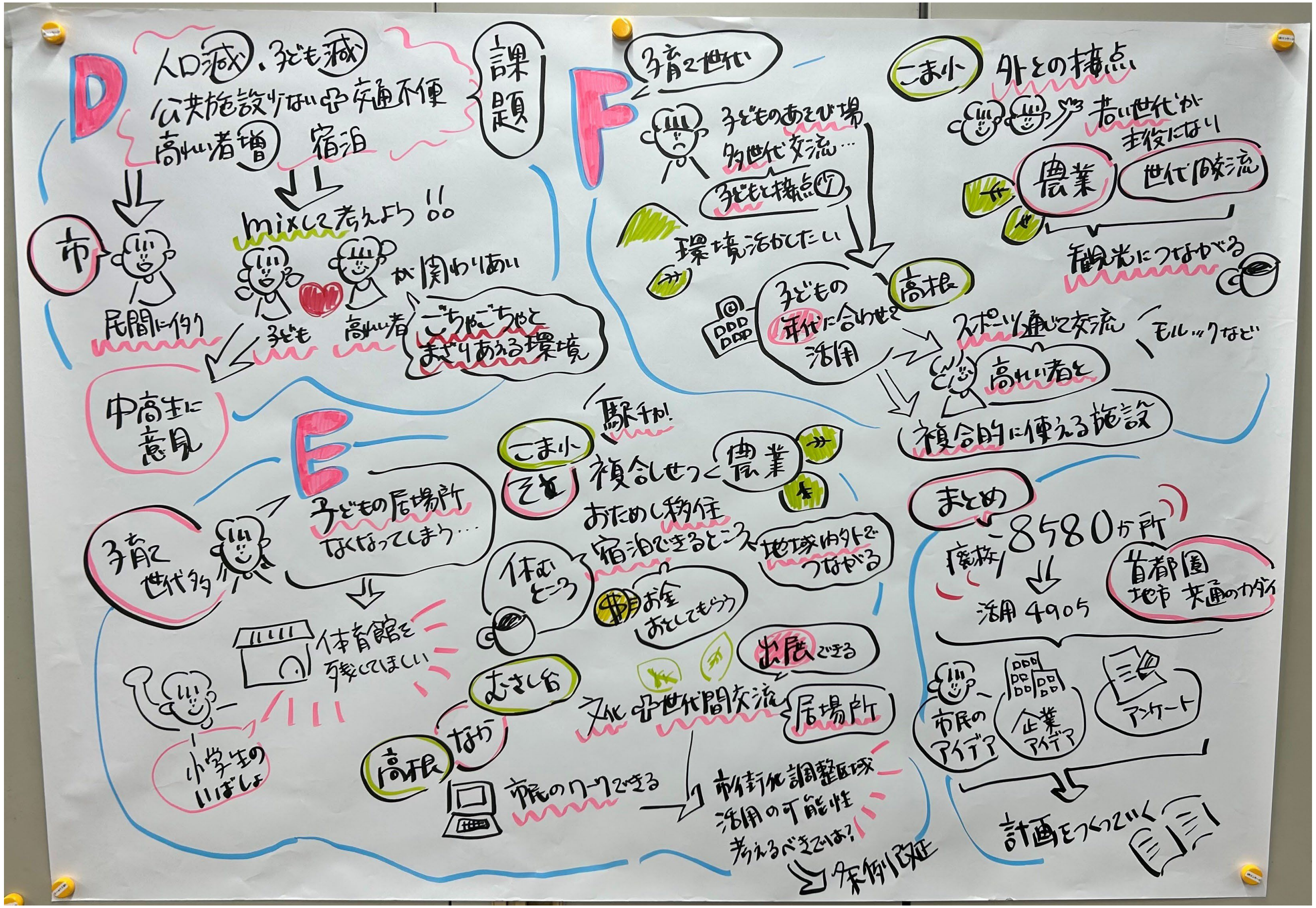
子育てのニーズとしては、年代別の子どもの遊び場が少ないことや、多世代交流や自然と触れ合う環境教育の機会が無いことなどの意見が出た。多世代交流のニーズとしては、高齢化が進んでいることから子どもとの接点が少ないことが挙げられた。また巾着田や日和田山等の地域の自然特性を活かせると良い、子どもに農業との接点を増やす取組みを行うという意見が出た。以上を踏まえた、「活用アイデアや課題・ニーズの解決策」としては、以下のようにまとめた。

高麗小学校は、官民が連携し、**多世代が交流できる外部の接点としての機能**が良いと考える。若い世代が主役になり、多世代交流などを促進する施設にする、有機の農産物を販売することで、観光にもつながると思う。

高根中学校は、日高市の中心に位置することから、未就学児や児童の居場所となる場所が出来ると良い。教室を活かし、**年代別で子ども達が集えるような空間づくり**が可能であると思う。また、世代間を越えた交流も大切になってくると思うので、スポーツ全般が出来る場所があると良いと考える。現在「モルック」というスポーツを日高市で広めようとしているので、そういったスポーツ等を駆使して若手と高齢者が交流出来る機会を創出して欲しい。

日高市学校跡地活用に関する市民懇談会　ワークショップ結果　全体のまとめ

日高市学校跡地活用に関する市民懇談会　ワークショップ結果　全体のまとめ



サウンディング型市場調査　意見交換結果一覧

日高市学校跡地活用　民間事業者サウンディング型市場調査　意見交換結果一覧

No.	事業者名	活用可能校	活用範囲	提案業種	提案概要	事業スキーム	事業期間	市との共存	避難所 機能の維持
1	A	高根中学校	全体	スタジオ系	メイン機能：撮影スタジオ、学園系の撮影（テレビ番組、YouTube、映画等） サブ機能：団体向けの宿泊施設（簡易宿所） その他：イベントの実施（音楽イベントや同窓会、企業運動会など）	賃借	10年 （延長可能）	不可	可能
2	B	全ての学校のうち1校 （特に旧武蔵台中学校）	全体	コミュニティ系	メイン機能：飲食を中心とした地域のコミュニティ拠点 サブ機能：地域の相談場所、飲食できる場所、キッチンカー、教室等	買取	-	可能	可能
3	C	全ての学校のうち1校 （特に高根中学校）	全体	レジャー・アミューズメント系	メイン機能：アミューズメント施設の運営 サブ機能：ライブイベントやフェスなどの実施	買取・賃借	10年 （延長可能）	可能	可能
4	D	全ての学校のうち1校 （特に旧武蔵台中学校）	全体	スポーツ・文化系	メイン、サブ機能：貸し工房、貸しアトリエ	賃借 （無償）	2年 （延長可能）	可能	可能
5	E	全て （特に旧武蔵台中学校、高根中学校）	全体	スタジオ系	メイン、サブ機能：撮影スタジオ	賃借	10年以上 （延長可能）	不可	可能
6	F	高根中学校、高麗小学校	全体 （校舎のみの利用が基本だが、全体でも検討可能）	IT系	メイン機能：IT交流拠点の運営 サブ機能：講演会・セミナーの実施、古物の販売イベントの企画・運営、アウトソーシング事業、加工修理業、レンタルオフィス・レンタルスペースの貸付等	賃借 （無償）	30年	可能	可能
7	G	全ての学校のうち1校 （特に高麗小学校）	一部 （1教室）	子育て・教育系	メイン機能：小学生を対象とするフリースクール サブ機能：子育ての不安を抱える保護者に対する個別相談事業	賃借	- （可能な限り）	可能	可能
8	H	全ての学校のうち1校 （特に旧武蔵台中学校、高麗小学校）	全体	レジャー・アミューズメント系	メイン機能：廃校キャンプ場 サブ機能：企業イベント等	賃借	10年 （延長可能）	可能	可能 （条件付）
9	I	高根中学校、高麗小学校	一部 （1階4～6教室）	福祉系	高根中学校活用時 メイン機能：障がい児通所施設（子供向け）サブ機能：相談支援事業所 高麗小学校活用時 メイン機能：障がい者通所施設サブ機能：就労事務所、販売所、畑等	賃借	20年～30年	可能	可能
10	J	全ての学校のうち1校 （特に旧武蔵台中学校）	一部 （1教室又は体育館の一部）	スポーツ・文化系	メイン・サブ機能：レスリング教室	賃借 （無償又は低廉な賃料）	5年	可能	可能
11	K	高麗小学校	一部 （体育館、一般教室1階部分、特別教室）	子育て・教育系	メイン機能：フリースクール サブ機能：一般の方も参加できる講座、講演、教室	賃借 （無償）	20年	可能	可能
12	L	高根中学校	全体	福祉系	メイン機能：特別養護老人ホーム、障がい者福祉施設、フリースクール、クリニック、産地直売所などによる複合施設 サブ機能：公園や集いの場所によるコミュニティ機能	賃借	52年	可能	可能
13	M	高麗小学校	全体	レジャー・アミューズメント系	メイン機能：合宿所宿泊施設 サブ機能：校庭キャンプ場、ドライブインシアター、カフェ等	賃借	5～10年	可能	可能
14	N	高麗小学校	全体	スポーツ・文化系	メイン・サブ機能：複合施設 （宿泊、飲食、販売所、コワーキング、グランピング）	賃借	15年	可能	可能

No.	事業者名	活用可能校	活用範囲	提案業種	提案概要	事業スキーム	事業期間	市との共存	避難所 機能の維持
15	O	高麗小学校	一部 （4～10教室程度）	福祉系	メイン機能：障がい者の入所施設もしくはグループホーム兼地域生活支援事業 サブ機能：カフェ、食堂等の飲食店	賃借	10年	可能	可能
16	P	高麗小学校	一部 （校舎の一部、校庭、体育館）	レジャー・アミューズメント系	考えられる事業：グランピング施設、子どもの遊び場、食事場所 ※商業として成り立ちづらい立地であるため、具体的な検討は難しい	賃貸	10～20年	可能	可能
17	Q	全ての学校のうち1校 （特に旧武蔵台中学校）	一部 （1階教室の一部、体育館）	農林水産系	メイン機能：鰻等の水産関係の養殖と研究、道の駅のような販売所 サブ機能：キャンプ場やトレーラーハウスの運営	買取	-	可能	可能
18	R	全ての学校のうち1校 （特に高麗小学校）	全体	子育て・教育系	メイン・サブ機能：小中学生を対象とした体験型子育て支援施設（能動体験型学習子どもアイデア楽工）	賃借	25年	可能	可能
19	S	高麗小学校	全体	コミュニティ系	メイン機能：パーマカルチャーのコンセプトを元にした自然体験を通した交流施設 サブ機能：加工 調理 保存が出来るキッチン設備コミュニティ食堂併設の直売所 キャンピング 防災拠点、子どもたちの居場所 教室、シェアオフィス 等	賃借	10年	可能	可能
20	T	全ての学校のうち1校 （特に高麗小学校）	一部 （教室５室以上、校庭の一部）	スポーツ・文化系	メイン機能：会員制工作スペースの提供 サブ機能：モノづくりに関連したセミナー、ワークショップ、創作拠点、教室、スタジオ、展示スペース等	賃借 （無償又は低廉な賃料）	10年 （延長可能）	可能	可能
21	U	全ての学校のうち1校 （特に旧武蔵台中学校）	一部 （校舎の一部、校庭、プール）	農林水産系	メイン・サブ機能：野菜の生産・販売施設	賃借	6年	可能	可能
22	V	-	全体	商業系	メイン・サブ機能：商業施設 ※エリアや立地条件から検討は難しい	買取・賃貸	20年 （延長可能）	可能	-
23	W	高麗小学校	全体	子育て・教育系	メイン機能：子育て支援施設 サブ機能：子ども食堂 、ベーカリー 、カフェ 、農業体験施設、地元生産者農産物販売所、移住サポートセンター、移住希望者宿泊施設、ワーキングスペース、シルバー雇用センター等	賃借	- 長期間	可能	可能
24	X	全ての学校のうち1校 （特に高麗小学校）	一部 （最上階の1教室）	スポーツ・文化系	メイン・サブ機能：放送スタジオ	賃借 （無償）	- 長期間	可能	可能
25	Y	旧武蔵台中学校	一部 （1階２～3教室、家庭科室、校庭の一部）	福祉系	メイン機能：運動特化型デイサービス サブ機能：健康増進施設等	賃借	20年	可能	可能
26	Z	高根中学校、高麗小学校のうち1校 （特に高根中学校）	一部 （1階２～3教室）	福祉系	メイン機能：障がい者の作業場所兼倉庫 サブ機能：日高市障がい福祉連絡協議会の作業所で生産する製品の販売所	賃借 （無償又は低廉な賃料）	10年 （延長可能）	可能	可能
27	ＡＡ	高麗小学校	一部 （1階1教室）	福祉系	メイン機能：活動拠点 サブ機能：設備、備品等の保管場所	賃借 （無償）	- 市の指定した期間	可能	可能
28	ＡＢ	全ての学校のうち1校 （特に旧武蔵台中学校）	一部 （家庭科室、数教室）	福祉系	メイン・サブ機能：活動拠点	賃借 （無償又は低廉な賃料）	3年 （延長可能）	可能	可能